

令和4年度

佐倉市立公民館のまとめ

佐倉市立公民館

目 次

1. 佐倉市の公民館	1
2. 令和4年度教育目標	2
3. 公民館運営審議会	8

中央公民館

佐倉地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
親子で土いじり「初めての陶芸にチャレンジ！」	6
親子でアート「窓ガラスお絵かきワークショップ」	6
親子でアート「道路アートワークショップ」	6
2. 青少年教育事業	8
夏休み子どもゼミナール	8
四季の草木染めワークショップ	8
手作りのしめ縄飾りを作ろう！	9
3. 成人教育事業	10
成人教育講座「生活を楽しむ 竹細工の魅力」	10
シニア向けスマホ・タブレット講座 ～LINEとキャッシュレス決済を活用しよう～	10
4. 高齢者教育事業	13
四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」	13
5. 団体育成事業	39
佐倉地区子ども会育成会連絡協議会	39
6. 広報事業	39
ホームページ	39
SNS	39
ユーチューブチャンネル「佐倉市生涯学習チャンネル」	40
7. 視聴覚教材ライブラリー事業	41
視聴覚機器貸出	41

和田公民館

和田地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
子育て教室	6
楽しく家庭教育講座	6
2. 青少年教育事業	7
和田剣道教室	7
軽スポーツ大会	7
夏休み子どもゼミナール	7
子ども芸術鑑賞会	7
佐倉っ子塾 料理教室	7
佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	7
3. 成人教育事業	8

佐倉学講座 和田地域学	8
和田市民大学手芸教室	8
和田市民大学和田工芸講座	8
ギター演奏会	9
和田地区防災講習会	9
合同研修会	9
4. 団体育成事業	11
①和田地区青少年育成住民会議	11
②和田小学校PTA民俗資料収集委員会	11
③和田はたおり保存会	11
5. 広報・展示事業	12
公民館だより	12
歴史民俗資料室展示	12
6. 図書事業	12
図書貸し出し	12

弥富公民館

弥富地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
やとみ家庭教育講座	6
2. 青少年教育事業	7
佐倉っ子塾 弥富剣道教室	7
星空観察会	7
なんでも体験弥富塾	7
3. 成人教育事業	9
グラウンドゴルフ	9
地域防災講座	9
「くらしの講座」布ぞうりづくり	9
柏の葉アカデミア講座@弥富公民館	9
佐倉市包括連携協定事業 明治安田生命「MY定期講座」	
わたしと家族の「そうぞく」講座	10
佐倉学入門講座 歴史講座「弥富の歴史」	10
佐倉学入門講座「弥富野草散策観察会」	11
佐倉学体験講座「クラフトバンドで塩古ざるづくり」	11
佐倉学体験講座「竹炭づくり体験」	12
4. 団体育成事業	13
ふるさと弥富を愛する会	13
弥富地区青少年健全育成住民会議	13
5. 広報活動事業	13
公民館だより	13
6. 図書事業	13
図書貸し出し	13

根郷公民館

根郷地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
親子で遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ	6
こども工房 家族とつくるクリスマス木工クラフト	7
2. 青少年教育事業	9
根郷公民館防災デイキャンプ	9
夏休み子ども体験講座 勾玉づくりに挑戦!	9
夏休み子ども体験講座 絵画教室	10
佐倉っ子塾共通講座 水辺観察会 ～こども水辺探検隊～	10
3. 成人教育事業	12
根郷寿大学	12
シニアのための健康づくり講座	13
シニア向け初めてのスマートフォン教室	13
園芸教室 ハーブに親しもう	14
防災講座	15
千葉県文書館出前講座	15
佐倉学入門講座 佐倉ゆかりのある映画～昭和・平成時代～	16
佐倉学入門講座 佐倉の鉄道	17
佐倉学入門講座 根郷ふるさと探訪「春・秋の野草観察会」	18
佐倉学体験講座 こんにゃく作り講座	18
4. 団体育成事業	20
根郷地区社会教育関係団体への支援	20
南部地区子ども会育成会連絡協議会	20
根郷地区青少年育成住民会議	20
定期利用者懇談会	20
調理室利用者懇談会	20
5. 広報事業	21
根郷公民館だより	21
6. 図書事業	21
図書の貸出・返却	21

志津公民館

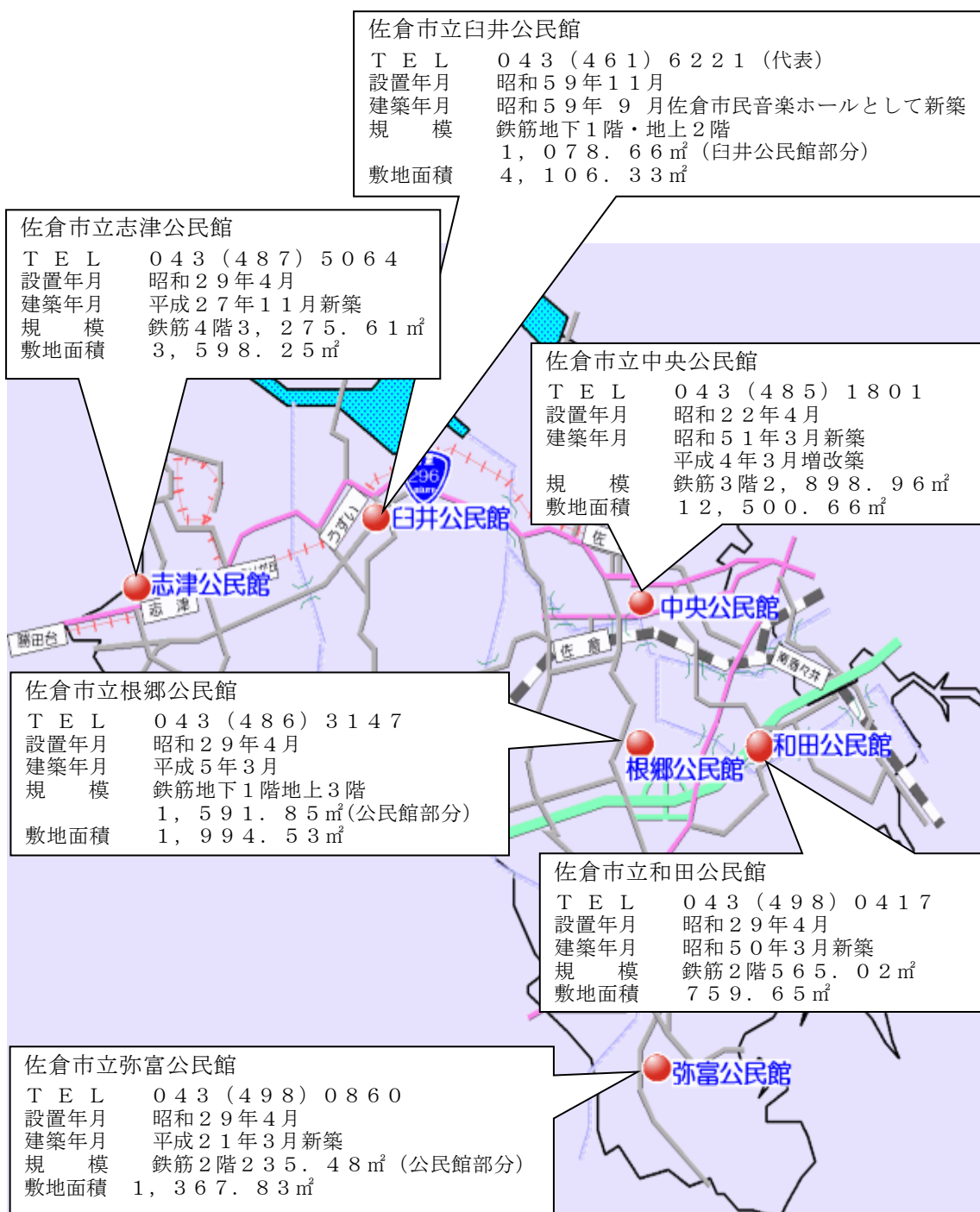
志津地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
笑顔で子育て応援講座	6
2. 青少年教育事業	7
佐倉っ子塾 志津子ども教室	7
3. 成人教育事業	8
しづ市民大学 (第33期)	8
佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」	12
佐倉学入門講座 佐倉道を歩く	13

佐倉学入門講座 志津地域散策	14
包丁について学ぶ	14
4. 団体育成事業	16
サークル運営研修会	16
調理室利用サークル懇談会	16
志津地区社会教育関係団体への援助	16
公民館園芸ボランティアへの支援	16
5. 広報・展示事業	17
志津公民館だより「しづ」の発行	17

白井公民館

白井・千代田地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
BOOK&PARK (公園ライブラリー)	6
ストリートオルガンコンサート	6
2. 青少年教育事業	7
水辺観察会 「こども水辺探検隊」	7
バックステージ・ツアー	7
星空観測教室	7
小6理科実験室	8
3. 成人教育事業	8
佐倉学入門講座 「佐倉の道の歴史 ー古代・中世編ー」	9
佐倉学専門講座 ①「成田山道標を読み解く」	
②「製造100年 佐倉のSLハチロクの保存に関わって」	9
ちょっといいところ見て歩き ①「白井城主ゆかりの寺を訪ねて」	
②「佐倉の古道をたどる」	10
4. コミュニティ事業	11
コミュニティカレッジさくら	11
5. 団体育成事業	14
白井地区子ども会育成会連絡協議会	14
6. 広報・展示事業	15
白井公民館だより	15
まちづくり資料室の展示	15
サークル展示活動支援	15
7. 図書事業	17

1. 佐倉市の公民館



2. 令和4年度 教育目標

〔基本理念〕（第3次佐倉教育ビジョンより）

わたしが輝き、地域が輝き、未来が輝く、“佐倉のひとづくり”

〔めざすべき佐倉市民像〕（第3次佐倉教育ビジョンより）

- (1) 思いやりのある豊かな心を持ち、自然や文化を大切にする人
- (2) よく学び、自ら考え、進んで行動する人
- (3) 佐倉への愛着と国際的な視野を持って社会に関わる人

〔基本方針〕（第3次佐倉教育ビジョンより）

- 〔1〕子どもの「輝く」力の向上をめざす【学校教育】
- 〔2〕子どもが「輝く」ための教育環境の整備・充実をめざす【教育環境】
- 〔3〕市民や地域の「輝く」力の向上をめざす【生涯学習】
- 〔4〕佐倉の「輝く」力の向上をめざす【文化・芸術】

〔令和3年度施策の主な成果〕

令和3年度は、『第3次佐倉教育ビジョン前期推進計画（令和2年度～令和5年度）』の2年目として、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しつつ令和5年度末の達成目標に向けて佐倉の教育の充実に努めました。

施策の主な成果について、『第3次佐倉教育ビジョン前期推進計画』の重点事業から特色のあるもの、新たに取り組んだ事項など主なものを以下に表記します。

なお、施策事業の実績・成果及び評価については、「教育委員会の事務執行にかかる点検評価報告書」を作成し公表いたします。

- (1) 確かな学力の向上のため、佐倉市独自の学習状況調査を実施し、教育センター報告会、教育センターだよりで調査結果の周知・啓発を行いました。また、過去3年間の経年変化データや調査分析結果を全小中学校へ提供し活用することで、指導方法の改善に取り組みました。
- (2) 児童生徒一人につき一台のタブレット端末の導入により、授業では視覚に訴えた教材の提示が可能になり、児童生徒の理解が深まりました。また、発表や話し合い活動では、端末を使って効果的な説明や発表を行うことができるようになり、思考力・表現力の伸長につながりました。休校時や欠席している児童生徒に対して授業を配信することにより、希望するすべての児童生徒が等しく授業を受けることができるようになりました。
- (3) 佐倉学道徳教材検討委員会を開催し、検討委員が授業実践をもとに佐倉学道徳副読本の内容について検討を行うなど、より良い教材となるよう、副読本の改訂

作業を進めました。

- (4) 「佐倉学」の推進における取組として、各小学校6学年児童に改定版佐倉学副読本「ふるさと佐倉の歴史」を配付するとともに、次年度に向けて佐倉学副読本「ふるさと佐倉の歴史」の改訂・配付準備を進めました。また、研究モデル校である南部中学校において「佐倉学を通じた教科横断的な学習の工夫」についての研修を進めました。令和3年度「佐倉学検定」を実施し、小中学生約1,300名が受検しました。
- (5) 新体力テストにおいて体力優良の児童に体力優良証を交付するなど、体力向上の推進を図りました。また、児童生徒が参加する小中学校体育連盟主催・教育委員会共催の各種競技大会への参加費用の一部を補助しました。
- (6) 学校給食について、新型コロナウイルス感染予防のため、衛生面に配慮した給食を実施するとともに、全小中学校で「城下町佐倉・江戸ぐるめ献立」、「クララホワイトニー献立」、「佐倉うまいもの自慢献立」など特色ある給食を実施しました。また、食に関する指導の全体計画の作成が完了しました。
- (7) 学校の教育環境の向上を図るため、令和2年度から計画的に進めている老朽化したトイレの改修工事について、令和3年度は根郷小学校、佐倉東小学校、和田小学校、印南小学校、南志津小学校、寺崎小学校、間野台小学校において実施しました。
- (8) 衛生的で機能的な給食施設・設備を維持するため、耐用年数を超えた給食備品等の購入や給食施設等の修繕等を行いました。
- (9) 少人数によるきめ細やかな指導を行うため、小規模特認校である弥富小学校及び和田小学校に学校支援補助教員を1名ずつ配置しました。また、児童数増加に向けての取組として、ポスターの作製・配付・掲示、小規模特認校公開授業等を実施しました。
- (10) 教育支援委員会を開催し、適正な就学及び、必要な支援について、調査審議を行いました。また、特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する幼稚園・小中学校に特別支援教育支援員を配置し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた学習及び学校（園）生活における支援の充実に努めました。
- (11) アイアイプロジェクト活動を推進し、地域の方々と連携して児童生徒の登下校時の安全確保に努めるとともに、学校と地域の交流を図りました。また、警備業者委託による登下校時の巡回パトロールや教育委員会事務局職員による青色回転灯装備車を用いた巡回パトロールを実施し、さらに、警察、県及び市道路管理者、学校関係者、教育委員会で通学路合同点検を実施しました。合同点検の結果、小学校通学路の要注意箇所78箇所の具体的な対策案をまとめ、ホームページで公開し、児童生徒の登下校時の安全確保に努めました。
- (12) 学校運営委員会や下部組織である環境整備委員会、学校安全部会、学校開放部会の開催など、保護者や地域住民が学校運営に参画し、地域と学校が共通の目的を持ち、一体となって、よりよい教育の実現に向けて取り組むことができました。
- (13) 生徒指導担当者会議における研修、いじめの月例調査の実施、学校支援アドバイザーの派遣等により、教職員のいじめ問題に対する意識が変わり、迅速かつ組織的に対応することができました。また、いじめ事案に対しては、指導主事と学校

が緊密に連携を取り、迅速ないじめの解消につながりました。

- (14) 児童生徒や保護者の様々な課題に対応するため、面接・電話・訪問相談を行い、学校との連携を図りながら指導・支援を行いました。さらに学校教育相談員による適応指導教室の運営を通して、不登校傾向の児童生徒の居場所を確保し、学校と連携して学校復帰に向けた指導・支援を行いました。また、心の教育相談員を小学校に配置するとともに、スクールカウンセラーや各関係機関等と連携し、児童生徒や保護者、教職員の相談に対応しました。
- (15) 市民の教育への興味や参加意識の向上を図るため、11月16日の「佐倉市教育の日」や関連行事について、ホームページ、広報紙、チラシ、フェイスブック、ツイッター、ブログ等で周知を行うとともに、佐倉の特色を生かした事業を実施しました。
- (16) 地域で活動する人材の育成を図るため市民カレッジを開講しました。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、授業は午前又は午後のみとし、コロナ禍を考慮して、自宅でも学習できるよう、授業の様子を録画した動画を佐倉市民カレッジのホームページにて、生徒向けに期間限定で公開しました。また、文化祭は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため研究発表及び作品展示を動画配信しました。
- (17) 2年制のコミュニティカレッジさくらを開講し、例年、1日で行っていた講義を、午前又は午後の半日とするなど新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、居住する地域に目を向け、地域課題に対して関心を高め、地域課題解決の手立てを学ぶ講座を開催しました。
- (18) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため学童期子育て学習講演会の学校開催を中止し、古嶋美文氏による講演会を事前収録してYouTubeにて配信を行いました。また、子育て理解講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講師の学校への訪問は中止しましたが、助産師と経産婦による講座のDVDを作成し、各中学校へ貸し出しを行うなど、家庭教育の推進を図りました。
- (19) 多くの方々に親しまれるよう、(仮称)佐倉図書館等新町活性化複合施設の愛称を募集し、最終候補3点について市内小中学校の児童生徒が一人につき一票の投票を行い、「夢咲くら館」と決めました。整備については、施設建設工事を引き続き進めるとともに、展示物製作用の撮影や造作備品の発注など、令和5年3月の開館に向けた準備を行いました。
- (20) 図書館にて平和に関する展示を8月に行いました。
- (21) 読書に親しむ機会を充実させるため、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで、人形劇おはなしきゃらばん、0, 1才、2, 3才向けおはなし会や市立保育園への訪問おはなし会、大人のためのお話会、クリスマスフェスタ2021等を開催しました。また、新たな読書普及事業として「みんなで作るおススメの本コーナー」と題して、POP(本の紹介カード)について市民や児童生徒に向けて周知及び募集を行い、図書館内における掲示及びホームページへの掲載を行いました。
- (22) 国指定史跡である井野長割遺跡の適切な維持管理を行うとともに、学校や公民館等への講師派遣や普及活動を実施しました。

- (23) 武家屋敷、旧堀田邸、佐倉順天堂記念館について、市内外の小学校等の校外学習の積極的な誘致を行いました。また、佐倉順天堂記念館の展示替えを行うとともに、武家屋敷と旧堀田邸のVR映像を公開しました。
- (24) 文化情報誌『風媒花』第34号を発行し、芸術文化の普及促進に努めました。
- (25) 市立美術館で企画展「作陶50年記念 上瀧勝治展 — 磁器に咲く花」、「フランスワ・ポンポン展 — 動物を愛した彫刻家」を、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで開催しました。
- (26) 市立美術館のミテ・ハナソウ・プロジェクトとして新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンラインで対話型鑑賞「ミテ・ハナソウ・カイ」を行い、事業の継続を計りながら、美術の普及に努めました。また、学校との連携として、グループを細分化したうえで、部屋を分けて授業を行うなど、きめ細やかな感染症対策を講じたプログラムを開発し、対面による出前授業や学校来館受け入れなどを行いました。その他、アーティストと共同で鑑賞プログラムの開発を行いました。

〔令和4年度施策の特徴及び重点項目〕

施策の主な特徴として、「①ICTを活用した学習活動の実施など、より充実した学校教育の推進」、「②登下校時における児童生徒の安全により配慮した見守り活動や学校施設の改修など、安全・安心・良好な学習環境の整備」、「③公民館・図書館等における生涯学習の振興」、「④夢咲くら館の開館に向けた準備など生涯学習環境の整備」、「⑤歴史文化資産や佐倉の魅力を生かした文化振興」の5点が挙げられます。

この5点を含め、『第3次佐倉教育ビジョン前期推進計画』及び以下の重点項目に基づき、各事業の進捗状況を把握し、着実かつ効果的に成果を上げられるよう、各施策を推進します。

(1) 学力向上・学習内容の充実に取り組みます

- ・佐倉市学習状況調査（国語、算数・数学、理科、外国語）を実施し、授業・指導方法の改善に結びつけます。
- ・ICTを活用した情報教育を推進し、児童生徒の学習意欲の向上や「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進め、学習活動の一層の充実を図ります。

(2) 豊かな人間性を育む教育に取り組みます

- ・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」及び佐倉学道徳教材の活用状況を調査し、その結果から佐倉学道徳教材検討委員会において教材等の改訂を行います。
- ・佐倉学道徳副読本を小中学校で活用することにより、児童生徒の郷土を愛する心を育てます。
- ・佐倉市文化祭小中体育大会、体力優良証交付などを行うことにより、児童生徒の体力の向上と健康の保持増進を図ります。

- ・学校給食への地場産物の使用などを通じて児童生徒への食育を推進します。

(3) 良好な学習環境を整備します

- ・【継続】老朽化したトイレの全面改修を進めることで、学習環境の向上を図ります。
- ・小中学校施設の安全対策と老朽化対策に取り組み、施設の維持管理に努めます。
- ・老朽化した給食施設・設備の補修工事を実施し、安全・安心な環境の下で円滑な学校給食運営を図ります。
- ・小規模特認校として指定された弥富小学校及び和田小学校に学校支援補助教員を1名ずつ配置し、少人数によるきめ細かな指導を行います。
- ・【拡充】特別な支援を必要とする幼児児童生徒のいる幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた学習や生活支援の充実に努めます。

(4) 地域に開かれた学校運営を行います

- ・教育懇話会の開催を通して、市民と共に佐倉の教育について考え、今後の教育施策に生かすことで地域に信頼される学校づくりを目指します。
- ・地域との連携を深め児童生徒の登下校時の安全確保に努めます。
- ・学校運営委員会等の学校・家庭・地域の連携を行う取組を推進します。

(5) 安心して学校に通える環境を提供します

- ・「佐倉市いじめ防止基本方針」に基づき、「佐倉市いじめ対策調査会」、「佐倉市いじめ問題対策連絡協議会」、「佐倉市いじめ防止子供サミット」を開催するとともに、学校支援アドバイザーを巡回派遣するなど、いじめ防止のための対策を推進します。
- ・児童生徒や保護者の様々な課題に対応するため、学校教育相談員及び心の教育相談員を配置するとともに、スクールカウンセラーや各関係機関等と連携し、教育相談体制を充実させます。

(6) 市民の生涯学習を推進します

- ・佐倉の教育への関心を高めるため、「佐倉市教育の日」関連行事を充実させます。
- ・地域との連携を持ちながら住みよいまちづくりを考え、実践を通じた生涯学習の場として市民カレッジを運営します。
- ・地域人材の育成を図るための学習の場であるコミュニティカレッジさくらを運営します。
- ・佐倉学事業の充実を図ります。
- ・家庭の教育力向上のため、学校や地域と連携した家庭教育を充実させます。

(7) 生涯学習の環境を整備します

- ・【継続】夢咲くら館の整備を進めます。

(8) 歴史・文化資産を保全・活用します

- ・国指定史跡である井野長割遺跡の適切な維持管理を行います。
- ・歴史文化資産について、各種講座や見学会等を開催し、郷土への関心と愛着を高

めます。併せてこれらの資産に関して、ホームページやリーフレット等で広く情報発信を行い、佐倉の歴史文化的な魅力について市内外に周知します。

(9) 芸術文化の普及を推進します

- ・文化情報誌『風媒花』の発行等を通して、芸術文化の普及を促進します。

3. 公民館運営審議会

佐倉市公民館運営審議会委員（期間 令和4年7月1日～令和6年6月30日）

氏名	所属等	備考
金田 一幸	千葉県立佐倉南高等学校長	
猪熊 浩文	佐倉市立志津中学校長	
高木 秀樹	佐倉市立下志津小学校長	
松崎 裕美子	人権擁護委員	
藤崎 貴之	佐倉市青少年相談員連絡協議会	
岩波 二三子	学識経験者	
藤崎 言行	学識経験者	
片山 喜久子	学識経験者	
林 義之	学識経験者	
慶田 康郎	学識経験者	
森 秀夫	学識経験者	
吉光 孝一	公募	
鴫崎 金次	公募	
田淵 敦子	公募	
友崎 彰	公募	

中央公民館

佐倉地区の概要

佐倉地区は、京成電鉄軌道の北側の旧内郷村地区と南側の旧城下町地区とに大別される。

内郷地区は、宮前地区で宅地開発が進み、その他の地区は田畑が広がっている。また、印旛沼を北にのぞみ、佐倉草ぶえの丘、市民の森、岩名運動公園などの施設がある。

京成電鉄とＪＲ総武本線、鹿島川にはさまれた旧城下町地区は、未だに城下町当時の面影が所々に残っており、国立歴史民俗博物館、佐倉城跡、武家屋敷、順天堂記念館、平成１８年に国の重要文化財（建造物）に指定された旧堀田家住宅及び、庭園を含む一帯は「旧堀田正倫庭園」として平成２７年３月に国の名勝に指定されるなど、歴史と文化の環境に恵まれている。平成２８年４月には「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」として佐倉市、成田市、香取市、銚子市の四都市が「日本遺産」に認定された。また、城下町の面影を残す台地上に、市役所、裁判所、検察庁そして、佐倉図書館、市民体育館、市立美術館など公共施設が集中しており、商店街も形成している。

中央公民館は、この台地の南側の低地に佐倉保育園と並んで建っている。付近には、平成１１年３月に建設された千葉県印旛合同庁舎がある。ＪＲ佐倉駅、京成佐倉駅ともに徒歩１５～２０分、最寄りバス停から１０分の場所に位置する。

佐倉地区のデータ

【令和５年３月末現在】

- 佐倉地区：面積 約 20.6 km² （佐倉市：面積 103.69 km²）
- 佐倉地区：住基人口 27,658人 （佐倉市：住基人口 171,037人）
- 佐倉地区：人口密度 1,342人/km² （佐倉市：人口密度 1,649人/km²）

1. 公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部開館、開館時間の短縮などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

計画事業は、感染リスクを回避する方策を工夫し、無理なく実施可能な事業を見極めながら実施していく。

※市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』『集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動における施設利用の留意点』を当面の間適用する。

運営方針

歴史のまち佐倉の生活・文化の向上と、ふるさと佐倉のまちづくりに携わる市民の連帯意識を高めるため、だれもが学習しやすい公民館、集会活動のよりどころとなる公民館、親睦を深める場となる公民館として生涯学習のねらいを達成すべく、社会教育活動の中心施設としてその役割を果たすことを目指す。

努力目標

- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策に努める。
- 利用者に対して、快い適切な対応をするように努める。
- より多くの方に利用してもらうよう施設設備の提供に工夫をすると共に、安全管理に努める。
- 社会状況の変化を踏まえ、次代を見据えた学級・講座の充実に努める。
- 公民館に関係する各種団体との連携を図り、活動の支援に努める。

事業内容

1. 施設・備品の提供

(1) 施設の提供（団体、グループ単位）

- ① 開館時間 午前9時から午後9時まで。
ただし、月曜日・祝日・夜間利用がない場合は、午後5時まで。
- ② 利用区分 1時間単位
- ③ 休館日 第2・第4月曜日、及び年末・年始（12月28日～1月4日）。
※感染状況に応じて、休館や開館時間の短縮を実施

(2) 備品の提供（団体、グループ単位）

館外貸与できるもの 机、椅子、拡声装置、視聴覚機器、視聴覚教材

2. 学級講座

地域の特性を活かした、各世代に応じた学習機会の提供と学習内容の充実

3. 団体育成事業

利用団体や関係団体の学習活動と地域活動の支援

4. 広報事業

施設や関係団体の情報提供、SNSを活用した情報発信の推進

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用件数 (件)	5,364	4,720	1,649	3,490	4,428
利用人数 (人)	104,261	90,628	25,061	44,767	53,692
開館日数 (日)	333	318	272	334	335

※開館日数が他館より多く、利用可能回数（下記）が施設により違う理由
下記の貸館があったため

- ・令和 5 年 2 月 13 日（月） 市長・市議会議員選挙立候補予定者説明会
- ・令和 5 年 2 月 27 日（月） 臨時校長会

令和 4 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
大ホール	3,852	2,132	55.3%
研修室 1	3,844	1,273	33.1%
プレイルーム	3,844	302	7.9%
研修室 2	3,844	1,391	36.2%
研修室 3	3,844	1,274	33.1%
調理室	3,844	434	11.3%
和室	3,844	827	21.5%
会議室	3,844	1,230	32.0%
アトリエ	3,844	1,053	27.4%
工芸室	3,844	597	15.5%
学習室 1	3,844	1,395	36.3%
学習室 2	3,844	1,185	30.8%
学習室 3	3,845	1,411	36.7%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容		
家庭教育	親子で土いじり 「初めての陶芸にチャレンジ！」	小学1年生～3年生と保護者 7組	7/30 7組14人 8/20 7組12人	親子で土とふれあい、協力してものづくりすることにより、コミュニケーションを図る機会とするとともに、陶芸の基礎を学ぶ。		
	親子でアート 「窓ガラスお絵かきワークショップ」	小学生と保護者11組	8/9 11組32人	中央公民館の窓ガラスに自由にお絵かきをしてもらうことで、子供たちの自由な感性を育むとともに、親子で一緒にアートすることの楽しさを実感してもらう。		
	親子でアート 「道路アートワークショップ」	小学生と保護者12組	8/22 15組41人	中央公民館の周囲の道路（駐車場）に親子で自由にお絵かきをしてもらうことで、親子で一緒にものを創り出すことの楽しさを感じてもらう。		
青少年教育	夏休み子どもゼミナール	小学5年生以上と家族 20人または25人	7/27 24人 8/2 16人 8/10 21人 8/27 16人	星空観察や環境等(天気・廃油石鹸・牛乳パック葉書)について専門の講師を招き少人数制で体験的に学ぶ。星空観察は和田公民館との共催。		
	四季の草木染めワークショップ	小学校4年生以上 10人	10/1 9人 12/10 10人 3/4 10人	藍の生葉や落葉など身近な素材を使って草木染めを学ぶ。		
	夏休み学習ルーム	小学生から一般市民まで	7月下旬～8月中	夏休み期間中、自主学習の場を提供する。		
佐倉学	手作りのしめ縄飾りを作ろう！	小学4年生から高校生 10人程度	12/25 7人	しめ縄を作ることで、日本の伝統文化を学ぶ。		
	成人教育講座 「生活を楽しむ 竹細工の魅力」	成人 30人	12/4 27人	座学と竹細工の工作体験を行う。		
成人教育	シニア向けスマホ・タブレット講座 ～LINEとキャッシュレス決済を活用しよう～	60歳以上 各回8人	8/19、8/26 9/6、9/20 9/29、10/11 10/27、10/28 11/2、11/17 11/25、11/30 全12回 計87人	コロナ禍において新しい生活様式に対応するため、高齢者のICT活用支援を図り、市の情報受信に有効なLINEと、今後も活用の拡充が見込まれるキャッシュレス決済などについて学ぶことのできる講座を、市内6地区の各公民館で実施する。		
	佐倉市民カレッジ	《であい課程》 第1学年 第2学年 2年間の学習コース	第1学年	成人 50人	5月～2月 32回	高齢化社会の中で、市民が健康で生きがいを持ち、地域と連携をもちながら、住みよいまちづくりを考え、実践をとおした生涯学習の場とする。「であい課程」では、主に一般教養科目を学ぶ。その領域は、健康・家庭・生きがい・経済・佐倉の歴史・環境・市政・福祉・国際理解・仲間づくり等である。「専攻課程」は、福祉・歴史・情報・元気の4分野に分かれて行う専門別学習コースであり、卒業後の実践活動に役立たせるために、体験学習、話し合い、発表等の学習方法を取り入れている。
			第2学年	成人 56人	5月～2月 32回	
		第3学年	成人 66人	5月～2月 22回		
		第4学年	成人 63人	5月～2月 23回		
	《専攻課程》 第3学年 第4学年 2年間の学習コース (以下の4コース) あつたか福祉コース ふるさと歴史コース さわやか情報コース ゆっくり元気コース					
広報活動	ホームページ	市民	随時	中央公民館の主催事業等を掲載し、情報を提供する。		
	SNS・YouTube	市民	随時	中央公民館の情報を発信する。		

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
視聴覚ライブラリー事業	視聴覚機器貸出	登録団体	随時	視聴覚ライブラリー所有機材・教材の貸出を行う。

1. 家庭教育事業

親子で土いじり「初めての陶芸にチャレンジ！」

- ①開設趣旨 親子で土とふれあい、協力してものづくりをすることにより、コミュニケーションを図る機会とする。また、陶芸の基礎を学ぶ。
- ②募集対象 小学1年生～3年生と保護者 7組
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月30日（土） 9：30～ 12：00	親子で陶芸を体験する。	陶芸家 安本 幸世
2	8月20日（土） 9：30～ 12：00	作品に絵付けをする。	陶芸家 安本 幸世

- ④講座を終えて 親子で土いじりというテーマで、昨年に引き続き陶芸体験を行い、親子7組の参加があった。アンケート結果を見ると、「満足」「楽しかった」とする回答がほとんどで、「次回も参加したい」とする意見が多数を占め、満足の高い事業であったと考えられる。また、全体的に時間に余裕をもって事業展開することができ、参加人数についても講師から細かいアドバイスを得る上でも適正であったと思われる。

親子でアート「窓ガラスお絵かきワークショップ」

- ①開設趣旨 中央公民館の窓ガラスに自由にお絵かきをしてもらうことで、子供たちの自由な感性を育むとともに、親子で一緒にアートすることの楽しさを実感してもらう。
- ②募集対象 小学生と保護者 11組
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月9日（火） 10：00～ 12：00	中央公民館1階ロビーの窓ガラスに、親子で絵を描いてもらう。	久本 綾 (アトリエティエラスールこども造形教室講師)

- ④講座を終えて 去年に続き、感染対策を取りながら、大人も子供も一緒に楽しめるイベントを目指し実施した。今年のテーマが森だったので、市内図書館所蔵の森関連の書籍20冊を展示、本を読んでもらいながら先生のお話も聞き、参加者全員で森のイメージを共有した。この時間があつたことで、参加者同士打ち解けた雰囲気になり、去年よりも個性がありながらも一体感のある作品に仕上がった。大人用の見学席もあえてなくし、子供と一緒に一つ一つの作品を作り上げた。アンケート結果をみると大人の満足度も非常に高く、子供だけでなく大人も楽しめる事業になった。

親子でアート「道路アートワークショップ」

- ①開設趣旨 中央公民館の周囲の道路（駐車場）に親子で自由にお絵かきをしてもらうことで、親子で一緒にものを創り出すことの楽しさを感じてもらう。
- ②募集対象 小学生と保護者 12組
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月22日（月） 10:00～ 12:00	中央公民館周囲の道路（駐車場）に、親子で絵を描いてもらう。	久本 綾 （アトリエティエラスールこども造形教室講師）

- ④講座を終えて 道路アートワークショップは去年度から始まった窓ガラスお絵かきワークショップと連動する形で、テーマを海に設定し実施した。窓ガラス同様、普段は描けない素材、場所に絵を自由に描いてもらうことで、子どもたちの自由な感性を育むとともに、なかなか遠出できないコロナ禍の中、夏休みの思い出にしてもらいたいという趣旨から企画した。窓ガラスでは、描くスペースを各組ごとに1枚の窓ガラスという形で区切ったが、道路アートは屋外であったことから、描くスペースは区切らず自由に描いてもらった。その結果、初めて会う参加者同士が友達になる場面が多々見受けられ、参加者同士が繋がる空間を提供できたと思う。子供の保護者である大人も夢中になって描いており、アンケート結果では、大人も子どももどちら側からも高い評価をいただき、満足度の高い事業となったと思う。

2. 青少年教育事業

夏休み子どもゼミナール

- ①開設趣旨 科学分野の専門家の方々を講師に招き、少人数制でゼミ形式の講座を開催することにより、子どもたちに科学について興味を持ってもらうことをねらいとする。令和4年度は、下記「③プログラム」の分野にて講義を行っていただいた。
- ②募集対象 小学5年生以上と家族 20人か25人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月27日（水） 14：00～ 16：00	牛乳パックDE紙すきハガキ作り 牛乳パックを原料に紙すきをして色とりどりのうちわを作って「紙のリサイクル」を学ぶ。	千葉県温暖化防止 活動推進員 廣田 由紀江
2	8月 2日（火） 10：00～ 11：30	天気を予想できるナゾ 天気予報の仕組みを分かりやすい解説で学ぶ。	銚子地方气象台 石文 希、久山 巧
3	8月10日（水） 14：00～ 16：00	廃食油で作る「ふりふり石けん」 廃食油（揚げ物に使った後の油）から石けんを作って「リサイクル」がごみを減らし温暖化防止につながることを学ぶ。	千葉県温暖化防止 活動推進員 廣田 由紀江
4	8月27日（土） 19：00～ 20：30	天体望遠鏡で星空観察 天体望遠鏡で星を実際に観察することで、星がどのように見えるのか学ぶ。	天体観望会支援グループ「宇宙魅せ隊」代表代行 芳野 雅彦

- ④講座を終えて 「紙すきハガキ作り」と「ふりふり石けん」は同じ講師によるもので、講師ご自身の人柄もあってか、全体的にはほんわかとした楽しい講座になった。参加者は地球温暖化等の環境問題に関心を高め、工作を楽しんでいた。
- 「天気を予想できるナゾ」は昨年度も行っており（前述の「紙すきハガキ」も）、応募は昨年度より減少したが、雲や竜巻のできる仕組みや天気を予測できる機器、さらに少し災害にも触れていた。雲や竜巻を作る簡単な実験も行い、それが参加者の興味をさらに引いたようだった。
- 「天体望遠鏡で星空観察」も毎年継続的に行っているが、天体を直に見られる機会であるため、毎年、人気が高い。今回は若干雲が出ており、はっきりと天体を見ることは難しいようだったが、参加者は望遠鏡を通した天体を見ることができて大変満足し、天体にもさらに興味を持ったようであった。また、望遠鏡で映した画像をパソコン等の画面に映して皆が一度に見られるようにする「テレビ観望」をこの講座で初めて行い、参加者たちも興味深く見ていた。
- 講師はZOOM等を経由した「オンライン観望会」を何回か過去に行っているとのことで、講座開始前にそのテストも行った。今後、悪天候や感染症拡大等により参加者が外出できないときに活用できるかもしれない。

四季の草木染めワークショップ

- ①開設趣旨 身の回りの草花野菜から色を抽出して布を染める体験を通して、佐倉市の四季の移り変わりを実感し、佐倉の自然の豊かさを学んでもらう。また天然染料によって生み出す「布」作りを通して、「布」、ひいてはモノを大事にする心を養う。

②募集対象 小学4年生以上 各10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月 1日(土) 9:00～ 12:00	身近な草で染めよう ～セイタカアワダチソウ～	染織家 濱口 さえこ
2	12月10日(土) 9:00～ 12:00	香りも楽しみながら染める －月桂樹－	
3	3月 4日(土) 13:00～ 16:00	藍の干し葉染めを楽しむ	和田はたおり保存会

④講座を終えて 今年度は3回実施したが、1回目、2回目の講師は染織家の濱口さえこさん、3回目は和田はたおり保存会の皆さんにお願いしたため、1、2回目と3回目で進め方の部分などで多少違うところはあったが、どの回も熱心な参加者が多く、参加者間の交流も活発で、満足度の高い講座になった。毎回抽選となり、人気も高いが、参加者が部屋の関係で10名と少ないので、多くの方に参加いただけるような仕組み、内容について検討していきたい。

手作りのしめ縄飾りを作ろう！

①開設趣旨 日本には新年を迎えるための行事の一つとして、しめ縄飾りを作る習慣がある。しめ縄飾りは、作物の豊作や幸福を運んでくれる歳神様を迎えるための行事で、今回は玄関に飾れる「輪飾り」を作る。

日頃作ることがないしめ縄飾りを自分の手で作ることで、日本の伝統文化に対する理解や関心を持ってもらうことをねらいとしている。また、素材となるワラについては、地元生産者の協力を求めて、地域産業を知る機会にもする。

②募集対象 小学4年生から高校生とその保護者 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	12月25日(日) 9:30～12:00	基本的に1人1つの「輪飾り」を作る。家族単位の参加も可能とし、その場合は、親子で1つの飾りを作るものとする。	市内ワラ生産者 藤崎 言行

④講座を終えて 日本の伝統文化を学ぶ場として、地元農家の協力を得て昨年に引き続き本講座を実施したが、応募状況は低調で、当日は7人の子供たちにしめ縄飾り作りを体験してもらった。初めての体験に戸惑う子もいたが、熱心にしめ縄飾り作りに取り組んで、全員時間内に完成することができた。アンケート結果では全員が「楽しかった」と回答、「次回も参加したい」が大勢を占めた。今後の事業展開としては、応募状況やワラなどの材料確保の問題等を勘案し、事業の見直しも検討していきたい。

3. 成人教育事業

成人教育講座「生活を楽しむ 竹細工の魅力」

①開設趣旨 伝統技法の研究・創作活動に取り組む「佐倉竹芸保存会」を講師に招き、竹芸の魅力を語っていただき、その作品を鑑賞するとともに、実際に会のメンバーの指導で工作体験をしていただくことにより、身近な素材を用いた物づくりの楽しさを学び、芸術文化を愛し、自らの生活を豊かにするきっかけづくりの場とする。

②募集対象 成人 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月 4日（日） 9：30～ 12：00	「佐倉竹芸保存会」の概要説明とパワーポイントを使った「竹」の特性に関する講義、グループ分けをして「握り籠づくり」の工作体験、保存会メンバーの作品展示	佐倉竹芸保存会

④講座を終えて 昨年に引き続き2回目の講座となったが依然として人気が高く、定員を超える申し込みがあった。都合により不参加の者も出て、当日は27人で実施したが、講義を真剣に聞き、熱心に握り籠づくりに取り組む姿が見られた。昨年よりも指導者数を増やしたことも、円滑な事業展開につながった。アンケート結果を見ても参加者の満足度は高く、受講後の自発的な活動にも期待が持てる。なお、指導者の竹芸保存会にとっても、会員のスキルアップにつながっているとのことであった。

シニア向けスマホ・タブレット講座 ～LINEとキャッシュレス決済を活用しよう～

①開設趣旨 コロナ禍において新しい生活様式に対応するため、高齢者のICT活用支援を図り、市の情報受信に有効なLINEと、今後も活用の拡充が見込まれるキャッシュレス決済などについて学ぶことのできる講座を、市内6地区の各公民館で実施する。

②募集対象 60歳以上 各回8人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師	会場
1	8月19日（金） 10：00～ 12：00	LINE及びPay Payについての講 習	シルバー人材セ ンター パソコン班	志津公民館
2	8月26日（金） 10：00～ 12：00			
3	9月 6日（火） 10：00～ 12：00			白井公民館
4	9月20日（火） 10：00～ 12：00			
5	9月29日（木） 14：00～ 16：00			和田公民館
6	10月11日（火） 14：00～ 16：00			中央公民館
7	10月27日（木） 14：00～ 16：00			弥富公民館
8	10月28日（金） 14：00～ 16：00			和田公民館
9	11月 2日（水） 14：00～ 16：00			中央公民館
10	11月17日（木） 14：00～ 16：00			弥富公民館
11	11月25日（金） 10：00～ 12：00			根郷公民館
12	11月30日（水） 10：00～ 12：00			

④講座を終えて 今回の講座は初心者向けにLINE及びキャッシュレス決済の基本的操作、活用を中心に講義と実習を交えて実施した。参加者1名に対し2名のサポーターが

く丁寧な実習を行ったため、アンケートでは、多くの参加者が「よかった」と答えており、概ね満足した事業実施ができた。ただ少数の方から不満の意見もあり、初心者向け対象とはなっていたが、各参加者の携帯を使えるレベルは様々で、参加者の期待と講座内容のマッチングが課題として挙げられる。

4. 高齢者教育事業

四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」

1. 開設までの経緯

中央公民館では、年々増加する高齢者が、社会の変化とともに歩み、自己の能力を伸ばし社会活動へ参加し充実した生き方ができるよう、昭和53年5月に「佐倉市高齢者短期大学校」(以下短大)を開設した。短大が数年経過すると学生の学習意欲が高まり、卒業した学生からさらに学びたいという希望が生まれ、短大6期生より自主的に2年間の学習を行う「生きがい学園」が誕生した。また、短大生たちの中で4年間続けて学ぶことの意義が認識され、短大の学習内容のひとつである「市長への提言」にて「高齢者のための四年制の大学校の設置」という提言がなされた。そして、公民館運営審議会委員、福祉関係有識者、短大卒業生を含めた「高齢者の望ましい姿を考える会」が発足し、四年制大学校の設置の概要と方向性として、地域活動の実践、郷土佐倉を愛する心の育成、40歳以上への学習機会の提供などが示された。

このような経緯を踏まえて、公民館棟に接続して四年制大学校の専用校舎を建設し、「佐倉市民カレッジ」という名称のもと平成4年5月に開設した。初年度は40歳以上60歳未満の20人を含む第1学年100人、短大の卒業生が編入した第3学年96人の2つの学年によりスタートした。そして、平成5年度より新1年生と短大の編入生である新3年生を含めた4学年が揃い、本格的な四年制大学校としての歩みを始めた。

2. 開設の趣旨

佐倉市民カレッジは、高齢化社会(現在は超高齢社会)の中で、市民が健康で生きがいを持ち、地域との連携をもちながら住みよいまちづくりを考え、実践をとおして生涯学習のできる場となるよう開設されている。

また、佐倉市民カレッジ(以下、市民カレッジという。)では高齢者のみならず、高齢準備期である40歳代からの人にも学習の機会を提供し、高齢者と互いに学び、支え合うことを大切なねらいとしている。

3. 新型コロナウイルス感染防止対策

令和2年より世界的に大流行している新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和3年度より、以下の感染拡大防止策を講じながら開講している。

- ・入学定員の減少(100名から80名に)
- ・風邪症状のあるときは欠席。来館時はマスク着用
- ・3密を避けながらの講義(例えば、1年生及び2年生の授業を人同士の間隔が十分に取れる大ホールで行う)
- ・講義中は窓やドアを開け換気を行う
- ・手指消毒及び使用後の教室の消毒の徹底
- ・感染防止等の事情のために来館できない生徒のため、期間を限定し、授業を佐倉市民カレッジ掲示板ウェブサイト上で動画配信する。生徒は動画を視聴し、自己申告取得単位報告書を当館に提出することで単位を取得できるようにした
- ・1日の授業時間を午前または午後の半日とする
- ・館内での水分補給以外の飲食禁止
- ・施設見学等の課外活動は極力控える
- ・入学式・始業式及び卒業式・修了式を学年毎に分散開催

4. 入学対象・定員

(1) 入学対象者

- ①佐倉市に在住する40歳以上で、4年間継続して通学できる人
- ②積極的に自主学習ができる人
- ③卒業後は地域活動に積極的に参加できる人

(2) 定員：下記のとおり（先着順）

なお、令和4年度の応募・入学状況は以下のとおりである。

募集学年	募集定員	応募数	入学者数
第1学年	40歳以上 80人	50人	50人

※令和4年度の学生数

学 年	クラス コース	入学・進級者		修了・卒業者	
		人 数	小 計	人 数	小 計
第1学年	1 組	25	50	25	48
	2 組	25		23	
第2学年	1 組	30	56	30	56
	2 組	26		26	
第3学年	福 祉	18	68	18	66
	歴 史	17		17	
	情 報	18		17	
	元 気	15		14	
第4学年	福 祉	12	63	12	63
	歴 史	18		18	
	情 報	21		21	
	元 気	12		12	
計			237		233

5. 佐倉市民カレッジの学習内容

(1) 「であい課程」の学習

市民カレッジの学習期間は4年間であるが、その前半の2年間は「であい課程」である。主に一般教養として、佐倉の歴史、文化、健康、家庭、生きがい、法律、環境、市政、福祉、経済等の広い分野を学び、共に学ぶ仲間をつくる。また、「であい課程」では、今までの生活になかった自分とであい、仲間とであい、地域とであう中で、新たな生きがいを見つけることを学習のねらいとしている。

「であい課程」2年間の学習日数は約60日に及ぶ。その学習形態は講義形式のほか、話し合い、身近な公共施設などについて学ぶ市内めぐり、いくつかのグループに分かれ、テーマを設定してその内容について討議し、代表者が発表するグループ発表、また個人発表、健康運動などの実習などと様々である。このほか、学生が自ら考え、自己責任において行う地域活動の自己申告取得単位制度を設けている。

「であい課程」1年では、「私の生きがい」をどのようなものに求めているか、何が生きがいになっているのか等自分の生きがいについて考え、お互いに発表し合って相互理解を深め、文集「私の生きがい」にまとめる課題がある。

2年の「市政を学ぶ」の学習テーマでは、実際に市政に携わっている市役所の職員等を講師として招き、市民公益活動の推進、基本計画と財政、環境と環境保全、福祉と健康、教育施策「佐倉学」等について学習する。それをもとに、個々に自分の考えるまちづくり構想をもち、各グループに分かれて実践活動を行い、その成果を「まちづくり実践報告会」で発表した。

一連の学習の過程で、個々に市政についての理解を深めるのが大きなねらいである。

(2) 「専攻課程」の学習

3年生からの「専攻課程」では、講義と実践をとおして、卒業後も地域で生き生きと活動ができるようになることを目標として設置している。

また、地域活動をすることで単位を取得する自己申告取得単位制度を設け、学生が自主的に学習できる体制を整えている。

「専攻課程」には4つのコースを設けている。学習日数は2年間で40日程度である。コースの名称は「あったか福祉コース」「ふるさと歴史コース」「さわやか情報コース」「ゆっくり元気コース」である。

①「あったか福祉コース」

社会福祉全般の理論の学習や実習を通して、福祉活動を考え実践できることを主眼としている。3年生では、障害福祉、高齢者福祉、福祉サービスなどの福祉全般に関する知識や、車いすの操作方法、視覚障害者の歩行誘導などの障害者との基本的な接し方を学ぶ。

4年生では3年時の学習に加え、講義で福祉関連の知識を広げるとともに、傾聴の実習や、自分たちが学んだ介護技術を他コースの生徒に教える「学び合い学習」で、実践的な学習にも取り組んでいる。

「傾聴」をテーマとした学習は「他を認める」「話を聞く」「話をする」という、人と人の交流の基本を学び、人が地域社会を構成していく中で必要な「コミュニティ」形成の原点を学ぶことである。これは市民カレッジ学習の基本である「地域づくり」を根本から学んでいくことにつながると考える。

②「ふるさと歴史コース」

郷土佐倉の歴史、先覚者、歴史的町並みについて学び、郷土佐倉を愛する心を育てていく。その内容は講義形式の授業を受けるだけでなく、自主的にテーマを設定して研究レポートを作成し、発表する主体的な学習を行っており、さらに、今後の地域活動につながるよう、他コースに佐倉の史跡を案内して教えるという「学び合い学習」を行っている。

現在、卒業生による「歴史ボランティア」グループが結成されており、歴史コースでの史跡散策案内や学習補助をボランティアで行っている。

③「さわやか情報コース」

デジタルデバイスと言われる情報格差を埋めると同時に、デジタル技術を使用した情報発信を学ぶことで地域の情報の共有化を進めることを目的として、様々な学習を行っている。

情報化社会一般の現状についての講義を聴くほか、情報を伝達する機器を利用して、自主的に地域活動ができるようになるために、3年生では基礎からのパソコンやスマートフォンの実習や、動画を使った情報発信、4年生ではパソコンの学習成果を活かした実習を行っている。また、地域活動における名簿作りや、会計資料作成に役立つように表計算ソフトの講義も行っている。また学習日以外の、パソコン自主学習も盛んである。

④「ゆっくり元気コース」

自分の健康管理を自分で行うために必要な知識の習得を講義・実習をとおして行う。3年生では「歩くこと」を健康づくりの基本と考え、ウォークラリーのコースをカレッジ生が自主的に作成する。作成されたコースが市民カレッジや地域の行事に活用されることにより市民カレッジ生の地域参画が期待される。その他、生活習慣病に対する理解と予防、フレイル予防などについて学ぶ。さらに、太極拳やヨガなどの実習をとおして、自分に合った健康づくりを発見する。

4年生では、実践活動と今までの主体的な学習の過程や成果を通じて健康の維持と地域活動への導入を図る。また、各種スポーツイベントに参加し、多様な健康づくり、レクリエーション等への理解を深めるとともに事業の企画運営を考察する。そのほか、健康づくりに関する今後の自分たちの活動について話し合う学習も行っている。

「専攻課程」の学習のまとめとして、それぞれのコースで学習したことを他に伝え・教えることで「学び」を一層深めていく時間として「学び合い学習」を行った。

また「学んだことを活かす」というテーマでそれぞれのコース内で個人発表や話し合いを行い、そして、各コースの代表者による意見発表が行われた。

カレッジでの学習成果や、現在自分が行っている地域活動を紹介する中で、今後の自分の高齢者としての生き方について、長年蓄積した豊かな知識と経験から意見を発表する。それをいかに実践していくかが、市民カレッジを卒業してからの課題となる。

6. 佐倉市民カレッジの学習の特色

市民カレッジでは、学習の質を高め、より専門的な学習を行っていくために、他の機関・施設の協力を得て学習を展開している。国立歴史民俗博物館、千葉地方検察庁、佐倉警察署、千葉県立中央博物館、広域高速ネット296、順天堂大学、NPOニッポンランナーズ、東京情報大学、福祉施設などから講師派遣の協力をいただいている。

また、これらを含めた令和4年度の主な校外学習は、以下のとおりである。

令和4年度は前述のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、校外学習を極力控えている。

○校外学習

1 学年	6 月 3 日		1 年生歓迎ウォークラリー 坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩く
	7 月 8 日	1 組	地域活動の実践者に学ぶ（現地視察）
	7 月 15 日	2 組	
	9 月 16 日		ミテ・ハナソウ体験（佐倉市立美術館）
3 学年	5 月 25 日	歴史	大佐倉の歴史散策
	6 月 15 日	歴史	臼井の歴史散策
	10 月 14 日	歴史	成田山の歴史を学ぶ
	10 月 26 日	歴史	佐倉地区の歴史散策
	11 月 2 日	元気	ウォークラリーコースを作ろう
	11 月 16 日	歴史	志津の歴史散策
4 学年	5 月 31 日	歴史	新町の歴史散策
	6 月 3 日	元気	1 年生歓迎ウォークラリー 坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩く
	6 月 28 日	歴史	佐原のまちづくりを学ぶ
	12 月 20 日	元気	ノルディック・ウォーク

7. 令和4年度の主な行事

(1) 入学式・始業式

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入学式・始業式は、分散し学年ごとに行った。

入学式は5月13日（金）に行われ、50人の新入生が晴れの日を迎えた。

佐倉市長・西田三十五総長から「皆様は、佐倉市民カレッジ 第30期生として、これからの四年間、佐倉の歴史、自然、文化など郷土について学ぶほか、地域の課題となっている分野についても、学習に取り組んで頂きます。佐倉市民カレッジの建学の精神は「為すことによって学び、学ぶことによってお互いを高めあい、他に尽くす」でございます。皆様におかれましては、健康に十分留意され、互いに助け合い、励まし合いながら、新たな仲間と過ごす日々を大切に、地域の中で活躍できる場を、創造していただくことを、切に願っております。」（抜粋）との祝辞をいただいた。続いて、在校生から「歓迎の言葉」が新入生に贈られ、これを受けて新入生は「入学の言葉」を話した。

始業式は5月10日（火）に4年生、翌11日（水）に3年生、その翌日12日（木）に2年生について行われた。

(2) 佐倉市民カレッジ文化祭

例年、11月上旬～中旬に4日間にわたり、カレッジ生による実行委員会を中心に中央公民館大ホール・カレッジ棟を主な会場としてグループ活動や展示活動が行われ、卒業生もグループ活動発表（パネル展示・研究発表等）をして、多くの方々が交流と親睦を深める「佐倉市民カレッジ文化祭」が開催されている。

今年度は、新型コロナウイルス感染対策を講じながら、3年ぶりに対面での文化祭を11月8日（火）～12日（土）に開催した。感染対策のため、例年行われる「舞台発表の部」及び「喫茶の部」に代えて「音楽祭」及び「チャリティバザー」を実施するという新しい形での開催となった。チャリティバザーは大盛況で、売り上げが10万円を超え、佐倉市社会福祉協議会に全額を寄付した。また、展示作品、研究発表、音楽祭は、

それぞれに万感の思いが込められた力作揃いであった。

(3) 「まちづくり実践報告会」(2年)

2年生は、私たちの考えるまちづくりについて、行動の為の具体策を話し合い「まちづくり実践報告会」を実施した。この学習は、カレッジ生個々の市政に対する学習の取り組みを重視する形を取り、市政の学習を基に自分ならこのようなビジョンを持つと個々に考えをまとめ、その後に課題意識を同じくする仲間グループ(課題部門別)を形成し、各グループ別に調査研究、討議を重ねた内容を実践し、それらの実践活動を、令和5年1月12日(木)に1・2年合同の学習形態で、また、1月19日(木)に西田三十五総長を迎えて、代表者による発表を行った。

発表したグループは、「樹木G8」「湧く湧く29」「穴場探し29」「歴策29」「佐倉ユニカール29」の5グループであった。

(4) 卒業式・修了式

入学式・始業式と同様に、学年ごとに行った。

卒業式は2月7日(火)に行われ、皆勤者5人を含む佐倉市民カレッジ第27期生63人が、今後の活躍を胸に秘めながら卒業証書を手にした。

西田三十五総長は、「皆様は、新型コロナウイルス感染症による休校期間を含め5年間、健康に留意されながら、学習活動を継続してこられました。コロナ禍の試練を乗り越え、無事学業を修了されましたことは、皆様の人生にとりまして大きな意味を持つものと存じます。今日の喜びを学友同士で分かち合うだけでなく、カレッジ生活を支えてくださったご家族にも、ぜひ、感謝の気持ちをお伝えいただきたいと思います。市民カレッジの建学の精神は、「為すことによって学び、学ぶことによりお互いを高めあい、他に尽くす」でございませう。卒業後も、縁あって出会った多くの仲間と共に力を合わせ、日々充実した思いを持ち、益々ご活躍されますことをご期待申し上げます。」(抜粋)との言葉を述べた。

修了式は2月8日(水)に3年生、翌9日(木)に2年生、その翌日10日(金)に1年生について行われた。

8. 佐倉市民カレッジ生の課外活動

カレッジ生は自主的に団体を結成し、学習日以外にも積極的に活動している。日頃の学習とは異なり、趣味を深める活動、ボランティア活動及び地域活動など多岐にわたる。卒業生と現役カレッジ生と一緒に活動している団体もあり、その多くは、任意団体であるが、中には特定非営利活動法人もある。

中央公民館では、カレッジ園芸が、異学年や卒業生と交流を深めつつ、公民館周辺の花壇の管理、環境美化をボランティア活動として行っている。四季折々の花が来館者の目を楽しませている。

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表(1)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.13 (金)		*		式典	入学式・カレッジ概要	総長 館長
2	5.20 (金)	オリエンテーション	ホームルーム・自己紹介・役員選出等	社会教育指導員		*	
3	5.27 (金)	ホームルーム	ホームルーム/ 佐倉市の概要について	社会教育指導員/ 企画政策課		*	
4	6.3 (金)	健康づくり (1)	ウォークラリー 坂道・小径をたどり 城下町佐倉を歩く (雨天時6.10と入替)	社会教育指導員 元気コース4年生		*	
5	6.10 (金)	生涯学習の 楽しさ(1)	ホームルーム (ウォークラリーのまとめ、文化祭に向けて)	社会教育指導員		*	
6	6.17 (金)	地域を知る (1)	各地区の成り立ち 佐倉の歴史概要	文化課		*	
7	6.24 (金)	地域活動 (1)	自治会等の役割と 市民協働について	自治人権推進課		*	
8	7.1 (金)	人権	男女平等参画について	城西国際大学 国際人文学部 国際文化学科准教授 遠藤恵子		*	
9	7.8 (金)	地域活動(2)	1組 地域活動の実践者 に学ぶ(現地視察)	一里塚、手づくり工房さくら		*	
		私の生きがい (1)	2組 私の生きがい	社会教育指導員		*	
10	7.15 (金)	私の生きがい (2)	1組 私の生きがい	社会教育指導員		*	
		地域活動(3)	2組 地域活動の実践者 に学ぶ(現地視察)	一里塚、手づくり工房さくら		*	
11	9.2 (金)	私の生きがい (3)	私の生きがい発表	社会教育指導員		*	
12	9.9 (金)	健康づくり (2)	楽しみながらできる 健康づくり	順天堂大学 名誉教授 武井正子		*	
13	9.16 (金)	芸術・文化 (1)	ミテ・ハナソウ体験	佐倉市立美術館		*	
14	9.30 (金)		*		自然と環境 (1)	水環境と人間生活	元印旛沼環境基金 上席研究員 本橋敬之助
15	10.7 (金)	地域活動 (4)	佐原まちぐるみ 博物館に学ぶ	佐原 おかみさん会		*	
16	10.14 (金)	社会福祉 (1)	佐倉市の地域福祉	佐倉市社会福祉 協議会		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表(2)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
17	10.21 (金)	世代間交流 (1)	世代間交流 動画作成に向けて①	社会教育指導員		*	
18	10.28 (金)	自然と環境 (2)	里山の生態	東京情報大学 名誉教授 原 慶太郎		*	
19	11.4 (金)	世代間交流 (2)	世代間交流 動画作成に向けて②	社会教育指導員		*	
20	11.8 (火)～ 11.11 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	市民カレッジ文化祭・研 究発表、作品展示 11.8(火)～11(金) 大ホール、学習室3他	社会教育指導員 公民館職員		*	
21	11.18 (金)	世代間交流 (3)	世代間交流 動画作成に向けて③	社会教育指導員		*	
22	11.25 (金)	市政を学ぶ	公園活用について	公園緑地課		*	
23	12.2 (金)	芸術と文化 (2)	房総ゆかりの作家 波の伊八と葛飾北斎	筑波大学名誉教授 斎藤 泰嘉		*	
24	12.9 (金)	世代間交流 (4)	絆を引き継ぐ 世代間交流	東京都健康長寿医療 センター研究所 非常勤研究員 高橋知也		*	
25	12.16 (金)	世代間交流 (5)	世代間交流 動画視聴④	社会教育指導員		*	
26	12.23 (金)	自然と環境 (3)	特定外来生物の 生態や現状と課題	千葉県 生物多様性 センター		*	
27	1.6 (金)	国際	今年の国際情勢	敬愛大学 教授 水口 章		*	
28	1.12 (木)	1・2年合同 地域活動 (5)	2年生のまちづくり 実践報告を聞く	社会教育指導員		*	
29	1.20 (金)	地域を知る (2)	佐倉市の観光・ 地域産業	商工振興課 佐倉の魅力推進課		*	
30	1.27 (金)	地域を知る (3)	佐倉市の農業	農政課		*	
31	2.3 (金)	社会福祉 (2)	高齢社会を どう生きるか ー少子高齢社会の 日本の課題ー	聖徳大学教授 川口一美		*	
32	2.10 (金)	式典	2年生に向けて・ 修了式	館長 社会教育指導員		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表(1)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.12 (木)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		*	
2	5.19 (木)	まちづくり (1)	私たちのまちづくり①	社会教育指導員		*	
3	5.26 (木)	まちづくり (2) /地域活動(1)	まちづくり活動 実践者の発表/ 私たちの まちづくり②	社会教育指導員 カレッジ生・卒業生		*	
4	6.2 (木)	社会福祉	地域福祉とは	順天堂大学スポーツ 健康科学部 先任准教授 松山 毅		*	
5	6.9 (木)	地域活動 (2)	住環境と主体	千葉大学大学院 准教授 森永良丙		*	
6	6.16 (木)	まちづくり (3)	私たちのまちづくり③	社会教育指導員		*	
7	6.23 (木)	佐倉の歴史 (1)	原始古代の佐倉	文化課		*	
8	6.30 (木)	佐倉の教育	佐倉学について	佐倉市史編さん委員 内田 義久		*	
9	7.7 (木)	まちづくり (4)	私たちのまちづくり④	社会教育指導員		*	
10	7.14 (木)	市政を学ぶ (1)	佐倉市の災害対策	危機管理課		*	
11	9.1 (木)		*		佐倉の歴史 (2)	絵図から見た 城下町佐倉	国学院大学 兼任講師 川名 禎
12	9.8 (木)	情報社会 (1)	人工知能 ～コンピュータに できること できないこと～	東京情報大学 准教授 マツキン・ ケネスジェームス		*	
13	9.15 (木)	家庭と法律 (1)	裁判員制度について	千葉地方検察庁		*	
14	9.16 (金)		*		佐倉の歴史 (3)	〈佐倉〉にとっての 歴史資源	中央大学文学部 人文社会学科 日本史学専攻 宮間純一
15	9.22 (木)	地域活動 (3)	社会生活と ボランティア活動	神奈川大学 教授 齊藤ゆか		*	
16	10.6 (木)		*		健康づくり	こころサポーター (ゲートキーパー) 養成研修	聖マリアンナ医科大学 神経精神科研究員 日本大学非常勤講師 田口 学

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表(2)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
17	10.13 (木)	まちづくり (5)	私たちのまちづくり⑤	社会教育指導員		*	
18	10.20 (木)	市政を学ぶ (2)	高齢者福祉の 取り組みと認知症	高齢者福祉課		*	
19	10.27 (木)	まちづくり (6)	私たちのまちづくり⑥	社会教育指導員		*	
20	11.8 (火)～ 11.11 (金)	生涯学習の 楽しさ	市民カレッジ文化祭・研 究発表、作品展示 11.8(火)～11(金) 大ホール、学習室3他	社会教育指導員 公民館職員		*	
21	11.17 (木)	佐倉の歴史 (4)	佐倉の明治維新	成田山霊光館 学芸員 矢嶋 毅之		*	
22	11.24 (木)	家庭と法律 (2)	身近な法律知識 訴訟と人権	弁護士 法政大学法科大学院教授 高須順一		*	
23	12.1 (木)		*		まちづくり (7) / 専攻課程の 学習	私たちのまちづくり⑦/ 専攻課程の学習に 向けて 4年生コース代表説明	社会教育指導員
24	12.8 (木)	市政を学ぶ (3)	佐倉市の魅力	佐倉の魅力推進課		*	
25	12.15 (木)	自然と環境 (1)	河川湖沼の 水辺環境と 水質浄化の考え方	一般社団法人 千葉県環境財団 岩井久美子		*	
26	12.22 (木)	まちづくり (8)	私たちのまちづくり⑧	社会教育指導員		*	
27	1.5 (木)	情報社会 (2)	情報とリスク	東京情報大学 名誉教授 成瀬敏郎		*	
28	1.12 (木)	1・2年合同 まちづくり (8)	私たちのまちづくり 実践報告に向けて	社会教育指導員		*	
29	1.19 (木)	まちづくり (9)	私たちのまちづくり 実践報告	総長		*	
30	1.26 (木)	市政を学ぶ (4)	佐倉市の空き家対策	住宅課		*	
31	2.2 (木)	佐倉の歴史 (5)	平成の佐倉市と カレッジ史	佐倉市史編さん委員 内田儀久		*	
32	2.9 (木)	式典	3年生に向けて/ 修了式	館長 社会教育指導員		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（1）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (水)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		*	
2	5.18 (水)	初エンタツション	コース概要・ ホームルーム	社会教育指導員 福祉コース 卒業生		*	
3	5.25 (水)		*		福祉サービス (1)	福祉サービス提供の 基本視点	社会福祉法人誠友会 理事長 竹内 淳
4	6.8 (水)	健康づくり	自力整体と笑いヨガ	自力整体 ナビゲーター 秋田美智子		*	
5	6.29 (水)	介護演習 (1)	車椅子の種類・構造、 介助方法について	佐倉ホワイエ		*	
6	7.6 (水)	障害福祉 (1)	障害者(児)福祉制度 の概要とサービス内容	NPO法人 千葉市 視覚障害者協会 副理事長 高梨憲司		*	
7	7.13 (水)	4コース合同 講演会	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	防災コミュニティ ネットワーク代表 青木 信夫		*	
8	8.31 (水)	子育て支援(1)	佐倉市民による子育て 支援参加の可能性	千葉敬愛短期大学 教授 吉村真理子		*	
9	9.21 (水)	障害福祉 (2)	視覚障害を理解する	千葉県立 千葉盲学校		*	
10	10.5 (水)	生活と健康 (1)	高齢期の栄養と 食生活のあり方	栄養士 六崎美知代		*	
11	10.19 (水)	介護演習 (2)	介護技術の基礎 (食事介助)	佐倉白翠園		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース(2)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	11.2 (水)	福祉サービス (2)	介護保険制度の概要と サービス内容	介護保険課		*	
13	11.8 (火)～ 11.11 (金)	生涯学習の 楽しさ	市民カレッジ文化祭・研 究発表、作品展示 11.8(火)～11(金) 大ホール、学習室3他	社会教育指導員 公民館職員		*	
14	11.16 (水)	生活と健康 (2)	高齢者に多い 疾患の基礎知識と 予防・対処方法	佐倉白翠園 看護長 後田恵子		*	
15	11.30 (水)	福祉サービス (3)	地域包括支援センター について	佐倉市南部地域 包括支援センター		*	
16	12.7 (水)	ボランティア活動の 実践に向けて (1)	福祉施設交流に向けて (動画作成)	社会教育指導員		*	
17	12.14 (水)	ボランティア活動の 実践に向けて (2)	聴く技術	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子		*	
18	12.21 (水)		*		3年福祉元気 合同 生活と健康 (3)	楽しむ喜びと 食べることの意義	歯学博士 鳩貝尚志
19	1.11 (水)	介護演習 (3)	移乗動作と 歩行介助	佐倉ホワイエ		*	
20	1.18 (水)	障害福祉 (3)	聴覚障害を理解する	障害福祉課 佐倉市ろう者協会、 特定非営利活動法人 千葉県中途失聴者・ 難聴者協会		*	
21	1.25 (水)		*		子育て支援(2)	子どもの貧困について	千葉県スクール ソーシャル ワーカー 飯野弥生
22	2.8 (水)	式典	4年生に向けて/ 修了式	館長 社会教育指導員		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (水)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		*	
2	5.18 (水)	初エンターション	ホームルーム・ コース概要	社会教育指導員		*	
3	5.25 (水)	歴史散策 (1)	大佐倉の歴史散策 集合9時20分 京成大佐倉駅改札口外	酒々井町 文化財審議会 会長 高橋健一		*	
4	6.1 (水)	佐倉市の歴史 (1)	中世佐倉の道	東金市文化財審議会 会長 市文化財審議委員 遠山成一		*	
5	6.15 (水)	歴史散策 (2)	臼井の歴史散策 集合9時20分 京成臼井駅北口 ※雨天のため座学	臼井の案内人 滑川 洋子		*	
6	6.22 (水)	佐倉市の歴史 (2)	佐藤泰然と 佐倉順天堂	文化課		*	
7	7.13 (水)	4コース合同 講演会	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	防災コミュニティ ネットワーク代表 青木 信夫		*	
8	9.14 (水)	佐倉市の歴史 (3)	佐倉藩士と沼津兵学校	国立歴史民俗博物館 教授 樋口雄彦		*	
9	9.21 (水)		*		佐倉市の歴史 (4)	本佐倉城跡と臼井城跡の 発掘成果と 東国の戦国時代	国立歴史民俗博物館 名誉教授 小野正敏
10	9.28 (水)	佐倉市の歴史 (5)	佐倉城下町の 祭礼文化について	祭礼文化研究家 鶴岡 勝人		*	
11	10.14 (金)	日本遺産 町並み散策	【日本遺産北総四都市 江戸紀行】 成田山の歴史を学ぶ 午前10時10分JR成田駅 改札口外集合 午後希望者 向け見学コースあり	成田山 ボランティアガイド		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース(2)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.26 (水)	歴史散策 (3)	佐倉地区の歴史散策 9時30分市民体育館集 合	NPO法人 佐倉一里塚		*	
13	11.8 (火)～ 11.11 (金)	生涯学習の 楽しさ	市民カレッジ文化祭・研 究発表、作品展示 11.8(火)～11(金) 大ホール、学習室3他	社会教育指導員 公民館職員		*	
14	11.16 (水)	歴史散策 (4)	志津の歴史散策 9時45分 ユーカリが 丘線中学校駅集合	NPO法人 佐倉一里塚		*	
15	11.30 (水)	郷土の先覚者 (1)	浅井忠と 佐倉ゆかりの芸術家	佐倉市立美術館		*	
16	12.7 (水)		*		佐倉市の歴史 (6)	佐倉牧	市文化財審議委員 立教大学兼任講師 國學院大学兼任講師 高見澤美紀
17	12.14 (水)	佐倉市の歴史 (7)	古今佐倉真佐子に ついて	佐倉市史編さん委員 外山信司		*	
18	12.21 (水)	佐倉市の歴史 (8)	佐倉の歴史的建築物	市文化財審議委員、 国立歴史民俗博物館 名誉教授 濱島正士		*	
19	1.11 (水)		*		佐倉市の歴史 (9)	中世佐倉の鹿島郷	酒々井町 文化財審議会会長 高橋健一
20	1.18 (水)		*		郷土の先覚者 (2)	津田仙 近代農業のさきがけ	津田仙の曾孫 津田道夫
21	1.25 (水)	歴史コースの まとめに向けて	カレッジ生が 取り組みたい 研究テーマ (各自発表)	市史編さん委員 内田儀久		*	
22	2.8 (水)	式典	4年生に向けて/ 修了式	館長 社会教育指導員		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（1）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (水)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		*	
2	5.18 (水)	オリエンテーション	ホームルーム・ コース概要	社会教育指導員		*	
3	5.25 (水)	情報化時代の 学習（1）	インターネットと 生きる 『信じ方の癖、 伝え方の鍵』	合同会社環賢堂 代表社員 玉木 勝		*	
4	6.1 (水)	課題学習 （1）	情報発信 ① 企画会議	社会教育指導員		*	
5	6.15 (水)	情報化時代の 学習（2）	情報化社会と著作権	(一社)コンピュータクリエイティブ 著作権協会 専務理事 久保田 裕		*	
6	6.22 (水)	課題学習 （2）	情報発信 ② シナリオづくり	社会教育指導員		*	
7	7.13 (水)	4コース合同 講演会	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	防災コミュニティ ネットワーク代表 青木 信夫		*	
8	9.14 (水)	課題学習 （3）	情報発信 ③ 撮影・編集会議	社会教育指導員		*	
9	9.21 (水)		*		情報伝達の技術 （1）	ワードを使おう①	情報コース卒業生
10	9.28 (水)	情報伝達の技術 （2）	ワードを使おう②	情報コース卒業生		*	
11	10.12 (水)	情報伝達の技術 （3）	ワードを使おう③	情報コース卒業生		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース(2)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.26 (水)		*		情報化時代の 学習(3)	インターネット ウィルスの歴史	東京情報大学 准教授 岸本頼紀
13	11.8 (火)～ 11.11 (金)	生涯学習の 楽しさ	市民カレッジ文化祭・研 究発表、作品展示 11.8(火)～11(金) 大ホール、学習室3他	社会教育指導員 公民館職員		*	
14	11.16 (水)	情報化時代の 学習(4)	インターネット活用術①	株式会社 教育システム 本間 達哉		*	
15	11.30 (水)		*		情報化時代の 学習(5)	スマホの活用	ドコモショップ 志津店
16	12.7 (水)		*		情報化時代の 学習(6)	おカネとITの 経営戦略	東京情報大学 准教授 樋口大輔
17	12.14 (水)	情報伝達の技術 (4)	ワードを使おう④	情報コース卒業生		*	
18	12.21 (水)	情報伝達の技術 (5)	パワーポイント①	情報コース卒業生		*	
19	1.11 (水)		*		課題学習 (4)	情報発信 ④ 編集確認	社会教育指導員
20	1.18 (水)	情報伝達の技術 (6)	パワーポイント②	情報コース卒業生		*	
21	1.25 (水)	課題学習 (5)	情報発信 ⑤ 上映発表	社会教育指導員		*	
22	2.8 (水)	式典	4年生に向けて/ 修了式	館長 社会教育指導員		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (水)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		*	
2	5.18 (水)	オリエンテーション	ホームルーム・ コース概要	社会教育指導員		*	
3	5.25 (水)		*		課題学習 (1)	ウォークラリー コースを作ろう①	社会教育指導員
4	6.8 (水)	生活と健康 (1)	熱中症予防と水分補給 ～暑さに向かって～	NPOニッポン ランナーズ ランニングコーチ 中田修弘		*	
5	6.29 (水)	課題学習 (2)	ウォークラリー コースを作ろう②	社会教育指導員		*	
6	7.6 (水)	生活と健康 (2)	チームワークを考える	順天堂大学 スポーツ健康科学部 教授 水野基樹		*	
7	7.13 (水)	4コース合同 講演会	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	防災コミュニティ ネットワーク代表 青木 信夫		*	
8	9.7 (水)	健康づくり (1)	フレイル予防講座①	明治安田生命		*	
9	9.21 (水)	健康づくり (2)	太極拳 静かな動きを 体験しよう	佐倉太極拳同好会 嶋田桂子 服部陽子		*	
10	10.5 (水)	健康づくり (3)	フレイル予防講座②	明治安田生命		*	
11	10.19 (水)		*		病理と予防 (1)	高齢期の健康法	順天堂大学 名誉教授 武井正子

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース(2)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	11.2 (水)	課題学習 (3)	ウォークラリー コースを作ろう③	社会教育指導員		*	
13	11.8 (火)～ 11.11 (金)	生涯学習の 楽しさ(1)	市民カレッジ文化祭・研 究発表、作品展示 11.8(火)～11(金) 大ホール、学習室3他	社会教育指導員 公民館職員		*	
14	11.16 (水)	健康づくり (4)	タオルで簡単 ストレッチ	インストラクター 関根 美和		*	
15	11.29 (火)	病理と予防 (2)	体組成測定と 健康づくり (3年元気4年元気 合同)	健康推進課		*	
16	12.7 (水)	課題学習 (4)	ウォークラリー コースを作ろう④	社会教育指導員		*	
17	12.14 (水)	病理と予防 (3)	生活習慣病と健康	日本ウェルネス スポーツ大学 教授 鈴木勝彦		*	
18	12.21 (水)		*		3年福祉元気 合同 生活と健康 (3)	噛む喜びと 食べることの意義	歯学博士 鳩貝尚志
19	1.11 (水)	生活と健康 (4)	薬と生活習慣	(株) 健栄		*	
20	1.18 (水)	生涯学習の 楽しさ(2)	歓迎ウォークラリー に向けて①	社会教育指導員		*	
21	1.25 (水)		*		生涯学習の 楽しさ(3)	歓迎ウォークラリー に向けて②	社会教育指導員
22	2.8 (水)	式典	4年生に向けて/ 修了式	館長 社会教育指導員		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース (1)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 (火)		*		式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員
2	5.17 (火)	学び合い学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員		*	
3	5.24 (火)	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 自主的に学習する①	社会教育指導員		*	
4	6.7 (火)	ボランティア活動の 実践に向けて (1)	ボランティア活動への 心構え	佐倉白翠園		*	
5	6.14 (火)	障害福祉 (1)	知的障害の特性	木の宮学園		*	
6	6.21 (火)	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員		*	
7	7.5 (火)	健康づくり	元気なうちから始める 介護予防	高齢者福祉課		*	
8	7.12 (火)	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員		*	
9	7.19 (火)		*		4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良直美
10	9.6 (火)	2コース合同 体験学習	草ぶえの丘で 陶芸を楽しむ 集合 午前9時20分 草ぶえの丘	草ぶえの丘		*	
11	9.13 (火)	自主企画講座 (2)	自主企画講座実施	社会教育指導員		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース (2)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	9.20 (火)	学び合い学習 (4)	学び合い学習に向けて ④	社会教育指導員		*	
13	10.4 (火)		*		学び合い学習 (5)	情報コースによる パソコンイベント/ 歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員
14	10.18 (火)		*		学び合い学習 (6)	情報コースを招待して/ 歴史コースを招待して	社会教育指導員
15	10.25 (火)		*		学び合い学習 (7)	元気コースによる 健康づくり/元気コース を招待して	社会教育指導員
16	11.1 (火)	ボランティア活動の 実践に向けて (2)	ここに触れる生かす カウンセリング	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子		*	
17	11.8 (火)～ 11.11 (金)	生涯学習の 楽しさ	市民カレッジ文化祭・研 究発表、作品展示 11.8 (火)～11 (金) 大ホール、学習室3他	社会教育指導員 公民館職員		*	
18	11.29 (火)	ボランティア活動の 実践に向けて (3)	傾聴心得	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子		*	
19	12.20 (火)	障害福祉 (2)	障がい者とスポーツ	順天堂大学 スポーツ 健康科学部 准教授 渡 正		*	
20	1.10 (火)	学習のまとめ/ ホームルーム	福祉活動の実践に向けて /卒業に向けて	社会教育指導員		*	
21	1.17 (火)		*		4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす —各コース代表発表—	社会教育指導員
22	1.24 (火)		*		4コース合同 講演会/ ホームルーム	新たな出発/ 卒業式練習	佐倉市 社会福祉協議会
23	2.7 (火)		*		カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース(1)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 (火)		*		式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員
2	5.17 (火)	学び合い学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員		*	
3	5.24 (火)	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 自主的に学習する①	社会教育指導員		*	
4	5.31 (火)	日本遺産 町並み散策(1)	【日本遺産北総四都市 江戸紀行】 新町の歴史散策 10時00分 中央公民館出発	酒々井町 文化財審議会 会長 高橋健一		*	
5	6.14 (火)	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員		*	
6	6.28 (火)	日本遺産 町並み散策(2)	【日本遺産北総四都市江戸紀 行】「佐原のまちづくりを学 ぶ」(散策) 集合 午前9 時25分 JR成田駅改札口 の中 午後希望者向け見学 コースあり	NPO法人 小野川と 佐原の町並みを 考える会		*	
7	7.12 (火)	佐倉市の歴史 (1)	幕末明治に海を渡った 佐倉人	市史編さん委員 内田儀久		*	
8	7.19 (火)		*		4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良直美
9	9.6 (火)	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員		*	
10	9.13 (火)	2コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察 と陶芸を楽しむー卒業 記念作品の制作ー 集合 午前9時20分 草ぶえの丘	草ぶえの丘		*	
11	9.27 (火)	学び合い学習 (4)	学び合い学習に向けて ④	社会教育指導員		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース(2)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.4 (火)		*		学び合い学習 (5)	元気コースを招待して 佐倉の史跡案内/ 福祉コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員
13	10.18 (火)		*		学び合い学習 (6)	元気コースによる 健康づくり/ 福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員
14	10.25 (火)		*		学び合い学習 (7)	情報コースによる パソコンイベント/情報 コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員
15	11.4 (金)	佐倉市の歴史 (2)	堀田正倫と 地域の関わり	中央大学文学部 人文社会科学 日本史学専攻 官間純一		*	
16	11.8 (火) ～ 11.11 (金)	生涯学習の 楽しさ	市民カレッジ文化祭・ 研究発表、作品展示 11.8(火)～11(金) 大ホール、学習室3他	社会教育指導員 公民館職員		*	
17	11.29 (火)	佐倉市の歴史 (3)	佐倉炭	千葉市立郷土博物館 市史編さん担当 土屋雅人		*	
18	12.13 (火)	地域活動	これからの博物館で 必要なこと・ 歴博を楽しむ	国立歴史民俗博物館 館長 西谷 大		*	
19	12.20 (火)	自主企画講座 (2)	自主企画講座実施	社会教育指導員		*	
20	1.10 (火)	学習のまとめ	研究論文の発表	社会教育指導員 元社会教育指導員 内田儀久		*	
21	1.17 (火)		*		4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす —各コース代表発表—	社会教育指導員
22	1.24 (火)		*		4コース合同 講演会/ ホームルーム	新たな出発/ 卒業式練習	佐倉市 社会福祉協議会
23	2.7 (火)		*		カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース(1)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 (火)		*		式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員
2	5.17 (火)	学び合い学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員		*	
3	5.24 (火)	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて自 主的に学習する①	社会教育指導員		*	
4	5.31 (火)	情報化時代の 学習(1)	映像作品ができるまで	広域高速ネット 296放送制作部 課長補佐 平川裕		*	
5	6.14 (火)	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員		*	
6	6.28 (火)	情報伝達の技術 (1)	エクセルにチャレンジ①	情報コース卒業生		*	
7	7.12 (火)	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員		*	
8	7.19 (火)		*		4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良直美
9	9.6 (火)	学び合い学習 (4)	学び合い学習に向けて ④	社会教育指導員		*	
10	9.13 (火)	2コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と 陶芸を楽しむ 集合 午前9時20分 草ぶえの丘	草ぶえの丘		*	
11	9.27 (火)	学び合い学習 (5)	学び合い学習に向けて ⑤	社会教育指導員		*	

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース(2)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.4 (火)		*		学び合い学習 (6)	福祉コースを招待して パソコンイベント/ 元気コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員
13	10.18 (火)		*		学び合い学習 (7)	福祉コースによる 家庭介護実習/ 元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員
14	10.25 (火)		*		学び合い学習 (8)	歴史コースを招待して パソコンイベント/ 歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員
15	11.8 (火)～ 11.11 (金)	生涯学習の 楽しさ	市民カレッジ文化祭・研 究発表、作品展示 11.8(火)～11(金) 大ホール、学習室3他	社会教育指導員 公民館職員		*	
16	11.15 (火)	情報伝達の技術 (2)	エクセルにチャレンジ②	情報コース卒業生		*	
17	11.29 (火)		*		自主企画講座 (2)	自主企画講座実施	社会教育指導員
18	12.13 (火)	情報化時代の 学習(2)	ウィキペディア	ウィキペディア 日本語版元管理者 海瀬		*	
19	12.20 (火)		*		情報化時代の 学習(3)	千葉食べる通信	編集長 佐藤謙太
20	1.10 (火)		*		学習のまとめ/ ホームルーム	振り返り/ 卒業に向けて	社会教育指導員
21	1.17 (火)		*		4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす —各コース代表発表—	社会教育指導員
22	1.24 (火)		*		4コース合同 講演会/ ホームルーム	新たな出発/ 卒業式練習	佐倉市 社会福祉協議会
23	2.7 (火)		*		カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース(1)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 (火)		*		式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員
2	5.17 (火)	地域活動 (1)	ウォークラリーに向けて	社会教育指導員		*	
3	5.24 (火)	学び合い学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員		*	
4	6.3 (金)	地域活動 (2)	坂道・小径をたどり 城下町佐倉を歩く (1年ウォークラリー 雨天の場合は6/10)	社会教育指導員		*	
5	6.7 (火)		*		地域活動 (3)	ターゲットバード ゴルフ 晴天：佐倉市ターゲット バードゴルフ場 雨天：大ホール	佐倉市 ターゲット バードゴルフ協会 伊藤園彦
6	7.5 (火)		*		自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 自主的に学習する①	社会教育指導員
7	7.12 (火)		*		健康づくり	自力整体と笑いヨガ	自力整体 インストラクター 秋田美智子
8	7.19 (火)		*		4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良直美
9	9.6 (火)	2コース合同 体験学習	草ぶえの丘で 陶芸を楽しむ 集合 午前9時20分 草ぶえの丘	草ぶえの丘		*	
10	9.13 (火)		*		学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員
11	9.20 (火)		*		学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員

令和4年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース(2)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.4 (火)		*		学び合い学習 (4)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内/ 情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員
13	10.18 (火)		*		学び合い学習 (5)	歴史コースを招待して 健康づくり/ 情報コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員
14	10.25 (火)		*		学び合い学習 (6)	福祉コースを招待して 健康づくり/ 福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員
15	11.8 (火)～ 11.11 (金)	生涯学習の 楽しさ	市民カレッジ文化祭・研 究発表、作品展示 11.8(火)～11(金) 大ホール、学習室3他	社会教育指導員 公民館職員		*	
16	11.15 (火)		*		自主企画講座 (2)	自主企画講座実施	社会教育指導員
17	11.29 (火)	病理と予防	体組成測定と 健康づくり (3年元気4年元気 合同)	健康推進課		*	
18	12.13 (火)	地域活動 (4)	レクリエーション	日本 レクリエーション 協会 田端 知恵子		*	
19	12.20 (火)		*		地域活動 (5)	ノルディック・ ウォーク	千葉県 ノルディック・ ウォーク連盟
20	1.10 (火)	学習のまとめ/ ホームルーム	卒業後の健康づくり/ 卒業に向けて	社会教育指導員		*	
21	1.17 (火)		*		4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす —各コース代表発表—	社会教育指導員
22	1.24 (火)		*		4コース合同 講演会/ ホームルーム	新たな出発/ 卒業式練習	佐倉市 社会福祉協議会
23	2.7 (火)		*		カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長

5. 団体育成事業

佐倉地区子ども会育成会連絡協議会

- ①開設趣旨 佐倉地区子連は、佐倉地区の子ども会及び子ども会を取り巻く諸関係機関団体との連絡・調整を図り、各単位子ども会の健全な発展に寄与することを目的として結成された。しかしながら、昨今の少子化、女性の就労に伴い、現在、佐倉地区子連は全ての子ども会が退会し、活動休止となっている。佐倉地区連の備品の貸出は事務局が対応している。

6. 広報事業

ホームページ

- ①ねらい 中央公民館の利用案内・主催事業等を掲載し、情報を提供する。
- ②提供方法 佐倉市ホームページ
URL：<http://www.city.sakura.lg.jp/soshiki/chuokominkan/index.html>
- ③内容 主な掲載内容は以下のとおり。
- ・施設の利用案内
 - ・佐倉市民カレッジ等主催事業の参加者募集
 - ・各年度の『公民館のまとめ』
 - ・佐倉市公民館運営審議会会議録
 - ・視聴覚教材ライブラリーの貸出・使用方法等の案内
 - ・新型コロナウイルスの感染状況に関する情報
 - ・新型コロナウイルス感染防止のための利用案内及び開館状況に関する情報
- ④展望 SNSの発信により、市の広報紙を見る機会がない方へも、利用案内や主催事業等を、今後も継続して逐次お知らせする。また、自然災害や感染症等の影響を受けた中での開館状況についても、状況の変化に応じ、より速やかに情報を更新する。

SNS

- ①ねらい
- 1 若年層や公民館を認知していなかった方たちに情報を届ける。
 - 2 予約不要・無料のスペースの情報を発信し、活用を図る。
 - 3 予約開始日や開館時間などの施設情報を発信し、利用者の利便性向上を目指す。
 - 4 中央公民館を利用しているサークルの新規会員募集やイベント周知の支援を行い、中央公民館を利用する団体を増やしていく。
- ②提供方法 ツイッターとフェイスブック
ツイッターアカウント名：[@sakura_chuokou](#)
フェイスブック：
https://www.facebook.com/sakura.chuo.kouminkan/?modal=admin_todo_tour
- ③内容 投稿は、写真他短いテキスト（ツイッターでは140字以内）で作られた記事を、インターネットを使ってSNSページに投稿することにより行う。
- 【主な投稿内容】
- ・公民館のルールや部屋の紹介
 - ・主催イベントの周知、イベントの活動報告
 - ・定期利用申込受付日、2カ月前及び1か月前申し込み日、4カ月前先行予約日の周知
 - ・当館のなかでの出来事
 - ・市民カレッジ活動紹介
 - ・新型コロナウイルスの感染状況による開館状況に関する情報
- ④展望 佐倉市立中央公民館の利用者数は減少傾向にあり、その原因としては、これまで

公民館を利用していた方々が高齢化のため公民館での活動をやめていること、そして、当館が新しい利用者を取り込めていないこと等が考えられる。中央公民館の活動や施設利用の情報、利用団体の情報などをSNSにより発信し、これまで公民館を利用していなかった方たちへ情報を届けることで、より多くの方に当館を利用してもらうことを目指す。

ユーチューブチャンネル「佐倉市生涯学習チャンネル」

①ねらい 公民館などで提供している生涯学習コンテンツをインターネットで動画配信するために、専用ユーチューブチャンネルを開設することで、リモート受講やアーカイブ化を可能にするとともに、講座申込のPRに活用する。

②提供方法 ユーチューブ

URL : https://www.youtube.com/channel/UC_Evupe1eNMbwI_VHW-j4Q

③実施内容 ・講座・講演会の動画配信（講師の承諾が得られる場合）

- ・職員が作成した生涯学習動画
- ・公民館活動団体と協力して作成した動画
- ・公民館からのお知らせなど（施設利用、機材の紹介、修繕報告など）
- ・市民カレッジにおける利用（コロナ対応での活用や動画作成授業等）

※生涯学習的な内容であれば、公民館だけではなく、他所属作成動画でも利用できるものとする。

※著作権等の取扱いについては、広報課作成の広報番組の取扱いに準じて扱うものとし、肖像権及び著作権等の利用について承諾をいただく。

④展望 本年度は、主催事業講座の様子を撮影した動画を配信した。動画という形に残ることで、視聴者は繰り返し視聴して講座内容への理解を深めることができるという動画配信ならではの利点に改めて気づかされる。今後も、多彩な公民館事業の動画により、視聴者に教養を深めていただき、さらには公民館への関心を高めていただけたら幸いである。

7. 視聴覚教材ライブラリー事業

視聴覚機器貸出

- ①概要 佐倉市における視聴覚教育の振興を図るため、市内に所在する下記②の要件を満たす団体に、視聴覚ライブラリー機材（プロジェクター、スクリーン、DVDプレーヤー等）及び教材（DVD、ビデオテープ等）の無料貸出を行う。
- ②対象
- ・代表者が市内在住であり、市内在住者が概ね半数以上かつ原則3人以上の団体
 - ・学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校
 - ・児童福祉法（昭和22年法律第164号）第24条第1項に規定する保育所又は同条第2項に規定する認定こども園
 - ・官公署
 - ・その他教育委員会が必要と認める団体
- ③貸出機器
- 機材
 - ・プロジェクター
 - ・スクリーン
 - ・DVDプレーヤー
 - ・移動音響セット
 - ・スピーカー ほか
 - 教材
 - ・DVD
 - ・ビデオテープ
- ④展望 機材の整備を適宜に行い、市民のニーズに沿った事業運営に努める。

和田公民館

和田地区の概要

和田地区は佐倉市の最東端に位置し、古くは「和田村」と称し、明治22年頃は14の村落で構成されていた。昭和29年の市制発足以降より12の地区から構成されている。和田地区の面積は市全体の約14%に当たる約14.4平方キロ、人口は約1%に当たる1,640人、世帯数は743世帯で、農業が盛んな地域である。

大正頃までの農家の主な産物は米・養蚕であったが、昭和初期になると養蚕が衰え、里芋・落花生・甘藷に変わる。戦後、豚の飼育が盛んになり、昭和27年頃には全国的に有名な養豚地区となる。その後、養豚・酪農・大和芋と専門化され、大型機械の導入も盛んに行われた。

このように専門化された農業地域であるが、年々従事者は減少し、後継者育成は大きな課題となっている。地区全域が市街化調整区域であり、大きい人口増加を見込める計画等もない状況でもある。少子高齢化、核家族化などの進展、青年層の流出など純農村として構成されていた地域社会は大きな変化をし続けている。

一方で地区内を国道51号線と東関東自動車道が通り、佐倉インターチェンジが隣接しているため、企業の物流基地が進出するなど、新たな変化が見られる。

平成11年12月、和田地区の中核施設として和田ふるさと館が開館した。和田出張所、和田コミュニティセンター、和田地域防災集会所、和田農産加工実習所の複合的機能を持つ施設となっている。

また平成12年度には、和田公民館分館として歴史民俗資料室の展示工事を実施し、平成13年4月1日に和田ふるさと館歴史民俗資料室が開室した。

和田地区のデータ

【令和5年3月末現在】

○和田地区：面積 約14.4㎢ （佐倉市：面積 103.69㎢）

○和田地区：住基人口 1,640人 （佐倉市：住基人口 171,037人）

○和田地区：人口密度 113人/㎢ （佐倉市：人口密度 1,649人/㎢）

1. 公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部利用制限付き開館などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』及び『「集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動」における施設利用の留意点』を当面の間適用していく。

運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、使いやすく親しみのある教育施設として住民の自主的交流・集会・学習などの活動を支援し、地域社会教育活動や地域づくりの拠点としてその役割をはたすことに努める。

努力目標

- 新型コロナウイルス感染防止拡大に努める。
- 使いやすく、親しみのある館の環境づくりに努める。
- 地域性を生かした社会教育内容の充実をはかる。
- 公民館事業と地域団体活動等を結びつけていく事で、地域の活性化や課題に対応していくよう努める。

事業内容

1. 学級講座に関する事業

参加者との会話を大切にしながら、趣味・教養的学習から専門的学習に至るまで、日常生活に密着した幅の広い学習を展開し共通の課題を探り、参加者がそれぞれの立場で考え、学習しながら実践に結びつけていくための足がかりとする。

2. 施設・設備・備品の提供

- (1) 開館時間 月・水・木・土・日曜日・祝日 午前9時～午後5時
火・金曜日は午前9時～午後9時まで
(祝日を除く・夜間の利用がない場合は午後5時まで)

- (2) 休館日 第2第4月曜日、12/28～1/4

3. 団体育成に関する事業

和田地区青少年育成住民会議・和田小PTA民俗資料収集委員会・和田はたおり保存会等の社会教育的団体が、自主的、継続的に活動ができるよう資料の提供や、各機関との連絡調整などを行う。また、各種の住民団体が円滑な活動を進められるよう支援・協力をする。

4. 歴史民俗資料室展示事業

平成13年4月1日に和田ふるさと館内に開室した歴史民俗資料室において、和田地区民俗資料（佐倉市指定文化財）を中心として、展示・収蔵・調査研究・教育普及活動、及び伝統技術等の保存継承活動を行い、地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した事業を展開する。

5. 図書事業

市立図書館との連携により、図書案内を充実し、リクエスト制度などにより利用増を図る。

- (蔵書約1,800冊 貸出し1人10冊 15日間)

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用件数 (件)	613	491	89	173	217
利用人数 (人)	6,875	6,451	591	1,465	2,275
開館日数 (日)	333	307	230	333	333

令和4年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
和室	2,964	73	2.5%
調理実習室	2,964	135	4.6%
団体室	2,964	70	2.4%
会議室	2,964	317	10.7%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	子育て教室	2・3歳児と保護者	12月 1回	幼児期における重要な学習機会、遊びや育児の環境の場を提供するなかで、子育てに役立つ情報等も発信していく。また地区子育て支援サークルとの共催を図ることで仲間づくり、コミュニケーションを深める機会とする。
	楽しく家庭教育講座	地区内の幼児及び小学生の保護者	3/5 2組 4人	親子でアイロンビーズ工作を楽しみ、家庭環境の向上を促した。
青少年教育	和田剣道教室	地域の小学生等 20人	5月～3月 17人 40回	地域の小学生を中心とした教室の中で、心身の育成を図る稽古を安全に配慮しながら、皆で力を合わせて行う事が出来た。
	軽スポーツ大会	地区の小学生 20人	10月中旬 1回	地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
	夏休み子どもゼミナール	小学校5.6年生 15人	8/27 16人	中央公民館との共催事業であり、天体分野の専門講師により、和田ふるさと館においてゼミ、星空観察を実施した。
	子ども芸術鑑賞会	地区の小学生	12月 1回	芸術鑑賞等の様々な機会を通して、心の成長を促し文化芸術の素晴らしさ・楽しさを知ってもらう意図で実施。
佐倉学	佐倉っ子塾 料理教室	地区の小学生 各20人	10月～2月 3回	和田地区青少年育成住民会議と連携して、地区の小学生向けに、地域の食材を活かした料理教室を実施し、子どもの自立とふるさとへの愛着を深める。
	佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	地区の小学生 10人	8/5 7人	創造力をはぐくむ講座。手芸の体験学習を実施した。
成人教育	和田市民大学 佐倉学講座 和田地域学	市内の成人 10人	9/23 8人	<ul style="list-style-type: none"> ・9月「縄文・弥生期の出土品」展示に係る講義を実施した。 ・11月「和田の谷津田環境」に係る講義を実施した。 ・12月「IT農業」に係る講義を実施した。 ・2月、3月「本佐倉城と和田地域」について城址見学と講義を実施した。
			11/5 10人	
	12/3 9人			
2/25 7人				
3/19 7人				
和田市民大学 手芸教室	60歳以上の地区の成人 10人	5/6 6人 6/3 5人 7/1 6人 8/5 5人 9/2 5人 10/7 6人 11/4 6人 12/2 6人 1/6 6人 2/3 6人 3/3 6人	手芸を通して親睦交流を深め、生き甲斐づくりを図ることを目的として開催した。また8月に地区の小学生を対象とした手芸体験教室を開催した。	
和田市民大学 和田工芸講座	市内の成人 10人	6/22 9人 7/20 6人 9/16 7人 12/18 11人	<ul style="list-style-type: none"> ・地元陶芸家を講師として6月～9月に陶芸作品づくりを連続で行った。 ・12月しめ飾りスタッフ講習会を実施した。 	

領域	事業名	対象	期間・回数	内容	
	ギター演奏会	市内の成人 40人程度	3/12 40人	市内在住のクラシックギター奏者による春の演奏会を行った。	
成人教育	和田地区防災講習会	地区の成人 30人程度	1/29 22人	市・危機管理課により、防災に係る講話を行った。	
	合同研修会	地区内の住民団体	1/15 28人	地区の歴史にも係る佐倉惣五郎について講義を行った。	
団体育成	団体育成事業	和田地区青少年育成住民会議・和田小PTA 民俗資料収集委員会・ 和田はたおり保存会	通年	地域の社会教育団体、住民団体等が円滑に活動できるよう、協力支援した。	
広報展示活動	公民館だより発行		年刊発行 7月・11月	公民館情報や地域情報を和田地区全世帯に配布した。(700部)	
	歴史民俗資料室	展示	一般	通年	和田ふるさと館歴史民俗資料室の展示
			企画	7月～12月	「和田の縄文弥生期出土品展」を7月～12月に、和田文化工芸展を11月～12月に開催した。
	見学	市内小学校・ 一般団体等	通年	市内小学校社会科見学の際に解説を行った。	
図書	図書貸し出し	一般	通年	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携しリクエスト図書の提供を実施した。	

1. 家庭教育事業

子育て教室

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

楽しく家庭教育講座

①開設趣旨 子どもがよりよく育つために、家庭の役割や家族のあり方などを学習する。

②募集対象 地区内の小学生と保護者

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	3月5日（日） 10:00～11:30	親子と一緒にアイロンビーズ工作をすることで、ほかの親子共々交流を図る。	元保育士 飯高 万里子

④講座を終えて 地域の方を講師に迎えアイロンビーズ講座を地区内の小学生と保護者対象で行った。2組参加であったが、同級生の親子であったため和気あいあいとした雰囲気の中、時間いっぱい使って満足できた様子であった。

2. 青少年教育事業

和田剣道教室

- ①開設趣旨 異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身につける。そのために協力して共育（共に育て合う）の場となるよう努める。
- ②募集対象 地域の小学生等 20人
- ③開設期間 令和4年5月～令和5年3月 40回
- ④指導者 片岡 康平、藤崎 英樹、江野澤 清美、鶴田 潤子、高山 裕司
- ⑤講座を終えて 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図りながら、剣道の「礼に始まり 礼に終わる」を基本に子どもの心身の育成や仲間づくりを図ることができ、親の会についても昨年に引き続き、自主稽古を企画するなど活発に活動した。

軽スポーツ大会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

夏休み子どもゼミナール

- ①開設趣旨 宇宙業界に長年携わった専門家の方々を講師に招き、少人数制のゼミ形式の講座を開催することにより、佐倉市の将来を担う子ども達のコミュニケーションづくりの場を提供する。
- ②募集対象 市内の小学5・6年生 16人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月27日（土） 19:00～20:30	和田ふるさと館を会場に、天体望遠鏡で星を実際に観察することで、星がどのように見えるのかを学ぶ。	宇宙業界専門家

- ④講座を終えて 感染症拡大防止のため、時期・参加人数に配慮した。中央公民館と共催で実施しており、天体望遠鏡で星を観察するこの講座では、児童の宇宙への興味を掻き立て新鮮な感動を与える事が出来た。保護者が一緒に観察することで、親子間の関係も深まり、印象に残る一日となったと感じている。

子ども芸術鑑賞会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

佐倉っ子塾 料理教室

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

佐倉っ子塾 伝統文化体験教室

- ①開設趣旨 伝統文化の体験学習を通じて創造力を育む。
- ②募集対象 地区の小学生 10人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月5日（金） 9:30～11:45	夏休み手芸体験	和田市民大学手芸教室講師 手芸教室生徒

- ④講座を終えて 和田市民大学で公民館を利用している高齢者が小学生を指導することにより世代間交流をするとともに、子どもたちが、一つの作品を作り出す喜びを味わうことができる機会であり、満足感を得ることができた。

3. 成人教育事業

佐倉学講座 和田地域学

- ①開設趣旨 地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・自然・生活・民俗を学び、実際に伝統文化等の体験をし、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。
- ②募集対象 市内の成人 10人
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	9月23日(金・祝) 9:30~11:30	オリエンテーション 縄文・弥生期の和田地域	佐倉市公民館運営審議会 委員 藤崎 言行
2	11月5日(土) 9:30~11:30	和田地域の谷津田環境について	佐倉市職員 阿部 洋一
3	12月3日(土) 9:30~11:30	和田の農業(ヤマトイモ)・IT農業の活用例	両総士壌医の会 鈴木 直政
4	2月25日(土) 9:30~11:30	本佐倉城と和田地域①	佐倉市学芸員 日暮 冬樹
5	3月19日(日) 9:30~11:45	本佐倉城と和田地域②	佐倉市学芸員 日暮 冬樹

④講座を終えて コロナ対応を図りながら、和田地区の歴史、自然、まちづくりに係る学習講座を実施した。学習内容が多項目あり、特に4、5回目は酒々井町の協力のもと、現地の散策時間をじっくりかけて実施した。多くの参加者と共に、受講者の学びの意欲を向上させる事が出来たものと捉えている。

和田市民大学手芸教室

- ①開設趣旨 手芸の知識や技術の向上を目指すとともに、地域の親睦や生きがいづくりを図る。また、児童に手芸を指導する場を設けることで異世代間交流を深め、児童にも精神的な向上を望む。
- ②募集対象 60歳以上の地区の成人 10人
- ③実施期間 令和4年5月6日~令和5年3月3日 11回
- ④講座を終えて コロナ対応を図りながら、受講生は集中して意欲的に作品づくりに取り組んでいた。5月から3月まで11回実施した。

和田市民大学和田工芸講座

- ①開設趣旨 和田地区において行われてきた機織り、わら工芸などを地域の伝統文化として位置づけることにより、地域を特色づけ、アイデンティティを醸成する。
工芸は静かな環境で時間をかけてゆったり育まれるものであり、地域性にも合っているため、各種工芸を実施していく中で、地域づくりにつなげていく。
- ②募集対象 市内の成人 10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	6月22日（水） 9：30～11：45	陶芸①「成形」	地元陶芸家 安本 幸世
2	7月20日（水） 9：30～11：45	陶芸②「削りと高台付け」	地元陶芸家 安本 幸世
3	9月16日（水） 9：30～11：45	陶芸③「施釉」	地元陶芸家 安本 幸世
4	12月18日（日） 9：00～14：00	しめ飾りスタッフ講習会	地域のしめ飾り講師

④講座を終えて 「陶芸講座」については、新型コロナウイルス感染症拡大対策を図りながら、地元陶芸家の指導の下、連続3回講座として実施し今年度も親切・丁寧な指導のおかげでより良い作品づくりが出来た。作品は11月～12月の和田文化工芸展において展示した。「しめ飾りスタッフ講習会」は、地域の伝統文化のわら工芸講座を地域の有志スタッフにより行った。

ギター演奏会

①開設趣旨 和田市民大学地区交流会として、心身ともに健全で生きがいのある生活を保ち、市内住民の交流を図る。

②募集対象 市内の成人（子・孫の参加可） 40人程度

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	3月12日（日） 14：00～15：00	優良な文化・芸術の素晴らしさや 楽しさを知る機会としてもらう。	ギター奏者 島田 一男

④講座を終えて 市内在住のクラシックギター奏者による演奏会を行った。春の訪れを感じさせる演奏で、ひとときを楽しむことができた。

和田地区防災講習会

①開設趣旨 地域づくり活動として現場で役立つ防災や防犯についての実践的な講習、訓練等を行う。

②募集対象 地区の成人 30人程度

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	1月29日（日） 10：00～11：00	防災対策について説明し、意見交換を行った。	佐倉市役所職員

④講座を終えて 市・危機管理課による防災に係る講和を行い、地域での防災意識を高めた。

合同研修会

①開設趣旨 地区社会福祉協議会、地区青少年育成住民会議等の団体とともに、地域づくりにつながる内容の研修を行うことで、良いより地域形成を図る。

②募集対象 地区住民団体 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	1月15日（日） 14：00～15：00	佐倉惣五郎について	歴史専門家 滝口 昭二

- ④講座を終えて 和田地区とも関係があると伝承される佐倉惣五郎の实在について、歴史専門家が実際の資料に基づいて説明し、地区住民への理解が深まった。

4. 団体育成事業

①和田地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。こうした問題を解決するため、市民1人ひとりが問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市こども支援部子ども政策課が行っている。

和田地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の向上を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営、各種団体への助成などを行っている。

②和田小学校PTA民俗資料収集委員会

昭和45年、和田小学校PTAが校史編纂と民俗資料の収集活動をはじめ、昭和46年11月に収集委員会を設置した。収集された民俗資料は、和田小学校郷土学習室、和田公民館民俗資料室での公開を経て平成11年10月に佐倉市へ寄贈された。

ふるさとまつりでの伝承遊びの実演、年末に行われる市民を対象としたしめ飾り講習会、和田小学校生徒へのミニしめ飾り講習会など和田の特色を生かした活動を実施し、地域の教育力の向上を目指した。公民館では地域の民俗や歴史学習の一環として収集委員会の活動を援助している。

③和田はたおり保存会

和田小PTA民俗資料収集委員会の活動で収集されたはたおり機を、地元の高齢者が中心となって復元し、昭和51年に和田公民館で開講したはたおり講座の受講生によって、和田はたおり保存会が結成された。公民館では、和田地区の伝統技術の保全と、はたおり機の動態保存の面から援助を行っている。主な活動としては、年間を通じての定期活動や綿の栽培、歴史民俗資料室を訪れた小学生に対して、糸づくりやはたおり機の実演を行っている。

5. 広報・展示事業

公民館だより

- ねらい 公民館主催事業の情報提供をし、公民館活動への積極的な参加を図る。
- 発行回数 年2回（7、11月号）
- 発行部数 700部
- 配布方法 区長を通し全戸配布及び公共施設配布

歴史民俗資料室展示

- ねらい 和田地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した地域づくりの事業を展開し、学校教育の支援も行う。7月～12月に和田文化工芸展と併せて「和田の縄文弥生期出土品展」を行った。
- 期間・回数 開館日数 333日 来館者数 1,280人

6. 図書事業

図書貸し出し

- ねらい 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、和田地区関連資料や佐倉市関連資料のコーナーを設け資料収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。
- 蔵書数 1,800冊

月別貸出数・返却数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数	8	2	7	2	2	0	1	3	5	0	0	14	44
返却数	33	23	9	4	13	0	85	21	37	3	0	20	248

弥富公民館

弥富地区の概要

弥富地区は、佐倉市のほぼ中央を流れる鹿島川の上流とその2本の支流に沿って田畑が作られ、その周囲に形成された集落群であり、佐倉市の南部に位置し、千葉市・八街市・四街道市と接して704世帯、1,450人が住み、約13.3km²の面積を持つ穏やかな田園地帯となっている。

地区の中心産業である農業は、時代の変化とともに、耕作面積、農業戸数・農業者人口とも減少を続けており、弥富地区のほぼ全域は市街化調整区域であり、就業形態が変化しても、人口増加が見込み難い現状にある。

このような中で、企業の研究所の設置や美術館の開館、さらに弥富地区と千葉市にまたがる地域にちばりサーチパークという研究施設等の大規模開発が行われ、新しい時代に向かった流れが徐々に広まりつつある。

弥富地区のデータ

【令和5年3月末現在】

- 弥富地区：面積 約13.3km²（佐倉市：面積 103.69km²）
- 弥富地区：住基人口 1,450人（佐倉市：住基人口 171,037人）
- 弥富地区：人口密度 109人/km²（佐倉市：人口密度 1,649人/km²）

1. 公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部開館などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』及び『「集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動」における施設利用の留意点』を当面の間適用していく。

運営方針

地域の魅力、歴史、伝承文化等の特性を生かしながら、地域課題や住民のニーズに即した学習機会を提供し、元気の出るまちづくりにつながる生涯学習を実施するとともに、心豊かで活力に満ちた人づくりと、地域づくりの推進に努める。

努力目標

- 新型コロナウイルス感染拡大防止に努める。
- 地域の実情に即した学級・講座の充実を図る。
- 地域住民が気軽に足を運び、利用できるような公民館となるように努める。
- 小学校・幼稚園の保護者との連携を密に保つ。
- 地域で活動している諸団体と協力体制を強化し、相互の活動が活発化するよう図る。
- 公民館施設が有効利用されるよう努める。

事業内容

1. 学級講座

楽しく、共に学び合う場を作り、みんながふれあい、みんなで考え、みんなで何ができるのか考える場にする。

2. 広報・団体育成事業

公民館事業のお知らせや、地域の学習、生活情報の提供をする中で、地域住民に公民館への関心を持ってもらおうと共に、利用団体、関係団体との交流、育成を図る。

3. 施設の提供

- 開館時間 ①月・日曜日、祝日 午前9時～午後5時
 ②火～土曜日 午前9時～午後9時
 ※夜間の利用申込が無い場合は、午後5時で閉館

- 休館日 第2・第4月曜日及び年末年始（12月28日～1月4日）

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用件数 (件)	1,290	981	290	481	586
利用人数 (人)	13,854	10,603	3,586	3,849	5,138
開館日数 (日)	333	309	230	333	333

令和4年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
大会議室	3,640	787	21.6%
中会議室	3,640	566	15.5%
調理実習室	3,640	267	7.3%
和室	3,640	150	4.1%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	やとみ家庭教育講座	乳幼児をもつ 保護者 10組	3/ 3 10人 3/10 12人 3/17 10人	子育てにおける家庭の働き、あり方や子供の発達に必要な事柄を学習した。
青少年教育	佐倉っ子塾 弥富剣道教室	小学生 20人	5月～2月 38回 11人	剣道の稽古を通じて児童の心身の鍛錬し、千葉県指定無形文化財「立身流」をも学んだ。
	星空観察会	小学生と保護者 10組	11/ 8 11組33人	弥富地区の豊かな自然の中で星空を観察することで天体・科学への興味を育んだ。
	なんでも体験弥富塾	弥富小学校児童 10～15人	7/29 11人 12/18 6人 1/14 10人 3/31 8人	様々な体験を通じて子供たちの創造性や協調性、豊かな心を育んだ。 7/29「勾玉づくりに挑戦！」 12/18「たこ作り大作戦！ inなんでも体験弥富塾」 1/14「おもちゃで成木をつくろう」 3/31「やとみ料理教室」
成人教育	グラウンドゴルフ	弥富地区の住民 40人	6/25 30人	児童から高齢者まで一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して、地区住民の健康増進と異世代間の交流を図った。
	地域防災講座	弥富地区の住民 40人	10/ 9 11/13 2回 11/ 7 動画公開	地域の防災力向上を目指して実践的な講習、訓練等を行う。 感染症予防のため、地域団体と協力して講座の動画を作成し、配信した。
	「くらしの講座」 布ぞうりづくり	市内の成人 5人	3/29 5人	弥富地区で継承されてきたぞうりづくりの技法を次代に伝えるとともに、世代間を越えた交流を図った。また、地域人材の活用・育成を図った。
	柏の葉アカデミア講座@ 弥富公民館	市内の成人 40人	7/ 2 6人 10/15 3人 12/ 4 8人 2/12 15人	さわやかちば県民プラザ主催のアカデミア講座の会場と、弥富公民館をインターネット回線で結んでサテライト会場とし、遠隔地に赴かなくても学ぶことができる「生涯学習の新しい学びの場の提供」を行った。 7/ 2「持続可能な開発目標（SDGs）の視点から環境問題を考える」 10/15「生活の中に生きるゲノムの科学」 12/ 4「データサイエンス」 2/12「千葉県の自然災害と防災・減災」
	佐倉市包括連携協定事業 明治安田生命「MY定期講座」 わたしと家族の「そうぞく」講座	市内の成人 40人	11/19 7人 11/26 5人 12/ 3 3人	「相続」が「争族」にならないために、相続の基礎や、相続で困らない・困らせないために必要な事柄を知り、よりよい生活・終活を送るためのポイントを学んだ。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育 佐倉学	佐倉学入門講座 歴史講座「弥富の歴史」	市内の成人 20人	3/12 25人 3/23	地域の歴史について学ぶ講座等を開催し、郷土への愛着と関心を高めた。
	佐倉学入門講座 「弥富野草散策観察会」	市内の成人 10人	10/27 10人 3/28 8人	弥富地区の豊かな自然・植生・野草を散策・観察し、ふるさとへの関心を高め、現地の散策・観察会を通して郷土を学ぶ機会とした。
	佐倉学体験講座 「クラフトバンドで 塩古ざるづくり」	市内の成人 8人	3/22 5人	弥富周辺地域（塩古郷）に昔から伝わるざる作りを次世代に継承するための入り口として、クラフトバンドを用いて編み上げ技法を学ぶとともに、地域人材の活用・育成を図った。
	佐倉学体験講座 「竹炭づくり体験」	市内の成人 8人	12/14～15 5人 2/18～19 4人	昔より伝わる竹炭づくりの技法を体験することにより、弥富地区の自然と伝統について理解を深めた。
団体育成	地域団体支援	弥富地区の住民	通年	ふるさと弥富を愛する会・弥富地区社会福祉協議会・青少年相談員・弥富地区青少年健全育成住民会議等の活動に対する協力・支援を行った。
広報活動	公民館だより	弥富地区全世帯	5/11 700部 11/ 9 700部 1/12 700部	公民館事業の案内、募集、施設利用等の情報提供を行った。
図書	図書の貸出・返却	幼児～成人	通年	佐倉市立図書館の協力により図書コーナーを充実させ、図書の貸出・返却を行った。

1. 家庭教育事業

やとみ家庭教育講座

①開設趣旨 子育てにおける家庭の働き、あり方や子供の発達に必要な事柄を学習する。

②募集対象 乳幼児をもつ保護者 10組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	3月 3日（金） 10:00～11:00	小麦粉粘土であそぼう	楽母楽子 廣田 和子
2	3月10日（金） 10:00～11:00	ゆびえのぐであそぼう	楽母楽子 廣田 和子
3	3月17日（金） 10:00～11:00	ミニミニ運動会	楽母楽子 廣田 和子

④講座を終えて この年齢期における親子のふれあいは、子どもの発達に非常に大切であり、様々なプログラムを通して親子で共に活動することの意義は大きい。ここ数年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために様々な制限があったが、徐々に制限が緩和されることにより、自宅で実施するのは難しい体験を提供することができた。また、講座に参加することで新たな保護者同士の交流も図られ、子育てに関する情報共有の場となった。

2. 青少年教育事業

佐倉っ子塾 弥富剣道教室

- ①開設趣旨 弥富地区に伝わる千葉県指定無形文化財「武術 立身流」の次代継承と剣道の稽古を通して、児童の心身の鍛錬と健全育成及び異年齢交流を図るとともに郷土愛を育む。
- ②募集対象 小学生 20人
- ③期間・回数 令和4年5月～令和5年2月 38回
- ④学習内容 剣道の技術習得と立身流の基礎の学習
- ⑤指導者 檜村 典久、田中 眞次、山本 幹夫、加賀谷 順
- ⑥講座を終えて 千葉県指定無形文化財「武術 立身流」の技と精神を学ぶとともに、剣道の稽古に励み、子どもたちの心と体を鍛えることができた。また、佐倉市で開催された立身流抜初演武大会に参加するなど、日頃の修練の成果を披露することができた。今年度からは、佐倉剣道連盟主催の錬成大会や、佐倉市体育協会主催の大会が再開され、児童たちの稽古の励みとなった。

星空観察会

- ①開設趣旨 弥富地区の豊かな自然の中で星空を観察することで天体・科学への興味を育む。
- ②募集対象 小学生と保護者 10組
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月 8日（火） 18:00～20:00	星空観察会	染井野星の会

- ④講座を終えて 例年行っている星空観察会を皆既月食の日に実施した。皆既月食のしくみについて講師から説明を受け、肉眼や望遠鏡で観察した。その他にも、土星の環、木星の縞や衛星などを望遠鏡で観察し、夏から秋の星座を説明を受けながら観察することができた。参加した小学生、保護者ともに興味を持って観察することができた。

なんでも体験弥富塾

- ①開設趣旨 様々な体験を通じて子どもたちの創造性や協調性、豊かな心を育む。
- ②募集対象 弥富小学校児童 10～15人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月29日（金） 10:00～12:00	勾玉づくり	千葉県教育委員会 文化財課四街道分 室職員
2	12月18日（日） 13:30～16:00	たこ作り大作戦！ in なんでも体 験弥富塾	佐倉市青少年相談員
3	1月14日（土） 9:30～12:00	おもちゃで成木をつくろう	錦織 好子
4	3月31日（金） 9:00～12:00	やとみ料理教室	山本 喜代江

- ④講座を終えて 体験や工作、伝統行事など様々なプログラムを通じ、子供たちの豊かな心を育む機会を提供することができた。また、新型コロナウイルス感染症による制限が緩和され、参加者の性別を問わない料理教室を実施することにより固定的な性別役割分担意識や慣行の見直しの機会とした。

3. 成人教育事業

グラウンドゴルフ

- ①開設趣旨 児童から高齢者まで幅広い世代と一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して、異世代間の交流と地区住民の健康増進を図る。
- ②募集対象 弥富地区の住民 40人
- ③実施日・回数 令和3年 6月25日(土) 13:30~16:00 1回
- ④学習内容 グラウンドゴルフ
- ⑤講座を終えて 多くの高齢者に参加してもらうため地域団体との共催とした。プレーにあたってマスクの着用や消毒などの新型コロナウイルス感染症の拡大防止や、途中に木陰で水分補給をする時間を設けるなど、熱中症対策にも留意しつつ楽しくグラウンドゴルフをしながら、地域住民の健康増進と異世代間の交流を図った。

地域防災講座

- ①開設趣旨 地域の防災力向上を目指して実践的な講習、訓練等を行う。
- ②募集対象 弥富地区の住民 40人
- ③プログラム

回	動画公開日(曜日)	学習内容	講師
1	11月7日(月)	弥富の防災	防災コミュニティネットワーク代表 青木 信夫

- ④講座を終えて 弥富地区の地域まちづくり事業実施団体である「ふるさと弥富を愛する会」と共同で事業を実施した。事業計画では、公民館に会しての講義や避難訓練などを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の第7波の影響もあり、中止も検討されたが、講義を録画し、佐倉市生涯学習チャンネルにアップロードすることにより、防災に対する啓発を行った。

「くらしの講座」布ぞうりづくり

- ①開設趣旨 弥富地区で継承されてきたぞうりづくりの技法を次代に伝えるとともに、世代間を越えた交流を図る。また、地域人材の活用・育成を図る。
- ②募集対象 市内の成人 5人
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	3月29日(水) 10:00~16:00	わらぞうりづくりの技法を古布を利用して学ぶ。	三須 幸子

- ④講座を終えて ぞうりづくりなどの技法を学び、郷土への理解を深めることができた。また、講師を地域の方をお願いするなど地域人材の活用を図った。今年度は参加者の事前準備として、自宅で古布を裂いてきてもらい、開始からすぐ編み始めることができるようにしたが、個々の技量や集中力に差があり、残念ながら1足完成させることができなかった参加者もいた。完成までの時間の目安を提示するなど、実施面でサポートが必要であったと考える。

柏の葉アカデミア講座@弥富公民館

- ①開設趣旨 さわやかちば県民プラザ主催のアカデミア講座の会場と、弥富公民館をインターネット回線で結んでサテライト会場とし、遠隔地に赴かなくても学ぶことがで

きる「生涯学習の新しい学びの場の提供」を行う。

②募集対象 市内の成人 40人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月 2日（土） 14:00～15:30	持続可能な開発目標（SDGs） の視点から環境問題を考える	千葉県立中央博物館 上席研究員 林 浩二
2	10月15日（土） 14:00～15:30	生活の中に生きるゲノムの科学	東京大学 新領域創 成科学研究科 メデ ィカル情報生命専攻 教授 鈴木 穰
3	12月 4日（日） 10:00～11:30	データサイエンス	データサイエンティ スト協会 事務局長 佐藤 論
4	2月12日（日） 14:00～15:30	千葉県の自然災害と防災・減災	千葉科学大学 教授 藤本 一雄

④講座を終えて 現在の最先端技術や現代課題について学ぶ機会を提供することができた。また、参加者の年齢層が比較的低く、現役世代の参加もあり、新しい学びの場を提供することができた。しかし、動画や音声の質がインターネットの回線速度に依存することや、機材の関係上サテライト会場では音声を使用した講師への質問が難しいため、よりよい事業実施には課題が残されている。

佐倉市包括連携協定事業 明治安田生命「MY定期講座」 わたしと家族の「そうぞく」講座

①開設趣旨 「相続」が「争族」にならないために、相続の基礎や、相続で困らない・困らせないために必要な事柄を知り、よりよい生活・終活を送るためのポイントを学ぶ。

②募集対象 市内の成人 40人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月19日（土） 10:00～11:30	“相続”と“争族”のはなし	明治安田生命チー フ・コンシェルジュ 園田 菜和
2	11月26日（土） 10:00～11:30	最適な「MYライフ&エンディング」を考えよう	
3	12月 3日（土） 10:00～11:30	笑顔を運ぶ「遺言」のお話	

④講座を終えて 自分ではなく残された家族のためにどのような準備が必要かという視点に注目した講座を実施することができた。金銭的な問題だけでなく、感情的な問題をどのように回避するのかなどを学ぶ機会となった。

佐倉学入門講座 歴史講座「弥富の歴史」

①開設趣旨 地域の歴史について学ぶ講座等を開催し、郷土への愛着と関心を高める。

②募集対象 市内の成人 20人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	3月12日（日） 9：30～11：00	遺跡発掘者が語る弥富地区の歴史 旧石器時代～弥生時代編	佐倉市教育委員会文化課職員
2	3月23日（木） 9：00～12：00	弥富を歩く 歴史散策会 （雨天のため中止）	佐倉図書館職員

- ④講座を終えて 1講座目は、弥富地区の歴史のうち、旧石器時代・縄文時代・弥生時代について、文化課の学芸員を講師として、地域から出土した土器の展示と併せて講義を行った。千葉県を代表する大規模な集落跡である宮内井戸作遺跡や、現在の弥富公民館の場所にあった岩富漆谷津遺跡などを取り上げ、地域で人々が暮らしてきた歴史を学ぶことで、郷土への理解を深めた。
- 2講座目は、文化財収蔵庫、岩富城跡、坂戸地区の寺社等を見学する予定だったが、雨天のため中止となった。

佐倉学入門講座「弥富野草散策観察会」

- ①開設趣旨 弥富地区の豊かな自然・植生・野草を散策・観察し、ふるさとへの関心を高め、現地の散策・観察会を通して、郷土を学ぶ機会とする。
- ②募集対象 市内の成人 10人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月27日（木） 9：00～12：00	弥富野草散策観察会	千葉県自然観察指導員 阪上 津留美
2	3月28日（火） 9：00～12：00		

- ④講座を終えて 第1回目は、当初6月に予定していたが天候不順により中止となったため、10月にあらためて企画、実施した。秋の野草を観察するとともに、地元にも協力してもらい、飯塚地区の寺社や古墳群を見学した。
- 第2回目は、カタクリの開花時期に合わせて実施し、カタクリや谷津田周辺の自然を観察した。自然保護の大切さを感じられる内容となった。
- 野草散策観察会は、野草をはじめとする自然を観察するとともに、弥富地区の自然や歴史等を学ぶ機会とすることができた。

佐倉学体験講座「クラフトバンドで塩古ざるづくり」

- ①開設趣旨 弥富周辺地域（塩古郷）に昔から伝わるざる作りを次世代に継承するための入り口として、クラフトバンドを用いて編み上げ技法を学ぶとともに、地域人材の活用・育成を図る。
- ②募集対象 市内の成人 8人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	3月22日（水） 10：00～15：00	クラフトバンドで塩古ざるを作る。	三本 信彰

- ④講座を終えて 昨年の青少年事業の一つとして実施した事業を、成人を対象にして実

施した。準備した材料、作り方は同一ではあるものの、児童と成人では経験の差があるためか悩みながら編み進めるため、完成させることができなかつた参加者もいた。日程の設定やサポート体制に検討が必要であると考ええる。

佐倉学体験講座「竹炭づくり体験」

①開設趣旨 昔より伝わる竹炭づくりの技法を体験することにより、弥富地区の自然と伝統について理解を深める。

②募集対象 市内の成人 8人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月14日（水） 9：30～12：30	一日目 窯組み～火入れ 二日目 取り出し	中村 恵夫
	12月15日（木） 9：30～10：30		
2	2月18日（土） 9：30～13：00		
	2月19日（日） 9：30～10：30		

④講座を終えて 竹炭づくり体験は弥富地区ならではの講座であり、他地区の方に弥富地区の良さを伝える事ができた。

今年度は、参加者がより充実した体験ができるように。事業の回数を1回から2回に増やし、各回の募集人数を減らすことにより、作業を集中して行う参加者や手持ち無沙汰になる参加者が出ないように配慮した。

4. 団体育成事業

ふるさと弥富を愛する会

ふるさと弥富を愛する会は、平成20年9月12日に佐倉市市民協働の推進に関する条例第10条の規定に基づく市の認証を受け、弥富地区を活動区域として、主に次の活動を行っている。

1. 地域住民及び団体相互の連絡、交流、調整等を行う。
2. 自然環境保全事業として「ホテルの里づくり」や「ビオトープ整備」等を実施する。
3. 伝統文化継承事業として「どんど焼き」の継続実施や、歴史文化事業を実施する。
4. 健康福祉増進事業として、グラウンドゴルフ大会を実施する。
5. 安全安心事業として、防災訓練・防災講演会等を実施する。
6. 広報事業として、広報紙の発行等を実施する。

弥富公民館では、各種事業に関する協力、支援を行っている。

弥富地区青少年健全育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化し、それに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。そのため市民一人ひとりが課題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などの構成団体からなり、事務局は佐倉市こども支援部こども政策課が行っている。

弥富地区青少年健全育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成、非行防止及び福祉を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみの活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営などを行っている。

弥富公民館では、地区グラウンドゴルフ大会などの事業実施に協力している。

5. 広報活動事業

公民館だより

- ねらい 公民館事業の案内、募集、施設利用等の情報提供を行う。
- 発行回数 年3回（5・11・1月号）
- 発行部数 700部/回
- 配布方法 弥富地区の各区長を通じて全戸配布、公民館に配架

6. 図書事業

図書貸し出し

- ねらい 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図る。また、地区関連資料や佐倉市関連資料のコーナーを設け、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

根鄉公民館

根郷地区の概要

根郷地区は、佐倉市の南部に位置し、鹿島川右岸とその支流高崎川及び上流の南部川左岸に挟まれた丘陵地に位置している。

「根郷」の「根」は、ものの根元を意味し、嶺・尾根に通じ、「郷」は、里・村を意味しているが、当地区は、台地上或いは台地の根もとを取り巻いて集積した集落により構成されており、旧石器時代、縄文、弥生期の土器出土、住居跡、古墳及び中世の城館跡などが点在し、古来より住みよい所であったと思われる。

中世は、上総介一族の勢力下にあった印東荘（古代末から中世にかけて佐倉・酒々井・富里に有った荘園）に属し、承平年間に千葉氏が支配するようになってから集落が点在しはじめ、現在のような村落が構成されたのは藩政時代に入ってからとなる。

明治22年4月、町村制が施行され、六崎、石川、城、木野子、神門、寺崎、太田、大篠塚、小篠塚の9地区により根郷村が発足した。

当地区は、旧来、鹿島川と高崎川流域を中心に、稲作を主体とした農業が営まれる農村地帯であったが、現在、地域全体では、農村地域に残る自然豊かな山野と田畑、藤治台・大作・大崎台・山王・春路等の住宅地域、更にはJR佐倉駅周辺の商業地域、佐倉インターチェンジ周辺の臨空工業地域といった多面的な地域構成となっている。

地区内には、JR佐倉駅と東関東自動車道の佐倉インターチェンジがあり、鉄道と高速道路における佐倉市の玄関口となっており、更に成田空港に近接する地の利を生かし、第1・第2・第3工業団地・熊野堂工業団地が整備され、本市の産業の中心地となっている。

また、地区内には、諸学校施設として、根郷小学校、寺崎小学校、山王小学校、南部中学校、根郷中学校、県立佐倉南高等学校（併設：県立印旛特別支援学校さくら分校）、千葉敬愛短期大学があり、文教地区としての側面も持ち合わせている。

根郷地区の面積は、市域全体の16.9%に当たる約17.5km²、人口は14.7%に当たる25,206人であるが、今後は、独立行政法人都市再生機構施行による土地整理事業「寺崎北」地区（施行面積46.3ha、計画人口5,000人）への転入等により緩やかな人口増加が見込まれると同時に、JR佐倉駅に近接する寺崎地区は、新たな商業集積地として発展している。

根郷地区のデータ

【令和5年3月末現在】

- 根郷地区：面積 約17.5km² （佐倉市：面積 103.69km²）
- 根郷地区：住基人口 25,206人 （佐倉市：住基人口 171,037人）
- 根郷地区：人口密度 1,440人/km² （佐倉市：人口密度 1,649人/km²）

1. 公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部利用制限付き開館などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』及び『「集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動」における施設利用の留意点』を当面の間適用していく。

運営方針

佐倉教育ビジョンを基本として、根郷地区の特性を活かし、住民の生涯学習及び各種地域活動の場として中心的な役割を果たす施設となるように努める。

努力目標

- 新型コロナウイルス感染拡大防止に努める。
- より多くの人に利用してもらえる施設となるよう、施設設備の提供等に工夫をこらすとともに、利用者に好感を持たれる対応に努める。
- 幅広い年齢層の幅広い要望に応え、時代のニーズに応じた多様な事業を展開する。
- 地域の社会資源を活用するため、また、郷土意識の高揚のための橋渡し役となるように努める。
- 地域に根ざした社会問題への関心の喚起に努める。
- 公民館に関係する各種団体と連携を密にし、活動の支援に努める。

施設利用

開館日・開館時間

①日曜・月曜・火曜・祝日 9時～17時

②水曜～土曜 9時～21時

※17時以降の施設利用がない場合は17時まで

利用区分 1時間単位（9時～21時）

休館日 第2・4月曜日、年末・年始 12月28日～1月4日

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用件数 (件)	2,972	2,547	630	1,571	1,797
利用人数 (人)	33,257	27,829	4,673	11,949	17,345
開館日数 (日)	332	309	239	333	333

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応

- 令和4年5月24日～利用制限のうち
 - 管楽器・オカリナ・尺八などの吹奏楽器
演奏時のみマスクを外すことを可とする。
 - 茶道 所作上必要不可欠な場合のみマスクを外すことを可とする。
 - 社交ダンス 特定ペアのみ、身体接触を可とする。
- 令和4年6月6日～利用制限のうち、室内における黙食を可とする。
- 令和4年10月11日～利用制限のうち、社交ダンス等、当該サークル内であれば、身体接触を可とする。
- 令和4年11月1日～
 - 基本的な感染対策（※）を講じた上で、従前の利用制限は解除
※ 基本的な感染対策（お願い事項）
 - ・ マスクの着用 ・ こまめな消毒 ・ 定期的な換気
 - ・ 人と人との距離をとること ・ 身体接触は最小限にすること
 - ・ 大声での発声、歌唱、吹奏楽器等の演奏は、向かい合っていない
 - ・ 飲食の際は黙食とし、向かい合っただけの食事を避けること
- 令和5年3月13日～ 国・県の基本的な対処方針、各団体のガイドライン等に沿った感染対策をお願いする。

令和4年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
ホール	3,444	874	25.4%
学習室1	3,444	955	27.7%
学習室2	3,444	865	25.1%
プレイルーム	3,444	896	26.0%
調理室	3,444	312	9.1%
和室	3,444	164	4.8%
集会室	3,444	871	25.3%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	親子で遊ぼう ぼっぼちゃんくらぶ	2歳児と保護者 12組 (6組×2コース)	【前期】 5/12 5組10人 5/19 5組10人 5/26 1組2人 6/2 2組4人 6/9 5組10人 6/16 4組8人 【後期】 10/13 2組4人 10/20 5組11人 10/27 4組8人 11/10 4組7人 11/17 3組6人 11/24 5組9人	親子と一緒に運動や絵本・手遊び・工作等を楽しみ、幼児の様々な発達を促した。
	こども工房	家族とつくるクリスマス木エクラフト こどもと家族8組	12/18 9組22人	こどもとその家族で行うワークショップを通じて、豊かな心を育むプロセスと時間を提供し、家庭の教育力の向上を図った。
青少年教育	根郷公民館 防災デイキャンプ	根郷地区小中学校 児童・生徒 21人	7/3 21人	災害時に役立つスキルを学ぶとともに、子どもたちの自主性・協調性を高め、心豊かでたくましく生き抜く力を育んだ。 また、子どもたちの体験活動に係ることにより、地域住民や地域団体のつながりを深め、災害時の共助について考える一助とした。
	子ども体験講座	勾玉づくり： 小学3年～6年 15人	8/16 14人	体験型事業として、「勾玉づくり」を開催し、子どものやる気や自主性・協調性等を養った。
		絵画教室： 小学1年～6年 15人	7/29 13人	体験型事業として、「絵画教室」を開催し、子どものやる気や自主性・協調性等を養った。
佐倉学	佐倉っ子塾共通講座 「水辺の観察会」	小学生 20人	10/22 4組9人	生活環境課と共催。印旛沼等の自然環境やその他の自然体験学習により、環境への意識を育んだ。
根郷寿大学	根郷寿大学	60歳以上 1グループ 40人 2グループ 40人	【1グループ】 5/20 45人 7/7 43人 9/16 43人 11/18 37人 1/20 39人 3/17 40人 【2グループ】 6/17 43人 8/4 32人 10/21 40人 12/16 41人 2/17 35人 3/17 34人	郷土の歴史や文化、健康づくり等の幅広い分野を学び、教養の向上と社会参加の推進を目的とし、また、受講者同士の交流も図った。 ①歴史・文化(佐倉の歴史等) ②健康づくり(生活習慣病予防講座)

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育	シニアのための健康づくり講座	成人 20人	10/5 20人 10/12 19人 10/19 16人 10/26 19人	健康の維持増進を図り、生活習慣病予防を目的として、日常生活の中で簡単に出来る有酸素運動等を中心に健康体操を実践した。
	シニア向け初めてのスマートフォン教室	60歳以上 20人	9/30 午前 8人 午後 7人	スマートフォンを、安心・安全に使うには、どうしたらよいか。Docomo社員を講師に招き、理解を深めた。
	園芸教室	成人 25人	6/1 22人 6/15 21人	佐倉ハーブ園連携し、ハーブについての講義とハーブ園見学など地元企業を知る講座を実施した。
	防災講座	成人 30人	9/1 22人 9/8 19人 9/15 20人	地域住民の防災意識の向上させることにより、地域の防災力を強化した。明治安田生命との連携協定事業。
	千葉県文書館出前講座 千葉県における電気事業の変遷と発展	成人 40人	11/4 18人	明治期から戦前期までの電気事業史から、千葉県内に電気がどのように広まっていたか、佐倉市に電気が来たのはいつかなど、今では生活に欠かすことのできない電気事業の歴史について学び、地域への理解を深めた。
佐倉学	佐倉学入門講座	成人 各40人	【佐倉にゆかりある映画】 6/3 34人 【佐倉の鉄道】 12/2 33人	佐倉をテーマに学び、郷土に関する知識を高めた。
	佐倉学入門講座 根郷ふるさと探訪	成人 各10人	【春】 4/16 10人 【秋】 10/15 7人	根郷地区を散策しながら、季節の野草を観察し自然に親しんだ。(野草観察会)
	佐倉学体験講座	成人 10人	12/7 9人	体験型・参加型の講座。地域住民の協力を得て実施する。講座を通じて地域住民同士の交流を図った。「根郷産のこんにやく芋を使ったこんにやく作り講座」。
団体育成	根郷地区社会教育関係団体への支援	該当団体	通年	「南部地区子ども会育成会連絡協議会」、「根郷地区青少年育成住民会議」及び各種団体の活動を支援した。
	定期利用者懇談会	利用団体代表者	5月 1回	公民館の活動について理解を深めて頂くとともに、利用団体からの意見、要望を伺った。また、グループ活動の意義の理解を深めた。今年度は、新型コロナウイルス感染予防の観点から書面にて開催した。
	調理室利用者懇談会	利用団体代表者	5月 1回	公民館の活動について理解を深めて頂くとともに、利用団体からの意見、要望を伺った。衛生環境を徹底するため整理整頓作業を行った。今年度は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、書面開催と個別にて対応した。
広報	根郷公民館だより	根郷地区の各世帯及び事業所	【4月15日号】 8,250部発行 【9月15日号】 7,500部発行	公民館の主催事業、利用団体の活動、地区の情報などを掲載した館報を発行した。
図書	図書の貸出・返却	幼児～成人	通年	佐倉市立図書館と連携し、図書の貸出、返却の受付を行った。
その他	風除室の作品展示	絵画サークル	通年	定期利用4団体の協力を得て、3ヵ月ずつ風除室の展示を行った。

1. 家庭教育事業

親子で遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ

① 開設趣旨

絵本の読み聞かせや簡単な工作、親子遊び・体操などを通して、幼児の想像力や豊かな心を育み、同年齢の友達と触れ合うことで幼児期の人格形成を促す。また、参加者同士の交流を図り、地域における仲間づくりの機会を提供する。

② 募集対象

前期 平成31年4月2日～令和2年4月1日生まれの子と保護者 6組

後期 平成31年4月2日～令和2年4月1日生まれの子と保護者 9組

③ プログラム

(前期)

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	5月12日(木) 10:00～11:00	絵本の読み聞かせ はじめまして	楽母楽子 廣田 和子
2	5月19日(木) 10:00～11:00	絵本の読み聞かせ 魚釣りをしよう	
3	5月26日(木) 10:00～11:00	絵本の読み聞かせ ロケットを作って飛ばそう	
4	6月 2日(木) 10:00～11:00	体操 楽しく動いてみよう	米田 葉子 小林 松美
5	6月 9日(木) 10:00～11:00	体操 楽しく動いてみよう	
6	6月16日(木) 10:00～11:00	体操 楽しく動いてみよう	

(後期)

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月13日(木) 10:00～11:00	絵本の読み聞かせ おでかけバッグを作ろう	楽母楽子 廣田 和子
2	10月20日(木) 10:00～11:00	絵本の読み聞かせ こまを作ろう	

3	10月27日(木) 10:00~11:00	絵本の読み聞かせ ロケットを作ろう	
4	11月10日(木) 10:00~11:00	体操 楽しく動いてみよう	米田 葉子 小林 松美
5	11月17日(木) 10:00~11:00	体操 楽しく動いてみよう	
6	11月24日(木) 10:00~11:00	体操 楽しく動いてみよう	

④ 講座を終えて

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止策を取りながらの事業実施となった。感染予防の対策として、当日自宅での検温と健康観察、来館時の検温、手指消毒などを徹底し、また、ジョイントマットを用いることで、他の参加者との距離がとれるようにした。募集定員は前期6組、後期9組。学習回数は各6回で行った。

事業開催前は、会場の清掃、消毒を行い、終了後は参加者にも自分の使用した道具の消毒作業を協力してもらった。

アンケートでは、コロナ禍ではあるがもう少し回数があったほうが良かった、近所に同年代の子が少ないので良い機会になった、という声が寄せられ、受講生は概ね満足感を得られたようだった。

また、新型コロナウイルス感染症対策については、しっかりと対策されていた、間隔がとれていて安心して参加できた、自分の使用したマットを自身で消毒するのは良い取り組みだと思う、と感染予防対策を見える形で提示することで、理解と信頼を得られたと感じた。

こども工房 家族とつくるクリスマス木エクラフト

① 開設趣旨 木工材料を使って、こどもとその家族で協力しておもちゃを制作する。ワークショップを通じて、豊かな心を育むプロセスと時間を提供する。

② 募集対象 こどもと家族 8組

③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	12月18日(日) 10:00~12:00	親子で、クリスマスにちなんだ木エクラフトづくり	アトリエ そうわーくす

④ 講座を終えて

講師に地元で創作教室を主宰しているアトリエそうわーくすを迎えての「クリスマス木エクラフト」。今年度制作したのは「クリスマスクロック」。

大枠は講師が作成してくれていたもので、やすりをかけたり、窓を付けたり、飾りつけをするという作業を子供と保護者で行っていた。時計は壁掛けにも、置時計にもなるようにパーツを取り付けるのだが、くぎ打ちなど子供たちはあまりやったことがないようで、保護者とともに真剣な表情で行っていた。

最後に時計の飾りつけを行うのだが、「見本にはわざと装飾はしない」と講師。その

ほうが子供たちは自由な発想で装飾をし、オリジナリティーあふれる作品が出来上がるという。

講座の最後に、中央に集められた各組の作品は、それぞれ個性があり、オリジナリティーあふれる素晴らしい作品ばかりであった。

参加者からのアンケートには、「楽しかった。」「子供の成長がみられてよかった。」などの声が聞かれ、家族で物を作る機会に満足し、楽しい時間を過ごすことができたようであった。

2. 青少年教育事業

根郷公民館防災デイキャンプ

- ① 開設趣旨 災害時に役立つスキルを学ぶ中で、子供たちの自主性・協調性を高め、心豊かでたくましく生き抜く力を育むとともに、子供たちの体験活動を通じ、災害時の共助について考える一助とする。
- ② 募集対象 根郷地区の小学4～6年生 15人、根郷地区の中学生 6人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月3日（日） 9：00～正午	起震車体験、防災倉庫見学、防災啓発ビデオ鑑賞	危機管理課職員

④ <講座を終えて>

本年度の講座内容は、「起震車体験」「避難所運営ゲーム」「災害時に役立つビデオ上映」の3本建てとした。新型コロナウイルスの感染が収束していないため昨年と同様、規模を縮小して実施した。

最初「起震車体験」を予定していたが、起震車が故障してしまい実施できなかった。

次に、災害時には学校の体育館が避難所となることから、その模擬体験として「避難所運営ゲーム」を5名から6名を1組に、4班に分け実施した。最初のゲーム概要の説明時には、大人用のカードを使用したこともあり困惑する生徒・児童も見られたが、カードの読み上げを進行担当が行うなどルールを変更することで、後半はゲームの進め方にもなれ、積極的に参加する姿勢が見受けられた。その後、ビデオ鑑賞を行ったが、熱心に鑑賞する様子が見て取れた。ビデオはゲームの前に上映する予定だったが、インターネットにうまく接続できずゲーム後の上映となった。ホールの無線LANをに接続し動画を視聴する場合、回線が安定せず画面がフリーズする場所があるので以後注意が必要である。

アンケートは、概ね高評価であった。「また参加したい」という回答も多く寄せられ一定の効果はあったと思われる。一方「起震車に乗りたかった」という意見も出ており、不完全燃焼に終わった感は否めなかった。今後の事業継続に関しては、起震車の使用が可能なのかどうかも見据えながら、抜本的に見直す必要があると感じた。

夏休み子ども体験講座 勾玉づくりに挑戦！

- ① 開設趣旨 勾玉作りや展示する土器などを通して、縄文時代の生活に触れる機会とするとともに、ものづくり体験の喜びを実感してもらうことで受講者のやる気や自主性を養う。
- ② 募集対象 小学3～6年生 15人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月16日（火） 10：00～12：00	勾玉づくり 古代のアクセサリーをつくろう	千葉県教育委員会 文化財課職員

④ 講座を終えて

初めに縄文時代や弥生時代の土器や石器などについて解説があった。例年ならば近

くで見たり、触ったりしてもらおうが、現在コロナ禍ということで、直接触ることはひかえた。しかし、講師が製作した石器で新聞紙を切ってみたり、土器のかげらの模様を紙に写し取り、しおりを作るなど様々な体験を通して、楽しみながら古代の人々の暮らしや文化について学習することが出来た。

勾玉づくりでは、講師のわかりやすく丁寧な説明を受け、砥石や紙やすりで削ったり磨いたり作業をすること1時間半。皆自分だけの勾玉を完成させることができた。

アンケートでは「楽しかった」「来年も参加したい」という声が多く寄せられており、新型コロナウイルス感染症の影響でさまざまな活動が制限されている中、楽しく貴重な体験ができたと思う。

夏休み子ども体験講座 絵画教室

① 開設趣旨 体験型の講座を通して、受講生のやる気や、創造力、自主性を養う。

② 募集対象 小学1～6年生 15人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月29日（金） 13:00～16:30	後ろ向きを描こう	ワールサークル会員 他

④ 講座を終えて

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業が中止となり、3年ぶりの開催となった。

当日は、検温・手指消毒・換気と感染対策を取りながら行った。

申し込みを初めて「ちば電子申請サービス」のみで行ったが、対象が小学生ということ、もあり（入力は、保護者）、ほぼスムーズに手続きを行えたと思われる。

講座のテーマは、「後ろ向きを描こう」。講師陣の渾身のテーマで、「いつもと違う角度から物を観察してほしい」という思いからである。

今回使用した「ブリタニア紙」は、経年劣化に強い、中性紙。はじめに、メラミンスポンジと、食塩を使い、色の濃淡のつけ方を学んだ。その後、講師が事前に描いた物を見たり、実際に「後ろ向き」のポーズをとってもらいながら、思い思いの作品を完成させた。最後に品評会を行い、お互いに良い所を誉め合った。

アンケート結果を見ると、全員が「楽しかった」「次回も参加したい」と答え、高評価を得られた。来年度以降も、アンケートにもあった「横向き」など、テーマを変えながら、もうしばらく続けていきたいと思う。

佐倉っ子塾共通講座 水辺観察会 ～こども水辺探検隊～

① 開設趣旨 市内の水辺環境について、講義や野外観察を実施することにより、自然に親しみ、自然を大切にすることを養うとともに、環境の保全の理解と関心を深める。

② 募集対象 小学1～6年生 15人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月22日（土） 9：00～10：30	印旛沼に生息する生き物を観察する	財団法人 千葉県 環境財団 職員

④ 講座を終えて

当日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、検温・手指消毒・換気と感染対策を取りながら行った。

講座は、まず、大きな網で、生き物を採取し、網に入った生き物がどのような生態なのかを講師が解説した。そののち、すべてを沼に返し、建物内に移動した。

次に、採取できなかったものを図鑑や講師があらかじめ用意したものを用いて解説をした。

アンケート結果を見ると、全員が「楽しかった」「次回も参加したい」と答え、高評価を得られ、印旛沼の生き物について、知識が得られたと思う。

講師は、「印旛沼に生息する生き物が減ってきているので、生き物を持ち帰らない、持ち込まないで」と強く話していた。

3. 成人教育事業

根郷寿大学

- ①開設趣旨 高齢化社会の中で、郷土愛を育み、地域の中で連帯を持ちながら健康で充実した生活を過ごせるよう、健康の保持増進、歴史・文化、社会現象などの学習の場を提供するとともに、受講者同士の交流を図る機会を提供する。
- ②募集対象 60歳以上 ①グループ40人、②グループ40人
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	5月20日(金) 10:00~11:30	開講式、オリエンテーション 日程説明、班長(副班長)の選出、 グループ討議	館長 担当
	6月17日(金) 10:00~11:30		
2	7月7日(木) 9:20~11:30	生活習慣病予防講座	みつば脳神経クリニック理事長 大木 剛
	8月4日(木) 9:20~11:30		
3	9月16日(金) 9:20~11:30	消費者契約トラブル ~こんな時、どうする~	佐倉市消費生活センター 消費生活専門相談員 丸 裕実
	10月21日(金) 9:20~11:30		
4	11月18日(金) 9:20~11:30	郷土の先覚者	元根郷小学校校長 諸根 彦之
	12月16日(金) 9:20~11:30		
5	1月20日(金) 9:20~11:30	認知症について ~実際のケースから学ぶ~	佐倉市南部地域地域包括支援センター 管理者 高橋早矢香 認知症地域支援推進員 藤山 明子
	2月17日(金) 9:20~11:30		
6	3月17日(金) 10:00~11:30	グループ発表 閉講式	館長 担当
	3月17日(金) 13:30~15:00		

④講座を終えて

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じながら、奇数月・偶数月の2グループに分け、同一内容の講座をそれぞれ実施するという形式となった。

コロナ禍において、だいぶ正常に戻ろうという流れではあるが、この講座から感染者を出してしまうと元も子もないので、換気や手指消毒を徹底して実施した。

講座の内容は、歴史について、新しい講師を招いたり、いまだに被害が収まらない消費者契約トラブルについて今一度学ぶ機会を設けるなど内容の見直しを行った。

グループ活動も積極的に行えない状況下において、受講者同士の交流を深めることは難しい面もあったが、各班工夫をして活動を行ったことが「班活動の報告」で

分かった。講座に関する受講者アンケートでは、概ね良好の評価が得られた半面「2か月に1回では・・・」という意見もあることから、次年度の募集方法等検討していきたい。

シニアのための健康づくり講座

- ① 開設趣旨 シニアの世代になっても健康で暮らせるように、生活習慣病の予防に役立つ日常生活の中で簡単にできる運動について学び、シニア世代のQOL（生活の質）の向上を図る。
- ② 募集対象 成人 20人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月5日（水） 10：00～11：30	柔軟、筋トレ、有酸素、バランス運動の4つの運動を中心に学ぶ	AFAA認定 インストラクター 森 たか子
2	10月12日（水） 10：00～11：30		
3	10月19日（水） 10：00～11：30		
4	10月26日（水） 10：00～11：30		

- ④ 講座を終えて
毎年好評の健康づくり講座であるが、今年度は定員20名、4回の講座として行った。申込みに関しては、ちば電子申請サービスおよびはがきによる申し込みとし、多くの申し込みがあった。（はがき21名・ちば電子申請サービス13名）今年度は過去2年間の未受講者を優先としたため、参加者全員が新規の方たちとなった。

初回、講座の始まる前にヘルスチェックアンケートを講師に提出してもらい、高血圧や、体の不調（膝痛や腰痛など）のチェックを行ってから、講座が始まった。毎回およそ30分の講義のあと、休憩をはさんで実技に入るというスタイル。講義については、毎日の生活の中に運動を取り入れることで、認知症や生活習慣病をの予防することができるといった内容で、参加者も真剣な面持ちで聞いていた。

実技はリズム体操やヨガを行うなど、かなりの運動量と見て取れたが、受講生ほぼ全員がついていくことができしており、参加者も運動に対してはかなり意識の高い人が多いと感じた。

終了後のアンケートでは、「講座に参加して満足16名、やや満足2名（無記入1名）」と回答があり、参加者の満足度は今年度も高かった。

また、「継続してできる講座があればありがたい」「今回の講座をまた受けたい」といった声が多く寄せられ、学ぶ意欲の高まりや運動の継続など、講座開設には効果があったと考えられる。人生100年時代シニアが健康に暮らすために、食事・運動・社会とのつながりの重要性を改めて学び、自分の健康に向き合う機会となった。

シニア向け初めてのスマートフォン教室

- ① 開設趣旨 スマートフォンの基本操作や、災害対策アプリ等のアプリの活用方法を

学びシニア世代の方にスマートフォンを安全に使うって生活の幅を広げてもらう。

② 募集対象 60歳以上 午前10名 午後10名

③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	9月30日(金) 10:00~11:30	基本的な使い方や文字の入力方法、簡単なゲームアプリの使い方を学ぶ	ドコモスマホ教室専任講師
2	9月30日(金) 13:30~15:00		

④ 講座を終えて

講師1名、サポート・スタッフ4名の計5名で対応。まずは、スマホのスイッチの入れ方から、スライド、ドラッグ、タップなどの基本的用語の説明、長押しした時の機能の違いなどの実践的な機能の説明があり、それに続き受講者が実際操作を行った。講義では短いテーマごとに説明を区切り、続いてそれに対応する操作してみるという形ですすめられた。操作にあたってはサポート・スタッフが指導に当たった。受講者2人~3人に対し1名のサポートが付いたため、一人ひとりの受講者に対し時間をかけ丁寧に納得がいくまで説明している様子が見受けられた。後半はインターネットの使い方、テレビの見方、ラジオの聞き方など。最後に災害情報に関し、エリアメールの見方、災害伝言ダイヤル使い方などの説明。最後の質疑応答でも活発に質問が出ていた。講師も丁寧に応答していた。全体を通すと、説明より操作の時間が多く振り分けられており、同じ操作を何度か繰り返す中で、徐々にスマートフォンに馴染んでいった様子が見て取れた。アンケート結果は、おおむね好評であった。

園芸教室 ハーブに親しもう

① 開設趣旨 佐倉ハーブ園と連携し、ハーブという植物を通して、園芸の基礎を学ぶとともに、地域について知る機会とする。

② 募集対象 成人 25人

③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	6月1日(水) 10:00~12:00	栽培の基礎と管理の方法についての講義	佐倉ハーブ園園長 柴田 忠裕
2	6月15日(水) 10:00~11:30	ハーブ園散策とハーブを使っての挿し木の實習	

④ 講座を終えて 第1日目は「栽培の基礎と管理の方法」についての講義を行った。内容としては、植物を育成する上でのアミノ酸の働き、連作障害についてなど栽培の基本的な内容から、ハーブの利用法、ハーブ栽培のポイントなどについて実践的な説明があった。また、実際にその場でハーブティの入れ方を実演するなど具体的に分かりやすい講義内容となった。一方、受講者からは非常に専門的な質問も出ており、初心者はもちろん、専門的に学ぼうとしている方まで満足できる講義となった。

第2日目は「ハーブ園散策とハーブを使っての挿し木の實習」を行った。ハーブ園の散策では、参加者は熱心にメモをとりながら講師の話に耳を傾けていた。実際に生えている数種のハーブの香りを嗅ぎ比べたり、木に生っているブルーベリーを味わったりと、めったにできない貴重な体験となった。後半は、講師が挿し木の

実演を行った。土の作り方から植え方、その後の管理の仕方など丁寧に説明を受けながら、各受講者も挿し木を行った。最後にオリジナルのハーブティを味わったりと、充実した内容の講義となった。

防災講座

- ① 開設趣旨 近年台風、浸水等の自然災害が頻繁に発生し、加えて直下型地震の発生も心配されている中、防災に関する知識とスキルを学び、災害時に市民自らが身を守るための一助とすることを目的とする。学びシニア世代の方にスマートフォンを安全に使って生活の幅を広げてもらう。
- ② 募集対象 60歳以上 午前10名 午後10名
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	9月 1日（木） 10：00～正午	災害後も自宅で過ごす「在宅避難」のススメ	明治安田生命 チーフコンシェルジュ
2	9月 8日（木） 10：00～正午	あなたの防災脳を活性化！ 「風水害に備える防災脳ストレッチ！」	
3	9月15日（木） 10：00～正午	予想が可能な地震に備える！ もしものときの「アクションプラン」	

④ 講座を終えて

第1日 ハザードマップをパソコンから検索する方法を動画を交えて解説。在宅非難に必要なグッズをクイズ形式で出題するなど受講者の関心を引く工夫がなされていた。続いて在宅非難の必要性、その準備、重要備品等を説明。特に携帯トイレの設置に関しては詳細に具体的な説明がなされ、実践でも即対応できる内容になっていた。

第2日 最近の災害の傾向や、様々な防災に関する情報を携帯電話から取得する方法などを解説。「防災サバイバル・レッスン」では、水の確保の仕方や、安全に避難する方法など、災害から生き抜くためのノウハウが具体例を挙げて説明されており、大変役に立つ内容となっていた。

第3日 地震発生メカニズム、過去の地震被害の特徴についての説明に続き、地震発生時の対応についての講義があった。自宅にいた場合、車に乗っていた場合、商業施設にいた場合など様々なケースを想定し前回と同様クイズ形式で進められた。また、レジ袋を三角巾の代わりに使用する方法や、「作ってみよう防災工作」と題し受講者と一緒に新聞紙を使ってスリッパを作るなど、実演を交えての講義となった。

3回を通して、一方的に講義をするのではなく、講師が受講者とやり取りをしながら進めることで、より防災に対する興味や理解が深まり、記憶に残る講義となっていたように感じた。内容のボリュームもちょうどよかった。アンケート結果からは、おおむね好評であり来年度も別のテーマで実施したい。

千葉県文書館出前講座

- ① 開設趣旨 明治期から戦前期までの電気事業史から、千葉県内に電気がどのように広まっていったか、佐倉市に電気が来たのはいつかなど、今では生活に欠かすことのできない電気事業の歴史について学び、地域への理解を深める。千葉県文書館の出前講座として開催する。
- ② 募集対象 成人 40人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月4日（金） 10:00～正午	明治から戦前期までの電気事業史から、千葉県や佐倉市に電気がどのように発展してきたかを学ぶ	千葉県文書館 中臺 綾子

④ 講座を終えて

日本人が初めて電気に接した時の様子を、江戸時代の電気に関する書物などから解説。エレキテルを使った電気実験を描いた書物からは、江戸時代の人々が電気というものをごどのように捉えていたかを伺い知ることができた。日本ではじめて灯りがついたのは1878年3月25日。3月25日は現在「電気の日」となっている。当時東京銀座にあったアーク灯のカラー図版が紹介されているが、この灯りを伊藤博文が楽しんでいたなど、歴史を感じさせるエピソードも併せて紹介された。また、千葉県全体がどのような過程を経て電気が通って行ったかを説明する際、千葉県の白地図に時系列に沿って色を塗り重ねながら説明するなど、イメージしやすく視覚的にも分かりやすい説明となっていた。

後半は、千葉県に初めて電気を通した「千葉電灯」、佐倉市に初めて電気を通した「佐倉電灯・帝国電灯株式会社」が中心の講義となった。佐倉市の電気の発展には、京成電鉄や藤倉電線の存在も大きかったなど、地元の話も盛り込まれていた。そして、当時の様々な電気会社が最終的には東京電力に集約される過程を学んだ。

全体を通し、当時の書物や新聞記事から電気にまつわるエピソードを紹介するなどし、当時の人々の生活の様子が伺えるよう工夫がされていた。電気の歴史をより身近に感じることができる講義となっていた。アンケート結果からも好評であった。

佐倉学入門講座 佐倉ゆかりのある映画～昭和・平成時代～

- ① 開設趣旨 昭和から平成にかけて、その時代時代の佐倉の姿を映画のシーンから学ぶことで郷土への愛着と理解を深め、地域を見直す機会とともに、佐倉市の新たな魅力を発見する機会とする。
- ② 募集対象 成人 40人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	6月3日（金） 10:00～正午	昭和から平成にかけて、その時代時代の佐倉の姿を映画のシーンから学ぶ。	市史編さん委員 内田 儀久

④ 講座を終えて

内田儀久氏を講師に迎え「佐倉にゆかりのある映画～昭和・平成時代～」と題しての講座。

講座は、映画に使用されたロケ地をただ紹介するのではなく、一歩踏み込んだ講義となった。例えば「点と線」（S33年）で使用された実際の「旧佐倉駅」と小説にある「香椎駅」の微妙な違い。列車の車体番号からの実際の撮影現場を推理するなど新たな発見があった。また、「ドールズ」（H14年）のロケ現場（佐倉市内田）、目印となる建物もなく見過ごしてしまうような道端の一場面も、映画一コマと現地の写真を比較検証するなどし特定。映画を見ているだけでは絶対に分

からない指摘もあった。佐倉市を特定できるという意味では、実際の中央公民館という名称が使用された「スーパースキャンダル」(H8年)。市民カレッジの受講生がエキストラとして映画に出演していたという点も興味深かった。

映画は、昭和初期は時代劇、時代を下るにしたがって戦争、長嶋、娯楽ものと時代を反映している。そんな中、映画を通し佐倉市の歴史の一面を垣間見ることができたのは貴重な体験であった。また、新たな佐倉市の魅力の発見に繋がるものとなった。

アンケートからも「興味深いものだった」「参考になった」などの意見があり好評であった。

佐倉学入門講座 佐倉の鉄道

- ① 開設趣旨 根郷地区を走る総武本線や佐倉駅周辺に残る鉄道遺構にスポットを当て講演会を実施し、総武本線や佐倉駅周辺の街並みがどのように変わっていったかを知るきっかけづくりとする。
- ② 募集対象 成人 40人
- ③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	12月 2日(金) 10:00~12:00	総武本線や佐倉駅周辺の街並みがどのように変わっていったかを知る	鉄道史研究家 白土 貞夫

④ 講座を終えて

日本で最初に鉄道が走って今年で150年の節目の年に「地元 根郷地区を走る総武本線や、佐倉駅周辺の街並みが、どのように変わっていったかを知るきっかけづくりに」と企画した。

当日は、感染対策として、検温・手指消毒・窓開け換気を十分に行った。

講演は、日本の鉄道の歴史から始まり、新橋～横浜間を走った1号機機関車の紹介、新橋駅舎の紹介をしたのち、千葉県は、四方を水に囲まれ、半島であったことから最後まで、鉄道が敷設されなかったことなどの話があった。いよいよ佐倉駅の話であるが、佐倉駅が現在の場所に設置されたのは、「住民の方が、蒸気機関車の煙で洗濯物が汚れる」と言われたから」という話があるが、それは、間違えて、「佐倉町の中心に線路を敷設するには、かなり手前から勾配をつけなければならないこと」「水運が発達していた銚子へ向かうのに、適した位置」であることから町外の根郷村に設置された」と説明があった。現在の佐倉駅舎は、3代目であるが、2代目駅舎は、映画のロケ地になったことや、貴賓室があったらろうということも興味深い。

様々な、話があり、あっという間の2時間であった。

アンケート結果を見ると、大半が「講座に満足」・「目的が達成されている」であった。

今年から始めている、ちば電子申請サービスでの申し込みであるが、応募者40人に対し、23人が利用していた。

来年度は、別の角度から佐倉の交通についての講演会を考えたい。また、ちば電子申請サービスも普及させたい。

最後に、汽車に乗った最初の佐倉ゆかりの人は、津田梅子であった。

佐倉学入門講座 根郷ふるさと探訪「春・秋の野草観察会」

- ① 開設趣旨 根郷地区の自然を散策しながら、春や秋の野草・古木等を観察し、自然に親しむことにより、郷土の自然について理解を深める。
- ② 募集対象 成人 各10人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	4月16日（土） 9：30～12：00	春の野草観察会 六崎地区を散策しながら、野草や古木等を観察し、郷土の自然について関心を高める	佐倉野草会 近藤 維久子
2	10月15日（土） 9：30～12：00	秋の野草観察会 直弥公園谷津田を散策しながら、秋の野草や古木等を観察し、郷土の自然について関心を高める	佐倉野草会 近藤 維久子

④ 講座を終えて

春の野草観察会では六崎・城地区を観察コースとし、地区内に残る古木や野草などを観察した。住宅地が多くを占める地域でありながら、点在する神社や寺院には、市の保存樹に選定されているスギ・カヤ・マキなどがあり、樹齢数百年の巨樹となっている。また、六崎の弁天神社の池は、湧水により形成されているなど、自然も残されており、自生する野草も多く、参加者は講師の解説を熱心に聞き入っていた。講師が持参した木の実のサンプルや資料も参加者にはとても好評であった。

秋の野草観察会は「植物から見た谷津の自然」をテーマに直弥公園で開催した。この直弥公園の谷津田は、現在行政と市民ボランティアの協力により、草刈り・土水路確保などの保全管理が行われている。

前日から降った雨で足元の悪い箇所もあったが、参加者は講師の解説を熱心に聞きながら、谷津田の中に生息する数々の秋の野草を観察した。

この谷津田には、ミツガシワなどの重要保護植物が数多くあり、また、ニホンアカガエルなど保護動物も生息している。谷津の湧き水は、印旛沼の水源としても重要である。この自然を守ることで、すべての生物の循環がなされている、とのことであった。

直弥公園での植物や生物を守るためにも、今後この公園を訪れることがある場合は「監視する」という気持ちで見に来てください、という講師の言葉に参加者も大きく頷いていた。

どちらの会でも、参加者からは「とても楽しく散策することが出来た」「次回もぜひ参加したい」「継続をお願いします」という声が多く寄せられ、また、野草観察に関して学ぶ意欲も多くの参加者が、「とても高まった」と言っている。

今後もこのような地域の自然に親しむ機会を提供し、美しい佐倉の自然を感じ、保存していくことは重要であると感じた。

佐倉学体験講座 こんにゃく作り講座

- ① 開設趣旨 江戸時代には、將軍家へ献上されていたという佐倉のこんにゃく。地元の根郷地区で栽培されたこんにゃく芋を使い、地域住民の協力を得てこんにゃくを手作りする。
- ② 募集対象 成人 10人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月 7日（水） 9:00～13:00	佐倉で栽培収穫されたこんにやく芋を使い、地域住民の協力を得てこんにやくを手作りする	牛玖 昌弘

④ 講座を終えて

このこんにやく作り講座は3年ぶりの開催である。人気講座ということで、待ちわびていた方もいたようである。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、人数も10名ということで募集をし、14名の応募があった。

根郷産こんにやく芋を使用したこんにやくが江戸幕府への献上品であったことで、今回の佐倉学の講座を募集しており、先生が栽培した地元根郷産のこんにやく芋使用してのこんにやくづくりとなる予定だったが、天候の影響や無農薬で育てているとのことで、思うような芋ができなかったとのこと。今回は山武産のこんにやく芋使用となった。

1テーブル3名ずつとなったが、受講生は初めての方とも和気あいあいとした雰囲気、協力しながら、実習していた。

講師のほか2名の応援要員の方が来ていただいたが、講師と同じように豊富な知識で、受講生の皆さんのお手伝いをしてくださったり、質問に答えたりしていただいた。

講師は講座で必要な調理器具などをすべてご用意くださり、また、お土産用に自家製手作りゆずみそやおおまさりのお赤飯なども用意してきてくださった。

講師は自宅の納戸に格納しているという、こんにやくづくりの道具一式を有しており、地域のイベントでこんにやく作りを指導することも多いとのことである。

私達も試食用ということで、急遽実習に参加させていただいたが、出来上がったこんにやくを受講生、講師ともに黙食にて試食してもらった。

コロナ禍でなければ、話をしながら楽しく試食をしていただくこともできたと思うが、残念な限りである。

アンケート結果から「満足・やや満足」と回答をいただき好評であった。さらに「実習で初めての方とも楽しく、また和気あいあいと行うことができた」とのご意見もいただいた。人となるべく距離を取らなければならない昨今であるが、楽しい時間を過ごしていただけたようである。

今回の講座の開催時間は9時半から13時までとしていたが、大変早く出来上がり11時半ころには解散となった。来年度は開催時間を修正して行いたいと思う。

4. 団体育成事業

根郷地区社会教育関係団体への支援

南部地区子ども会育成会連絡協議会

子ども会は、地域の中で異年齢の子どもたちがさまざまな活動を通じて行動することにより、子どもの社会的成長の糧となる活動である。例えば、子ども会での異年齢での活動は、協調性やリーダーシップを、地域活動では郷土愛が、奉仕活動により公共性が、また、創作活動により創造性が育まれるなど、さまざまな活動による効果が期待されている。

根郷公民館を活動拠点とした南部地区子ども会育成会連絡協議会（南子連）は、南部地区内の子ども会及び子ども会を取り巻く関係諸機関、団体等との連絡調整を図り、各単位子ども会の健全な発展に寄与することを目的に活動を進めている。

例年、子ども会活動に役立つゲーム講習会、交流会や研修などの事業の実施、広報紙「あくていぶ」の発行、子ども会活動に役立つ各種備品の貸し出しも行っているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ほとんどの活動は中止となった。今できる子ども会の活動の話し合いを重ね、広報紙「あくていぶ」の発行やオンラインによる会議を実施した。

根郷地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化し、それに伴う諸問題は複雑かつ深刻化する傾向にあるようだ。こうした問題の解決のため、市民一人一人が問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成会連絡協議会、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市こども支援部こども政策課が行っている。

根郷地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の充実を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営、各種団体への助成などを行っている。

定期利用者懇談会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面にて開催。

調理室利用者懇談会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面にて開催。

5. 広報事業

根郷公民館だより

○趣旨 公民館の事業、利用団体の活動、地区の情報などを案内するために公民館だよりを発行した。

○発行回数 年2回（4月15日、9月15日）

○発行部数 4月15日号：8,750部 9月15日号：8,000部

○配布方法 各公民館・図書館の窓口配架。根郷地区各世帯に新聞折込みにより配布（4月15日号：8,250部 9月15日号：7,500部）

6. 図書事業

図書の貸出・返却

○趣旨 読書活動を支援すると共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図った。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図った。また、佐倉市関連資料や根郷地区関連資料を収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行った。

○蔵書数 約3千冊

○月別貸出冊数・返却冊数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数 (冊)	148	132	127	169	167	166	158	131	126	123	71	150	1,668
返却数 (冊)	292	272	321	294	316	384	329	272	224	269	100	406	3,479

志津公民館

志津地区の概要

志津地区は、佐倉市の行政区域の西部に位置し、昭和29年の町村合併による旧志津村の行政区域が現在の志津地区となっている。

なお、宅地開発等により地域人口が年々増加し、令和5年3月末現在では、佐倉市の総人口171,037人に対し志津地区の人口が75,024人となっており、その割合は43.9%であり、市内の地区別における居住人口の最も多い地区となっている。

また、京成電鉄が中央部を東西に走り、駅前（志津駅・ユーカリが丘駅）を中心に街並みが整備され、首都圏のベッドタウンとして開発が進んでいる。ユーカリが丘駅前には、複合型大規模商業施設が並びペDESTリアンデッキ（立体遊歩道）で結ばれるなど、近代的な街づくりへと生活環境などが発展してきている。しかし、市街化区域を一步外れると田園風景が広がり自然豊かな環境が残る地区となっている。

志津公民館は昭和48年10月に開館し、京成志津駅から徒歩5分の立地にあったものを、老朽化と複合施設化のため、旧志津出張所跡地に「志津市民プラザ」として、平成27年11月末に新たにオープンし、多くの地域住民に利用され生涯学習の拠点となっている。

志津地区のデータ

【令和5年3月末現在】

- 志津地区：面積 18.52km² （佐倉市：面積 103.69km²）
- 志津地区：住基人口 75,024人 （佐倉市：住基人口 171,037人）
- 志津地区：人口密度 4,050人/km² （佐倉市：人口密度 1,649人/km²）

1. 公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部開館、開館時間の短縮などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』及び『集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動における施設利用の留意点』を当面の間適用する。

運営方針

佐倉市教育ビジョンを基本として、地域の実態や動向に立脚し、住民の自主活動を育て援助しつつ郷土づくりの意識を一層高める。

また、各人の生活課題をみつめ、生涯学習の場としての適切な運営に努める。

努力目標

- 新型コロナウイルスの感染拡大防止に努める。
- 多様な学習機会の提供をはじめ、住民の幅広い学習活動の支援。
- 学校を含めた関係機関との有機的な連携による事業の推進。
- 学習した成果が地域社会に還元され、地域の人材が活用される環境づくりの醸成。
- 複合施設（志津市民プラザ）としての機能を効果的に発揮するため調整を行う。

事業内容

1. 学級講座の開設
家庭教育と郷土学習を中心とした学級講座の内容充実。
2. グループや団体の育成援助
公民館での学習活動や地域でのグループ活動の意義を理解する自主グループの育成援助。
子ども会をはじめ青少年の健全育成を推進する各種団体への援助と相互連携。
3. 広報活動
市民への情報提供や意見交換の場としての公民館だよりの発行と各種情報資料等の収集整備と提供。
4. 図書活動
郷土学習などを中心とした図書の整備と館外貸し出し、及び図書館との連携。
5. 施設の提供
 - ・開館日時 ①日・月曜日、祝日 9時～17時
 ②火・水・木・金・土曜日 9時～21時
 *夜間の使用申込がない場合は17時で閉館
 - ・休館日 第2・第4月曜日及び年末年始12月28日～1月4日

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用件数 (件)	7,453	6,888	2,226	5,343	6,373
利用人数 (人)	92,177	85,649	20,144	45,978	63,632
開館日数 (日)	333	309	235	333	333

令和4年度部屋別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
210会議室	3,640	1,982	54.5%
220会議室	3,640	1,891	52.0%
201会議室	3,640	1,648	45.3%
202会議室	3,640	1,557	42.8%
調理室	3,640	202	5.5%
310会議室	3,640	1,701	46.7%
和室	3,640	907	24.9%
401会議室	3,640	1,684	46.3%
アトリエ	3,640	1,652	45.4%
大会議室A	3,640	2,265	62.2%
大会議室B	3,640	2,396	65.8%

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、線引き事業については中止とした。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	笑顔で子育て 応援講座	子どもと保護者	7/7 10人	保護者自身が自分と向き合える時間と場を提供し、子育ての悩みに寄り添う。 7/7 ハッピーマインドヨガ
青少年教育	志津子ども教室	小学生	8/2 16人 8/11 14人 10/16 19人 11/27 9人 12/3 17人 12/17.18 145人	体験や学習を通じて、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。 8/2 土器つと勾玉づくり 8/11 廃食油で作るエコせっけん 10/16 本立てを作ろう！ 11/27 手作りしましょう！クリスマスオーナメント 12/3 志津地区に伝わる辻ざり作り親子体験 12/17 たこづくり大作戦！ 12/18 たこづくり大作戦！
	ちょこボラ (公民館でちょこっとボランティア)	中学生 高校生	通年	青少年が職場体験学習をすることで、地域の人とのふれあいや公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育むことを期待する。
成人教育	しづ学入門	成人 30人	5月～12月10回 土曜日 開講式 5/21 閉講式 12/17 講座 5/21～12/17	郷土の歴史・文化・自然などについて学び、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現を図る。
	健康とくらし	成人 30人	5月～12月10回 火曜日 開講式 5/24 閉講式 12/6 講座 5/25～11/16	心身ともに豊かで充実した人生を送るため、様々な情報を学びを通じて、地域の中で連帯を図る。
	みんなの家政学	成人 30人	5月～12月10回 木曜日 開講式 5/26 閉講式 12/1 講座 5/26～12/1	日々の暮らしを営んでいくための「衣」「食」「住」を生活に関する事を多様な視点から学び、新しい時代の生活を豊かにし、暮らしの質を高めていくことを図る。
	佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」	成人 10人	10月～11月 10/26 10人 11/2 10人 11/9 10人 11/16 9人	井野長割遺跡を題材に、縄文時代について知識を深め、地域の遺跡を学ぶことで、郷土愛や歴史文化への意識を高める。 10/26 基礎知識編 11/2 遺跡の紹介 11/9 遺跡の見学 11/16 今後のあり方
	佐倉学 佐倉学入門講座 「佐倉道を歩く」	成人 8人	10月～12月 10/28 8人 11/4 8人 11/11 8人 11/18 8人 11/25 7人 12/2 8人 12/9 6人	「佐倉学」の普及を図りながら、佐倉城主が通った「佐倉道」を歩き、城下町佐倉や周辺地域の歴史も含めて理解を深める。 10/28 座学：佐倉道を歩く（序論） 11/4 散策：江戸川～西船橋 11/11 散策：西船橋～薬園台 11/18 散策：薬園台～大和田 11/25 散策：大和田～臼井 12/2 散策：臼井～佐倉城大手門跡 12/9 追補：中山法華経寺
	佐倉学入門講座 志津地域散策	成人 10人	3/10 9人	志津北部地域の史跡を散策し、志津地域の理解を深める。
	包丁について学ぶ	成人 12人	1/13 9人	包丁の歴史や製法、手入れ方法を学び、生活の質の向上を目指す。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
団体育成	サークル運営 研修会	公民館利用 サークル代表者	4/15 書面開催 2/20 実地開催	サークル活動の意義、運営のあり方を学び、 自主性を高め地域活動につなげる。 ・書面開催発送数 291団体 ・実地開催参加数 78団体
	調理室利用 サークル懇談会	調理室 利用サークル	6月・11月 2回	調理室の効果的な活用と適正な運営・衛生管理の 向上を考え、懇談を通してサークル間の交流を 図る。
	志津地区社会教育 関係団体への援助	該当団体	通年	志津地区青少年育成住民会議等の事業及び活 動を支援する。
	公民館園芸ボラン ティア団体への 支援	該当団体	通年	公民館における園芸・学習活動を支援する。
広報活動	公民館だより 「しづ」の発行	志津地区 各戸配布 市内 主要施設配布	4/ 1 17,000部 9/15 400部 3/15 17,000部	志津公民館事業の案内・情報などを提供し、 公民館活動への理解と認識を深めるととも に、各事業の参加募集を行う。

1. 家庭教育事業

笑顔で子育て応援講座

(1)「ハッピーマインドヨガ」

①開設趣旨 365日、子育てに奮闘される保護者のみな様に向けて、リラックスとリフレッシュができる時間と場所を提供する。保護者の悩みに寄り添うことで、子育てを応援する。

②募集対象 (1) 保護者10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者
1	7月 7日(木)	子育て講演会	ヨガを行いながら子育ての悩みに向きあう	ヨガインストラクター 千葉 由佳

④講座を終えて 当講座は、令和4年3月(令和3年度)に企画していたが、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置により延期となっていたものである。講師には、公共施設を中心にヨガの講義を行っているほか、児童発達支援に明るく、子育ての悩みに関するアドバイスもでき、受講生と同年代でもある千葉由佳氏にお願いした。本講座の対象は、午前10時から11時の間に子どもから離れていられる——子どもを保育園や幼稚園に預けている保護者がわずかな空き時間を利用してやってくるもの、あるいは、幼児のそばで保護者がヨガをするものと想定しており、そのため「初心者・お子様連れ歓迎」とうたって、チラシやLINEで受講者を募集した。

ところが、31名の申込者のうち、子どもを同伴したいという保護者が18名おり、子どもの年齢は0歳から3歳までであった。その時点で、乳幼児が保護者のそばにいる可能性は低いと判断し、急遽、家庭訪問型子育て支援を行っている団体に託児を依頼することになった。なお、実際に託児を受けたのは1歳児2名であり、講座と同じ会場のなかで十分に遊ばせることができ、こちらも安心して講座に取り組むことができた。

講座のメインであるヨガは初心者向けとのことで、どの受講者も難なくついていったようだ。1時間かけてヨガでリフレッシュしたあと、最後に講師が自分の子育ての中で起こる日々のイライラについて話した。講師曰く、「子どもと自分は別の人間だとわかっているのに期待しすぎてしまうからイライラしてしまうし、自分も良く怒っている」とのこと。これにより、受講者にも「講師も完璧な子育てをしているわけではない」「悩んでいるのは自分だけではない」ということの気づきを得たのではないだろうか。今日の講義を思い出し、リラックスしながら子育てをして欲しいと思う。最後に、こちらが想定していなかった層からの申込みが多かったことに見通しの甘さを反省するとともに、来年度の家庭教育事業は今回の応募状況を踏まえつつ実施方法を考えていきたい。

2. 青少年教育事業

佐倉っ子塾 志津子ども教室

①開設趣旨 自分で手作りする機会や体験する機会が少なくなったと言われる現代において、佐倉の地域素材を織り交ぜながら、体験や学習を通して、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む機会とする。

②募集対象 小学生

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	8月 2日(火)	土器っと 勾玉づくり	本物の縄文土器に触れ、 実際に勾玉を作成する	千葉県教育庁教育 振興部文化財課 宿城 孝義
2	8月11日(木)	廃食油で作る エコせっけん	廃食油を再利用して環 境に優しい石鹸を作る	千葉県地球温暖化 防止活動推進委員 廣田 由紀恵
3	10月16日(日)	本立てを作ろう!	角材から本立てを作る	千葉県教育庁教育 振興部文化財課 宿城 孝義
4	11月27日(日)	手作りしましょう! クリスマスオーナメント	季節飾りを毛糸やボタ ン等身近な材料で作る	ボランティア 佐藤 明日美
5	12月 3日(土)	志津地区に伝わる 伝統の辻ぎり作り 親子体験	佐倉の地域素材を織り 交ぜながら、辻ぎり体験 を行う	志津歴史同好会
6	12月17日(土) 12月18日(日)	たこ作り大作戦!	たこ作りキットを配布 し、各家で制作する	児童青少年課 青少年住民育成 会議

④講座を終えて これまで志津地区の小学校へチラシを配架して募集を行っていたが、今年度は佐倉市公式ホームページ、佐倉市公式LINEでの募集を行った。これまでに申し込みのなかった私立小学校からの申し込みもあり、講座の窓口を広げることができた。秋口に行った講座では、本立てや季節飾りを工作する内容で、参加者によっては苦戦する場面もあり、フォローできるように公民館担当者も作業手順を把握しておくことが重要だと考える。5回「志津地区に伝わる伝統の辻ぎり親子体験」では工作の面だけでなく、郷土の歴史を体験する側面もあり、広報課資料にある『井野の辻切り動画』、『志津駅散歩動画』を繰り返し流したが、もう少し資料として、見せられるものを用意し、親子で楽しめる時間を作れるよう工夫を行っていきたい。

3. 成人教育事業

しづ市民大学（第33期）

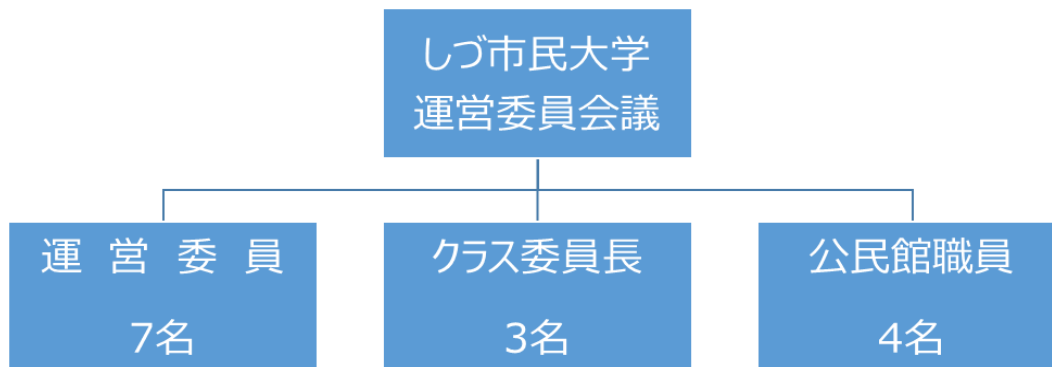
①開設趣旨 志津公民館では、自由時間の増加、少子高齢化の進展等の中で一人ひとりが自らの生活を見直し、心豊かで充実感ある人生を送るための学習の場を提供するとともに、学習を通じて地域の連帯をはかり、その成果を生かした「まちづくり」に貢献できるよう『しづ市民大学』を開設した。

なお、しづ市民大学の学習とは、講座に参加する・講話を聴くだけの座学ではなく、多彩な学習を学習者自らが創造し、企画並びに運営活動に参画し、市民活動の推進を図る。そこで、開設にあたり事業の視点を次の2点とし、個性的で多様な内容を取込み『しづ市民大学』を展開する。

- (1) 自主的な学習活動の促進
(個人的な参加型の学習から地域への展開)
- (2) 生涯学習を進めるまちづくり
(地域社会の活性化)

『しづ市民大学』は、人々の出会いの場・地域づくりの場の核となり、地域住民への学習機会を提供し、一人ひとりの生きがいの発見・地域の仲間づくりを通して「住みよいまちづくり」に寄与することを目指す。

【しづ市民大学運営関係図】



②募集対象、募集人員

- ・しづ学入門 成人 30人
- ・健康とくらし 成人 30人
- ・みんなの家政学 成人 30人

③学習目標

・しづ学入門 志津地域や佐倉の歴史・文化・自然等について学習する。自らの学び経験を通して地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現に寄与することを目指す。

・健康とくらし 生活様式が変化する中で心身の健康保持と増進を図り、地域の一人ひとりが自らの生活を見直すことで、心身ともに豊かで充実した人生を送ることを目的とし、「健康的な暮らし」「健やかな日々」を実現するための様々な情報を学ぶことにより、地域への還元を目指す。

・みんなの家政学 日々の暮らしを営んでいくための「衣」「食」「住」を中心に、生活にまつわる食事や家事、家庭の管理など、生活に関する事を多様な視点から学び、新しい時代の生活を豊かにし、暮らしの質を高めていくことを図る。

④プログラム

しづ市民大学 「しづ学入門」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」	【会場】	講 師
1	5月21日(土) 9:15~13:00	開講式・ホームルーム・自己紹介等 1年間を充実した時間にするための仲間づくり	【志津公民館 大会議室A・B】	日本レクリエーション協会 田端 知恵子
2	6月4日(土) 9:30~12:00	市民大学と地域づくり	【志津公民館 大会議室A】	元佐倉市職員 石井 肇
3	6月18日(土) 9:30~12:00	志津の話-いまむかし-	【志津公民館 大会議室A】	佐倉市 市史編さん委員 内田 儀久
4	7月2日(土) 9:30~12:00	志津地域散策	【志津地区】	NPO「佐倉一里塚」 ガイドボランティア
5	7月16日(土) 9:30~12:00	絵図から見る志津地域のあゆみ	【志津公民館 大会議室A】	酒々井町文化財審議会 高橋 健一
6	8月20日(土) 9:30~12:00	印旛沼の変遷 湖沼の生態系(現状と課題)	【志津公民館 大会議室A】	千葉県内水面水産研究所 職員
7	9月10日(土) 9:30~12:00	絵図から見る佐倉城下町	【志津公民館 大会議室A】	國學院大學兼任講師 川名 禎
8	10月22日(土) 9:30~12:00	日本遺産北総四都市江戸紀行の概要について	【志津公民館 大会議室A】	佐倉市教育委員会 文化課 職員
9	11月26日(土) 9:30~12:00	井野長割遺跡について学ぶ	【志津公民館 大会議室A】	佐倉市教育委員会 文化課 職員
10	12月17日(土) 9:30~13:00	近代史料からみた佐倉の人々の生活史 閉講式	【志津公民館 大会議室A】	佐倉市 市史編さん委員 中澤 恵子

しづ市民大学 「健康とくらし」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月24日(火) 9:15～13:00	開講式・ホームルーム・自己紹介等 1年間を充実した時間にするための仲間づくり 【志津公民館 大会議室AB】	日本レクリエーション協会 田端 知恵子
2	6月14日(火) 9:30～12:00	市民大学と地域づくり 【志津公民館 大会議室A】	元佐倉市職員 石井 肇
3	6月28日(火) 9:30～12:00	怒りや感情のコントロール方法について ー穏やかに暮らしていくためにー 【志津公民館 大会議室A】	成田富里徳洲会病院 公認心理師/臨床・学校 心理士 鈴木みのり
4	7月12日(火) 9:30～12:00	口から始まる健康習慣 他 【志津公民館 大会議室A】	佐倉市健康推進課 職員
5	7月26日(火) 9:30～12:00	過去の災害から学ぶ 【志津公民館 大会議室A】	日本赤十字社千葉県 支部
6	8月9日(火) 9:30～12:00	いざというときの避難所運営ゲーム 【志津公民館 大会議室AB】	佐倉市危機管理課 職員
7	9月27日(火) 9:30～12:00	ニュースポーツ「ボッチャ」の体験 【志津公民館 大会議室AB】	元佐倉市職員 斉藤 英晴
8	10月25日(火) 9:30～12:00	理学療法士による介護予防体操 【志津公民館 大会議室AB】	成田富里徳洲会病院 理学療法士 斉藤 剛史
9	11月15日(火) 9:30～12:00	高齢者のための薬の知識 【志津公民館 大会議室A】	成田赤十字病院 薬剤部長 君和田 貢
10	12月 6日(火) 13:00～16:30	テレビニュースができるまで ～報道番組の裏側～/閉講式 【志津公民館 大会議室A】	テレビ朝日 出前講座

しづ市民大学 「みんなの家政学」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月26日(木) 9:15～13:00	開講式・ホームルーム・自己紹介等 1年間を充実した時間にするための仲間づくり 【志津公民館 大会議室AB】	日本レクリエーション 協会 田端 知恵子
2	6月 9日(木) 9:30～12:00	市民大学と地域づくり 【志津公民館 大会議室A】	元佐倉市職員 石井 肇
3	6月23日(木) 9:30～12:00	年齢に応じた食事術 【志津公民館 大会議室AB】	管理栄養士 六崎 美知代
4	7月14日(木) 9:30～12:00	料理道具とテーブルマナー 【志津公民館 大会議室A】	習志野調理師専門 学校 校長 山崎 憲
5	7月28日(木) 9:30～12:00	食中毒を予防しよう 【志津公民館 大会議室A】	印旛保健所 職員
6	9月15日(木) 9:30～12:00	ゴミの出し方～家庭ごみの行方～ 【志津公民館 大会議室A】	佐倉市廃棄物対策課 職員
7	9月29日(木) 9:30～12:00	セカンドライフの整理収納 【志津公民館 大会議室A】	整理収納研究所 代表 桑原 美栄子
8	10月27日(木) 9:30～12:00	大切な服のために洗濯上手になろう 【志津公民館 大会議室A】	和洋女子大学 服飾造形学科助教 桑原 里実
9	11月17日(木) 9:30～12:00	地域と家庭での防災 【志津公民館 大会議室A】	佐倉市危機管理課 職員
10	12月 1日(木) 9:30～13:00	これで安心！家計の管理 閉講式 【志津公民館 大会議室A】	明治安田生命保険相互会 社 派遣講師

⑤講座を終えて

「しづ学入門」 自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現に寄与することを目的に、志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習した。

通年ほぼ座学のしづ学入門コースであるが、その中でも、7月2日の志津北部地区の散策は受講生が楽しみにしていた講義である。だが、熱中症の危険があることから屋外での散策を中止し、公民館での座学となった。散策コースに沿った画像を使って、ボランティアガイドが懇切丁寧に説明する濃い内容であったが、受講生としては「実際に散策をできなかったことは残念」との思いが強く、このことは他の講義日でも常に話題に上がった。また、10回の講義では受講生同士の交流が少なく物足りないという意見もあった。

新型コロナウイルスの動向を見ながらの講義になってしまうのはいかんともしがたく、また、私的な交流も難しかったことと思われるが、様子を見ながら安全に講義を進めていきたい。

「健康とくらし」 自分らしく健康で、豊かな生活を送るためのきっかけづくりとするため、学びをとおしてこころとからだの健康を保つことを目的に学習した。本講座は、日々の暮らしの中で関心の深いテーマが主体となっており、健康にまつわる講義や体操の実技においては熱心に聴く姿が見られた。全体を通して、レクリエーションやワークショップが多い講座となるが、来年度においても学ぶ楽しみと活動するよるこびが感じられる学習の場に応えられるよう計画していきたい。

「みんなの家政学」 今年度から新コースとして始まり、新しい時代の生活を豊かにし、暮らしの質を高めることを目的に学習が進められた。受講者は、しづ市民大学自体の受講が初めてで、コース名に惹かれたという方と、これまで様々なコースを受講し、新コースが誕生したために受講したという方がいた。開講後は運営委員や過去市民大学受講経験のある受講生が新規受講生にコースの運営の方法や班の活動を率先して案内し、新コースであったが安定した講座運営が行われた。コースプログラムについては、受講生自身が普段の生活で感覚的に理解していると思われるものを体系立てた知識として提供できるように企画したが、全内容通して、専門的な用語については、注釈をつけるなどの工夫が必要と思われたため、次年度以降の改善点としたい。毎回の講座前に行われるホームルームでは、班ごとに交流が深められ、アンケート結果でも新しく親しくなれた出会いがあってよかったといった感想が目立った。しかし、コース全体での交流は社会的な背景から会場を確保することなどが難しく、今後の課題となった。

佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」

①開設趣旨 井野長割遺跡を中心に考察し、縄文時代の村の姿や生活・役割などを知ることにより、当時の志津地区の自然や歴史・地理・生活状況を理解する。また、学習成果を通して地域に対する知識を深め、郷土の成り立ちを知ることにより、郷土愛や歴史文化を継承し、地域の連帯と仲間づくりを図る。

②募集対象 成人 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月26日(水)	考古学入門 佐倉の縄文時代	文化課職員 松田富美子

2	11月 2日 (水)	井野長割遺跡とは 遺跡概要紹介	文化課職員 小倉 和重
3	11月 9日 (水)	遺跡探訪し知識を深める (現地見学)	文化課職員 小倉 和重
4	11月16日 (水)	遺跡の今後について	文化課職員 松田富美子

④講座を終えて 「井野長割遺跡」は、印旛沼南岸の台地上に位置する縄文時代後・晩期（今から約4000～3000年前）に栄えた集落跡で、ドーナツ状に配置された盛土群により「環状盛土遺構」が明瞭に存在しており、平成17年3月に国の史跡に指定され佐倉市の重要な文化遺産となっている。この講座では、身近な市民文化資産を教材とし地域を見直し、新しい佐倉の文化について考え、共に創り上げていく活動『佐倉学』を展開していくステップとなることを願って実施した。第4回目では、今後のあり方について学習し、講師の説明を聞き、今後の保存や活用について質問や意見を交換しあうなど活発な学習の場となった。

アンケートでは、当時の人々の生活状況を思いおこし感銘を受けた、どのような「心」をもって生活していたのか強く感じた、などの感想があった。参加者全員が講座内容に満足という結果を得た。

佐倉学入門講座 佐倉道を歩く

①開設趣旨 佐倉城及び佐倉城下町造成より400年が経過し、かつて佐倉城主が参勤交代で通行した「佐倉道」や城下町佐倉の周辺地域の歴史について理解を深め、街道に關する醍醐味を感じてもらいながら郷土への関心を高めていく。

また、江戸川から佐倉城址までを周辺の史跡も含めて全6回に分けて学び、地域で活躍できる人材を育成する。

②募集対象 成人 8人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月28日 (金)	佐倉道を歩く (序論)	佐倉道を歩く会
2	11月 4日 (金)	江戸川～西船橋	
3	11月11日 (金)	西船橋～薬円台	
4	11月18日 (金)	薬円台～大和田	
5	11月25日 (金)	大和田～臼井	
6	12月 2日 (金)	臼井～佐倉城大手門跡	
7	12月 9日 (金)	中山法華経寺 (※追補として)	

④講座を終えて この講座は、佐倉道に関して街道の史跡についての座学と散策として実施した。昨年度は佐倉道を歩く会の会員ができる限り全区間をフォローするために参加したが、今年度は、受講生の定員を安全確保ができる最大の範囲で増やす意図から、講師を担当する2名のみ、佐倉道を歩く会から出席することとし、受講生の定員を6名から8名に増やした。初回は、「佐倉道に関しての総論」として佐倉道の全体像等の講義を行い、2回目以降は座学で学んだ場所を実際に散策した。散策は現地集合、現地解散の形をとり、街道沿いの史跡散策を実施した。散策は受講生同士が学びや意見交換を啓発することを意図した。散策中は、周囲に注意し事故などにも配慮し効率的に学習をすすめることができた。今回の実施は、平成30年度の受講生が講師として実施する2回目

の講座であり、座学から散策までの講座終了まで、内容・時間管理ともに昨年と比較してより洗練されていた。また天候に恵まれたこともあり、受講者の要望と講師の厚意から、雨天順延用の予備日としていた日程を中山法華経寺を案内するための追補とすることができ、境内にある様々な史跡を一つひとつじっくりと学ぶことができた。受講者アンケートでは、概ね好評な結果であった。運動目的で参加した受講生からも、回数を重ねるごとに歴史散策の楽しさを発見できたと感想をもらい、佐倉を知ることでできる佐倉学講座としての目的も達成できたのではないかと考える。

佐倉学入門講座 志津地域散策

①開設趣旨 志津北部地域の史跡をガイドの説明を受けながら散策することで、志津地区について知識を深め、郷土愛や歴史文化への意識を高める。

②募集対象 成人 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	3月10日(金)	歴史散策(中学校駅集合)	NPO 法人佐倉一里塚 ガイドボランティア

④講座を終えて この講座は、本年度の佐倉学講演会に代わるものとして行ったものである。令和3年度に行った講演会は好評を得たものの、新型コロナウイルス対策による人の密接を避けた結果、参加50名程度の講演会となり、以前の100名以上参加の講演会と比べると矮小感が否めなかった。令和4年度も新型コロナウイルス対策の基準が緩和しないこともあり、今回は講演会の開催ではなく、市内在住10名向けに、ガイド付きの散策を通して、より深く志津地区を知ることが目的として、当講座を初めて開催することとした。

内容はしづ市民大学しづ学入門コースで行う予定だった「志津地域散策」を下敷きとし、志津北部地域である青菅と先崎の史跡を、ガイドの説明付きで巡る行程である。講師はこの地域でのガイド実績があるNPO法人佐倉一里塚に依頼した。

道程5～6キロメートル、道中に休憩がないことは事前に告知してはいたものの、受講生が歩き通せるか不安であったが、それも杞憂に終わった。

約2時間に渡る散策の長さについて「ちょうどよい」との回答が得られたほか、初の試みだけに、開催時期についても質問したところ、こちらも「ちょうどよい」とのことであり、3月上旬は極端に暑くも寒くもなく、散策に適していたようだ。

志津北部地域は交通も不便であり、個人で史跡を巡るにはなかなか難しい地域でもある。今回の講座はガイド付きであったことも含めて、受講生にも好評をいただき、有意義な事業であったと考える。

包丁について学ぶ

①開設趣旨 包丁の歴史や製法、手入れ方法を学び、生活の質の向上を目指す。

②募集対象 成人 12人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	1月13日(金)	包丁の歴史・製法・手入れ方法	調理師 山崎 憲

④講座を終えて 調理室の砥石の数に限りがあるため、定員を12人として募集をした。募集方法はこうほう佐倉、チラシ、佐倉市公式LINEの通知により行った。申し込み方法は従来の往復はがきに加えてオンライン申込フォームのいずれかを選択できる形とした。オンラインでの申し込みは52人、往復はがきでの申し込みは11人、合計63人と過去に実施した同講座の中で最も多くの申し込みがあった。これまでになかった30代、

40代からの申し込みがあり、オンラインでの申し込み新設により新しい受講年齢層を開拓できた。また、60代～80代の方もオンラインから多くの申し込みをいただき、高齢者＝オンライン申請が苦手という意識は担当者として偏見であったと反省した。講座内容では座学では包丁に関する歴史や製法、その材質等幅広く学び、実際に包丁研ぎ体験を行った。一人ひとりに先生が指導を行う事ができ、アンケート結果でも満足度の高い講座となった。受講生からの質問は包丁の扱い方から園芸用の鎌の砥方まで多岐にわたったが、講師はすべての質問に丁寧に受け答えをしていた。

4. 団体育成事業

サークル運営研修会

- ①開設趣旨 社会教育施設を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として 4月15日に書面開催し、令和5年2月20日には実地開催した。
- ②募集対象 志津公民館利用グループ・団体の代表者
- ③学習内容
 - ・志津公民館の施設使用について
 - ・公民館の役割について
 - ・令和4年度志津公民館サークル運営研修会ご意見等提出用紙による意見交換
 - ・令和5年度志津公民館サークルふれあいまつりについて
- ④今後に向けて 各サークル団体に対する必要かつ適切な助言・指導等について研究・検討し、公民館を拠点としたサークル活動の更なる飛躍と活性化を目指し実施した。公民館の施設・設備の有効活用と地域住民ニーズに則した適正な運営管理に努め、「多くの住民が集う公民館」「地域づくりの核」となるよう、施設・設備の充実及び利用者との連携を図っていく必要がある。

調理室利用サークル懇談会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

志津地区社会教育関係団体への援助

- ①概要 志津地区子ども会育成連絡協議会は、参加団体の減少により平成10年度から志津子連独自の事業は実施していないが、千葉県子ども会安全会加入手続きの補助のほか、行事に関する情報提供を中心に、子ども会育成者の支援を行っている。
- ②加入団体 単子子ども会 9団体
- ③活動内容
 - ・活動支援相談・連絡調整

公民館園芸ボランティアへの支援

- ①概要 近隣の住民の方が公民館や西部保健センターの敷地内の花壇等の手入れをボランティアとして行い、活動を継続している。公民館は、それらにおける園芸・学習活動の支援を継続している。
- ②主な活動
 - ・公民館敷地内の花壇の手入れ
 - ・西部保健センターの花壇の手入れ
 - ・花についての自主学习

6. 広報・展示事業

志津公民館だより「しづ」の発行

- ①ねらい 公民館活動への理解と、積極的参加をはかることを目的として、公民館主催事業の案内を中心に、地域の話題などについて、紙面を通して発信する。
- ②発行回数 年3回（4月・9月・3月）
 ※例年2回発行されるが、令和5年4月1日予定の発行分を、令和5年度しづ市民大学の募集案内を3月15日から行うために、前倒しで3月15日号として発行し、今年度は年3回発行とした。それに伴い部数調整のために9月15日号を市内施設配架のみとした。
- ③発行部数 4月・3月：各回17,000部 9月：400部
- ④配布方法 志津地区内に新聞折り込み配布・市内公民館および志津地区内公共施設に配架
- ⑤内容

第251号 (令和4年4月1日)	第252号 (令和4年9月15日)	第253号 (令和5年3月15日)
<ul style="list-style-type: none"> ●募集案内（主催事業） ・しづ市民大学 ●お知らせ ・令和4年度志津公民館サークル運営研修会（書面開催）について ・市内公民館の使用料金変更について 	<ul style="list-style-type: none"> ●募集案内（主催事業） ・佐倉学入門講座 講演会 佐倉の城・城下町の記憶と歴史資源 ・佐倉学入門講座 井野長割遺跡を学ぶ ・お家時間応援講座 包丁について学ぶ ●お知らせ ・志津公民館インターネット抽選に申し込まれる方へ ・駐車場を利用される方へ ・公民館来た時よりも美しく 	<ul style="list-style-type: none"> ●募集案内（主催事業） ・しづ市民大学 ●お知らせ ・公民館だより「しづ」新聞折込終了について ・手指消毒換気への配慮のお願い ・公共交通機関のご利用と乗り合わせのお願い ・志津市民プラザ利用者以外の駐車と駐輪のご遠慮をお願い

- ⑥今後に向けて 今年度まで、公民館だよりは市内公共施設への配架と志津地区新聞各社の新聞折り込みにて配布をしていた。しかし、令和5年度以降は新聞折り込みが困難となるため、これまで以上にホームページや市SNSを通じた情報発信を強化していくことが重要だと考える。年齢層によっては情報が行き届かない懸念もあるが、今年度試験的に佐倉市広報および佐倉市HPのみでお知らせをした講座募集について、定員を大きく上回る応募があったこと、9割以上が60代以上からの申込であったこと、申込の絶対数は増えていることから、利用者にとっても利便性が高いと考える。

臼井公民館

臼井・千代田地区の概要

○臼井地区

臼井地区は、北に印旛沼、東に鹿島川、西に手繰川というように三方を沼と河川に囲まれている。

地区の歩みでみると、鎌倉時代に桓武平氏一族の臼井氏が開発領主として臼井地方に拠って以後発展し、江戸時代中期以降は成田街道の宿場臼井として賑わった。

昭和53年には土地区画整理事業施行地区内に京成臼井駅が移転し、ここを中心にショッピングセンターや商店などが集積した地区が形成され、臼井地区の核となっている。

また、街の賑わいに水と緑と歴史に恵まれた環境を活かして、「臼井ふるさとにぎわい祭り」や「佐倉チューリップ・フェスタ」などのイベントが開かれている。臼井公民館に併設されている佐倉市民音楽ホールでは、そのすばらしい響きで定評のあるホールの特性を生かし、クラシックを中心とした国内外の著名なアーティストのコンサートや演劇などの他、様々なイベントで市民のみならず、市外からのお客様を楽しませている。

○千代田地区

千代田地区は、佐倉市誕生後に四街道市（当時四街道町）から編入した5地区から成っている。

大半は農業地域であったが、北部の生谷・飯重・吉見地区には、大手開発業者による大規模宅地開発（染井野）に伴い、公園が整備され、小中学校が相次いで開校するなど、公共施設も充実している。

地区全体としては、都市形成が進む北部地域と従来からの農業地域に二分しつつあるといえる。

古くからある団地内では自治会・文化活動、農業地区では地域ぐるみの農業と、コミュニティ活動がさかんである。この活動の輪は、住民の交流としていざという時に助け合う「防災姉妹地区制度」の調印市内第一号という形でも表れている。

臼井・千代田地区のデータ

【令和5年3月末現在】

○臼井・千代田地区：面積 約18.6km²（佐倉市：面積 103.69km²）

○臼井・千代田地区：住基人口 40,059人（佐倉市：住基人口 171,037人）

○臼井・千代田地区：人口密度 2,153人/km²（佐倉市：人口密度 1,649人/km²）

1. 公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部開館などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』及び『「集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動」における施設利用の留意点』を当面の間適用していく。

運営方針

地域の実情や市民生活の変化に即した学習要求や生活課題を的確に捉えながら、新しいまちづくりを目指した事業を進める。これと共に、市民が自主的に「集い」「学び」そして「伝えていく」活動を援助することで、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心的な役割を果たす施設となるように努める。

努力目標

- 新型コロナウイルス感染拡大防止に努める。
- より多くの市民に親しまれ活用される公民館として、その学習環境づくりに努める。
- 学級・講座の精選と学習内容の充実に努める。
- 公民館に関係する各種団体との連携を図り、活動の支援に努める。
- 複合施設（市民音楽ホール等）の持つ機能をより効果的に発揮させるよう努める。

施設利用

開館日・開館時間

①月・火・木・日曜日、祝日 9時～17時

②水・金・土曜日 9時～21時

※夜間の利用予約が無い場合は17時で閉館

(図書室は第1火曜日を除く火～日曜日の9時～17時に開館する。なお、月曜日、第1火曜日が祝日に当たる場合は開館し、翌日以降の平日に休館する。)

休館日 第2・第4月曜日、年末年始12月28日～1月4日

利用区分 1時間単位(9時～21時)

※利用の受付は原則として、利用日の2か月前の月の2日(1月のみ6日)の利用抽選会から、月2回分の予約を受け付ける。3回以上の利用は利用日の前々月末日から受け付ける。

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用件数 (件)	2,394	2,072	753	1,547	1,866
利用人数 (人)	41,159	36,492	7,095	15,596	21,708
開館日数 (日)	332	309	229	331	330

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応
令和 4 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 1 0 月 3 1 日・・・一部利用制限付き

令和 4 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
集会室	3,224	1,679	52.1%
学習室	3,224	1,462	45.3%
創作室	3,224	1,434	44.5%
展示室	3,224	1,609	49.9%
和室	3,224	875	27.1%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	BOOK&PARK (公園ライブラリー)	幼児～成人 30人	4/23 43人 7/30 31人 8/13 中止	誰もが気軽に利用する公園に絵本や図鑑を展示し、子供たち向けに絵本の読み聞かせや、公園にある草花を図鑑で調べるワークショップを行い本の世界に親しんだ。
	ストリートオルガンコンサート	幼児～成人 15人	4月～3月 6回	佐倉市民音楽ホールが所有する3台のストリートオルガンによるミニコンサートを開催する。演奏後には、ハンドルを回す演奏体験も行う。
青少年教育	水辺観察会 「こども水辺探検隊」	小学校 4～6年生 20人	10/ 8 4人	環境意識を育む「水辺の自然観察会」を実施し、水辺環境を身近なものとして捉え、自然を大切にする心を養った。(生活環境課共催事業)
	バックステージ・ツアー	小学生と保護者 3組	8/ 4 3組 7人	音楽ホールの普段見ることのできない舞台裏の見学と、演奏会を支えている音響設備・照明設備の操作などを体験し、舞台運営・管理の仕事に対する理解を深めた。
	星空観測教室	小学生 15人	8/10 41人	星空についての解説や望遠鏡による惑星等の観測をすることで、星空の世界に親しんでもらうことが出来た。(草ぶえの丘共催事業)
	小6科学実験室	小学校6年生 10人	8/11 9人	学校ではなかなか行わない実験や工作作業を通して「慣性の法則」「凝結核と露点」「浮力」「屈折」などといった、中学校で学習する理科科学の原理・法則について学習した。
成人教育	佐倉学入門講座 「佐倉の道の歴史 —古代・中世編—」	成人 45人	11/20 44人	『風媒花』最新号巻頭の「佐倉の道の歴史」執筆者に講師を依頼、記事をベースにした講演だった。また、土地柄に合わせ印旛沼の水運についてもお話いただいた。
	佐倉学専門講座 ①「成田山道標を読み解く」 ②「製造100年 佐倉のSLハチロクの保存に関わって」	成人 各45人	①11/ 3 43人 ②11/12 15人	上記と同様に『風媒花』執筆者であり、それぞれ成田街道・鉄道について調査や研究をしている市民講師から学んだ。記事内容をより深く知る機会となった。
成人教育	ちょっといいとこ見て歩き ①「白井城主ゆかりの寺を訪ねて」 ②「佐倉の古道をたどる」	成人 各15人	①10/20 14人 ②11/28 13人	①は白井地区隣接の羽鳥の浄光寺を白井城主との縁を基に訪ねた。 ②は市内に残る古道「古東海道香取路」を訪ね、『風媒花』執筆者の案内で学んだ。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
コミュニティ	コミュニティ カレッジさくら	18歳以上 30人	1年次 14講座 3人 2学次 14講座 6人	5月～2月の金又は土曜、月2日程度。14日間実施 1年次：基礎講座 活力ある地域社会とするため、地域課題の発掘や、多種多様な人々が集う場での合意形成能力を培うと共に、家庭・家族との地域的役割、乳幼児や小中学生を取り巻く社会環境や課題等について学んだ。 2年次：実践講座 地域で主体的に課題解決に向けた実践活動を行うため、地域の各種資源(人材等)を活かした、様々な地域活動例、具体的な実践手法等、共に生き、支え合う地域づくりについて学んだ。
団体育成	白井地区子ども会育成会連絡協議会	加盟子ども会 5団体	4/17 4団体	単位子ども会の円滑な運営をはかるための相談・研修・情報交換を行った。 4/17 白井地区子ども会育成会連絡協議会総会
広報・展示活動	白井公民館だより	白井・千代田地区	年1回	公民館の事業紹介や募集、地域の情報などを提供する。
	まちづくり資料室の展示	小学生～成人	通年	白井地区に関する歴史や遺跡などについて理解と関心を深める資料展示を行う。来室者が特定できないため、当面の間封鎖する。
	サークル展示 活動支援	市内団体	通年	市内の美術サークル等に対して展示室を1週間単位で提供し、各種展示会を開催することで、地域文化の向上に寄与した。

1. 家庭教育事業

BOOK & PARK (公園ライブラリー)

①開設趣旨 誰もが気軽に利用する公園に絵本や図鑑を展示し、子供たち向けに絵本の読み聞かせや、公園にある草花を図鑑で調べるワークショップを行う。本の世界に親しむとともに豊かな感受性を育むことを目的とする。

②募集対象 幼児～成人 30人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	4月23日(土) 10:00～16:00	①「図鑑ライブラリー」～身近なお宝、発見！ ②「えほんパーク～季節の絵本やわらべ歌の紹介」	「漂流する図鑑ライブラリー」 実施者 読書推進の活動者
2	7月30日(土) 10:00～16:00		
3	8月13日(土) 荒天により中止		

④講座を終えて 地区内にある七井戸公園を会場に開催される「染井野ファーマーズマーケット」に合わせて実施した。屋外開催の図書ワークショップとして、親子連れや図書館を利用する機会が少ない層へもアピールすることができたと思われる。

ストリートオルガンコンサート

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2. 青少年教育事業

水辺観察会 「こども水辺探検隊」

①開設趣旨 市内の水辺環境について、野外観察を実施することで、子どもたちが自然に親しみ自然を大切にする心を養うとともに、自然環境の重要性を認識してもらう（生活環境課共催事業）。

②募集対象 小学校4～6年生 20人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月 8日（土） 10：00～12：00	・畔田谷津の魚類等採集観察	（財）千葉県環境財団職員

④講座を終えて 畔田谷津では生き物の捕獲や観察を行い、自然環境等を考えるきっかけとなった。また、自然を大切にする心を養うことにつながる感受性を育む効果もあったと思われる。

バックステージ・ツアー

①開設趣旨 市民音楽ホールの普段見ることのできない舞台裏の見学と、演奏会などの舞台運営に欠かせない音響、照明の操作などを体験し、舞台に関わる仕事に対する理解を深める。（佐倉市民音楽ホール共催事業）

②募集対象 小学生と保護者 3組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月 4日（木） 10：00～12：00	前半は、音楽ホールの施設を見学し、後半は、実際にホール・スタッフの仕事（コンサート開始の流れ）を体験してもらう。	市民音楽ホール職員

④講座を終えて この講座は、音楽ホールの普段見ることのできない舞台裏にスポットを当て、奈落などのエリアを見学するとともに、ステージ「ひのき舞台」を陰で支える音響・照明などの裏方作業を体験し、「様々な役割が組織的かつ統一的に関わりあって完成する総合芸術」を担う仕事への理解を深めた。市民音楽ホールと併設されている臼井公民館ならではの講座。

星空観測教室

①開設趣旨 夜空を見上げ、星や星座を探すことを通して、星空の世界に親しんでもらい、理科教育の興味関心を引き上げることを目的とする（佐倉草ぶえの丘共催事業）。

②募集対象 小学生 15人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月10日（水） 19：00～20：30	夏の星空についての解説と望遠鏡で月や惑星の観測をする。	佐倉市役所職員

④講座を終えて この講座では、季節の星座の見つけ方を紹介し、天体望遠鏡で惑星の観測を行った。月のクレーターを観ることができて感動しているようだった。

小6 理科実験室

①開設趣旨 「子どもの理科離れ」が叫ばれるなか、学校ではなかなか行わない種類の実験や簡単な工作作業を通して理科科学に興味をもってもらい、また、中学校理科学習への関心を深めることを目的とする。

②募集対象 小学校6年生 10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月11日（木） 9：30～12：00	エンピツを倒さず抜こう！ 本当に見てる？ 雲をつくろう！ あなたもこれで超能力者！ 遠くに転がした缶が… 理科に関するお話アレコレ	理科マスター 根本 栄治

④講座を終えて 「慣性の法則」「凝結核と露点」「浮力」など、中学校で学習する理科科学の原理・法則について様々な実験を通して学習した。次年度以降も小学6年生を対象に継続して実施したいと考えている講座である。

3. 成人教育事業

佐倉学入門講座 「佐倉の道の歴史 ー古代・中世編ー」

①開設趣旨 佐倉市域には古くからの道が交差し、多くの人やモノが行き交っていた。「専門講座」とあわせて、地域の発展を支えてきた道と交通について知るための講座を実施した。

②募集対象 成人 45人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月20日（日） 14:00～16:00	講師は『風媒花』35号「佐倉の道の歴史」執筆者。記事を下地にしつつ、古代・中世の道と武士団の動向を読み解いた。土地柄に合わせ印旛沼の水運にも言及された。	佐倉市文化財審議会 副委員長 遠山 成一

④講座を終えて 中世、臼井の地は水陸交通の要衝の地であった。このため当時の下総における武士団の動向や戦乱などは重大事であり、この地の存亡に大きな影響を及ぼすこととなった。水陸交通の理解に合わせて、中世の政治的背景とその影響を考察することは興味深い反面なじみが薄い受講者もいたようで、専門的で多少難しさが感じられ事前・事後の学習を促す内容であったように思う。

佐倉学専門講座 ①「成田山道標を読み解く」

②「製造100年 佐倉のSLハチロクの保存に関わって」

①開設趣旨 佐倉市域には古くからの道が交差し、多くの人やモノが行き交っていた。「入門講座」とあわせて、地域の発展を支えてきた道（成田街道）と交通（鉄道）について知るための講座を実施した。

②募集対象 成人 各45人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月 3日（木） 14:00～16:00	『風媒花』執筆者であり、それぞれ成田街道・鉄道について調査研究している市民講師から学んだ。記事内容をより深く知る機会となった。	佐倉道を歩く会 川口 恭一
2	11月12日（土） 14:00～16:00		佐倉市蒸気機関車 保存会 堀江 悦郎

④講座を終えて 「成田山道標を読み解く」は、志津公民館佐倉学講座から展開した、佐倉道を歩く会の活動が基になっている。同会は地域の歴史について知識を深めるとともに市民に対して啓蒙を図る活動を行う。今回は破損道標を修復する過程で発見した設置時の番付から、岩田長兵衛と彼が建立した一連の道標の配置を探る過程が披露された。未知を探し求める姿勢と内容は好評で、受講者の満足度も高かった。

「佐倉のSLハチロクの保存に関わって」は、元国鉄マン講師による機関車運転実務等を通じての体験談は大変貴重で、参加した鉄道ファンにはたまらない“濃い”内容だった。この層への事前周知が不足したためか定員を割り込んだことを振り返り、今後の事業募集に活かしたい。

ちょっといいとこ見て歩き ①「臼井城主ゆかりの寺を訪ねて」

②「佐倉の古道をたどる」

①開設趣旨 佐倉市とその近隣地域の見学学習を通し、歴史・文化・自然や環境の変化について学び理解を深める。

②募集対象 成人 各15人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月20日（木） 9：45～12：00	臼井地区隣接の羽鳥・浄光寺を臼井城主との縁を基に訪ねた。	臼井八景・八ヶ寺めぐり実行委員会 森 秀夫
2	11月28日（月） 12：45～16：00	市内に残る古道「古東海道 香取路」を訪ね、『風媒花』執筆者の案内で学んだ。	佐倉市文化財審議会 副委員長 遠山 成一

④講座を終えて 「臼井城主ゆかりの寺を訪ねて」では、臼井城主6代興胤の長男＝後の道庵曾頭禅師大和尚を生んだ背景と中世の交通の要衝の地にあった臼井氏の経済的な豊さのみならず、漢詩や和歌など五山文学とのつながりを通じた学問的な豊さにも触れながら道庵が幼少期を過ごした羽鳥の浄光寺を訪ねる興味深いものとなった。

「佐倉の古道をたどる」では、明治期に作成された古地図と現在の地図を見比べながら往時の姿に思いをはせながら古道を歩くことに参加者の多くが満足された。古地図では主要な通りとして記されているが現在の地図上ではかろうじて線が引かれ、現地は踏み跡も僅かなところもあり、現地を熟知した講師の同行が必須となる講座である。

4. コミュニティ事業

「コミュニティ事業」は、自らの居住地での人間関係を見直し、地域で共に生活し、見守り、支え合い、日常生活で声を掛け合いながら、地域づくり（防災・防犯、少子高齢化、まちの活性化等のまちづくり）に参加する人材の育成を図るため開設する。

市民協働の取り組みの一つとして、学習者一人ひとりの持つ、技術・知識・能力を高め、次世代に継承してもらうだけではなく、地域リーダーとして多種多様な取り組みを、佐倉の様々な地域において実践いただくことにより、社会の人と人との絆を深め、お互いを支え合う地域社会の形成を目指す。

『コミュニティカレッジさくら（2年制）』

- ・1年次：基礎講座

活力ある地域社会とするため、地域課題の発掘や、多種多様な人々が集う場での合意形成能力を培うと共に、家庭・家族との地域的役割、乳幼児や小中学生を取り巻く社会環境や課題等について学ぶ。

- ・2年次：実践講座

地域で主体的に課題解決に向けた実践活動を行うため、地域の各種資源（人材等）を活かした、様々な地域活動例、具体的な実践手法等、共に生き、支え合う地域づくりについて学ぶ。

コミュニティカレッジさくら

○特色

- ・地域で共に生活し、支え合い、地域づくりに参加する地域人材の育成を図るための学習の場。学んだ成果を生かし、地域の様々な場面で多種多様な活動を実施し、元気で住み良い、活力ある佐倉市の地域づくりやまちおこしに貢献することを期待する。

○概要

- ・受講資格 : 佐倉市内在住・在勤の18歳以上の方
設置目的に共感と賛同をし、2年間通学できる方
- ・定員 : 30人
- ・費用 : 無料（資料代等実費徴収）
- ・開催日時 : 5月～2月の金曜または土曜 おおむね月2日程度 18日実施予定
講義時間 午前10時～12時 午後1時～3時

令和4年度 コミュニカレッジさくら 第1学年 基礎講座 学習カリキュラム

学習時間		10:00 ~ 12:00	
回	月日(曜日)	テーマ	講師
1	5月21日(土)	○入学式 ○記念講演「ちばを知ろう -千葉再発見-」	学長(佐倉市長) 千葉敬愛短期大学 学長 明石 要一
2	6月24日(金)	○身近な人権 ~ひとを人として認める地域とは?~	元千葉敬愛短期大学教授 松本 峰雄
3	7月1日(金)	【13:00~15:00に実施】 ○よりよく「聴く」ことへの「責任」 ~守秘義務と個人情報の扱い・傾聴技術の習得~	千葉敬愛短期大学教授 大野 雄子
4	8月5日(金)	○よりよいコミュニケーションとは ~グループエンカウンター体験~	千葉敬愛短期大学教授 吉村 真理子
5	8月19日(金)	○異年齢社会の構造と課題 ~小・中学生が抱えているもの~	元千葉敬愛短期大学教授 鈴木 健一
6	8月26日(金)	○地域のリーダーになるために ~地域の人の意見をまとめるには~	千葉敬愛短期大学准教授 清水 一巳
7	9月16日(金)	○地域課題の発掘 ~市の計画から見る地域課題~	企画政策課
8	10月21日(金)	○地域課題の発掘 ~各分野における地域課題①~ ・商工業・農業・防犯・防災	佐倉市担当課職員
9	10月28日(金)	○地域課題の発掘 ~各分野における地域課題②~ 子育て・福祉(全般、高齢者対策)	佐倉市担当課職員
10	11月18日(金)	○地域課題の発掘 ~他市の実践より~ コミュニティビジネス NPO活動	NPOクラブ 代表理事 牧野 昌子
11	11月25日(金)	○地域課題の発掘 ~実践現場より~ 福祉ボランティアの活動	社会福祉協議会
12	12月16日(金)	○家庭・家族と地域の社会的役割 ~青少年を取り巻く現代社会の環境~	千葉敬愛短期大学教授 新田 司
13	1月27日(金)	○現地見学会(香取市) ~他市町における先進的な取り組み~	コーディネーター 事務局
14	2月18日(土)	○2学年研究発表会を通して【1・2年合同】 ~2年生の研究発表をもとに考える~	コーディネーター 事務局
15 ~ 18	9月~2月 (各班の計画による)	○自主学習	コーディネーター 事務局

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、原則として半日のカリキュラムに短縮して実施しました。

令和4年度 コミュニティカレッジさくら 第2学年 実践講座 学習カリキュラム

学習時間		10:00 ~ 12:00	
回	月日(曜日)	テーマ	講師
1	6月 4日(土)	○コミュニティについて 身近な地域のコミュニティとは 身近なコミュニティ施設：学校・自治会館・寺等 身近なコミュニティ：自治会・NPO等の各種団体	千葉大学 大学院教授 清水 洋行
2	7月 2日(土)	【13:00~15:00に実施】 ○コミュニティについて 地方分権時代の佐倉の課題	千葉大学 大学院教授 清水 洋行
3	7月 9日(土)	○地域の様々な実践 ～実践者を囲んで子育て支援実践例～	千葉敬愛短期大学教授 吉村 真理子 子育て支援センター 児童センター
4	7月23日(土)	○地域活動を行うために NPO法人の設立について	NPOクラブ代表理事 牧野 昌子
5	8月27日(土)	○コミュニティについて 地域住民が手を取り合う事例	関東学院大学准教授 小山 弘美
6	9月 3日(土)	○地域の様々な実践 ～実践者を囲んで民生委員・児童委員～	民生委員・児童委員協議会 社会福祉協議会
7	9月10日(土)	○地域の様々な実践 ～自治会・町内会の状況～	自治人権推進課
8	10月1日(土)	○地域活動を行うために 市民協働型事業等について	自治人権推進課
9	10月22日(土)	○福祉施設(佐倉白翠園)での体験実習	コーディネーター 事務局
10	11月5日(土)	【13:00~15:00に実施】 ○地域の様々な実践 ～他市町における先進的な取り組み～	松戸市常盤平団地地区社協 会長 大嶋 愛子
11	12月3日(土)	○地域の課題を考える ～認知症の課題をもとに～	高齢者福祉課
12	12月10日(土)	○地域の様々な実践 ～防災・安全～ 自主防災など	危機管理課
13	1月28日(土)	○地域の課題を考える ～青少年を取り巻く環境と課題～ 社会背景を考えよう	淑徳大学短期大学部教授 佐藤 まゆみ
14	2月18日(土)	○研究発表【1・2年合同】 ～2年生卒業発表会を通して～ ○修了式	コーディネーター 事務局
15 ～ 18	9月～2月 (各班の計画による)	○自主学習	コーディネーター 事務局

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、原則として半日のカリキュラムに短縮して実施しました。

5. 団体育成事業

臼井地区子ども会育成会連絡協議会

①開設趣旨 臼井地区の単位子ども会の発展を願い、関係機関団体との連携を図りながら、各育成会同士の情報交換や育成者の研修を行う。

②対象団体 5団体

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	参加者
1	4月17日（日）	臼井地区子ども会育成会連絡協議会総会	10人

6. 広報・展示事業

臼井公民館だより

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため発行見合わせ

まちづくり資料室の展示

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため閉鎖

サークル展示活動支援

- ①趣旨 臼井公民館展示室は、市民ギャラリーとして、広く市民の日頃の活動の発表・展示の場として提供されている。また、通常の学習にも多目的利用されている。
- ②対象 市内で活動実績のある団体を優先する。
- ③使用について 予約受付は使用月の6ヶ月前の初日（1月のみ5日）。使用期間は1団体につき、火曜日から日曜日までの6日間を原則とする。
- ④展示活動団体数 16団体（令和4年度）
- ⑤観覧者数 4,991人（令和4年度）
- ⑥使用料 1時間あたり240円（市外団体の場合480円）

令和4年度開催展示会一覧

※ 入場者数は主催者届出による

番号	行事	主催者 (ジャンル)	期日	入場者数 (人)
1	第30回 書を板に彫る「刻字」展	佐倉刻字愛好会 (刻字)	4/12～ 4/17	144
2	第30回 杉の子水彩画展	杉の子(絵画)	6/14～ 6/19	407
3	第21回 アビロン絵画展	水彩画グループ AVIRON(絵画)	7/4～ 7/9	514
4	「戦争からまなぶ非 戦への導き」	佐倉平和のつど い	7/28～ 8/8	387
5	翔第31回作品展	翔(絵画)	8/30～ 9/4	142
6	市高連 作品展	佐倉市高齢者ク ラブ連合会 (絵画・工芸)	9/6～ 9/9	270
7	第14回 吐夢展	吐夢の会(絵画)	9/13～ 9/18	334
8	葦の会展覧会	葦の会(絵画)	9/27～10/2	548
9	市民文化祭 手工芸展	佐倉市手工芸連 盟(手工芸)	10/5～10/9	389
10	市民文化祭 皐月及び山野草展示 会	佐倉皐月会(盆 裁)	10/6～10/9	530
11	市民文化祭 写真展	佐倉写真連盟(写 真)	10/18～10/23	365
12	第6回 絵画サークル「創」展	絵画サークル 「創」(絵画)	11/1～11/6	301
13	しづ美術サークル 作品展	しづ美術サーク ル(絵画)	11/21～11/26	210
14	白蝶会展	白蝶会(絵画)	11/29～12/2	132
15	こども教室作品展	いけばなサーク ルひまわり (華道)	1/28～ 1/29	114
16	4人展	サークルゴール ド(絵画)	3/28～ 4/2	204
計		16団体		4,991

7. 図書事業

○開室日・開室時間	火（第1火曜日を除く）～日曜日 9：00～17：00
○休 室 日	月曜日・第1火曜日・年末年始（12月28日～1月4日）・特別整理期間（月曜・第1火曜日が祝日の場合は次の平日）
○貸 出 方 法	登録制で貸出券による。1回につき1人10冊まで15日間貸出する。
○蔵 書 数	<ul style="list-style-type: none"> ・一般図書 26,966冊 ・郷土資料 1,851冊 （音楽関係図書を含む） ・その他 29冊 ・児童図書 12,610冊 ・楽譜 4,280冊 ・洋書 60冊 ・参考図書 616冊 蔵書冊数 46,412冊（令和5年3月末現在） ・雑誌 22誌 ・新聞（朝刊） 7紙

○月別図書室利用状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数 (人)	4,111	3,929	3,963	4,023	3,981	3,957	4,020	3,963	3,584	3,790	2,100	4,308	45,729
貸出 冊数 (冊)	12,657	12,412	12,414	12,829	12,529	12,113	12,315	12,018	11,501	11,721	7,135	12,879	142,523
開館 日数 (日)	25	25	25	24	23	24	25	25	22	23	11	26	278

※臼井公民館図書室は図書館の分館的な機能を持ちながら、市民音楽ホールとの複合施設としての特殊性と地域性を考慮しつつ、児童・一般図書その他、楽譜・音楽関係図書の充実を図ることにより、特色ある図書室運営を目指している。

※図書館システム更新のため、2月13日から2月28日まで臨時休館

令和4年度

佐倉市立公民館のまとめ